

通信部長 佐藤 孝吉  
無電支局長 下野 政勝  
地協結成キヤブテン 前田 英彦  
自由労働部長 那須 正志  
等が首腦となり北海労働者の機關紙を發行する一方鐵道、選信殊に市電氣局へは再三アヂビラを撒いて露骨な達動を開始してゐたものである。

小樽地協組織 小樽では廣川廣司が無電小樽支局準備會指導者村木雄一が責任者となつて無電支局委員會を七月頃設立し室蘭方面にまで讀者網を張つて擴大に努めてゐたが八月札幌地協の組織なるや小樽地協を組織せんとしてゐた矢先檢舉にあつたものである。

岩見澤の運動 岩見澤では高商を卒へた深見久雄が本年三月戦旗支局のキヤブテンとなつて戦旗の讀者獲得に努めさるゝ第二無電支局を設けその後の感化によつて三・一五事件記念日から共產主義の實際運動に入り自ら町役場書記となつて夕張炭礦の赤化に手を延ばしてゐたものである。

伊達の運動 伊達では守口章が首魁となつて無電支局の知情配付に讀者網の結成に努め主として農民を基幹として黨を擴大すべく計畫を樹て旭川、釧路、深川、野付牛その他實に廣範に亘つて讀者の獲得に努めてゐた最も潜勢力を有してゐたものである。

檢舉狀況 今回の事件は何れも昨年十二月の北海道地協事件で掃蕩された殘小的意識分子が、本春三四月からひそかに相呼應して全協独自の非合法的勢力の扶植を急激に表面化したもので、本年九月二十九日午前五時一齊檢舉以來全道に波及し道廳特高課ではその後これら極左分子の檢舉に努めその數八十餘名に上つた爾來所轄警察署において嚴重取締中とのところ十一月三日を以て取調べ終了しうち四十餘名は嫌疑ないものとして釋放三十七名を容疑者として何れも所轄検事局に送致した検事局ではさらに取調べの上起訴の可否を決定する筈だが最近における検事局の方針として成るべく容疑者の將來のため寛大に取扱ふらしいから三十七名のうち不起訴あるひは起訴猶豫となるものが相當にある見込である。

札幌地方  
札幌市南八條西六丁目四二、無職(早大佛文二年修) 菊地 惠一(二四)  
空知郡沼貝村美唄炭山鴻ノ臺當時札幌南一條西七丁目武宮方通信事務員(札幌講普卒) 佐藤 孝吉(二二)  
札幌市北二條東十二丁目二三無職(中學卒) 下野 政勝(二二)  
札幌市北大通東四丁目一般労働組合長

札幌市北大通西十七丁目四、定山溪鐵道事務員(北大工科一修) 前田 英彦(二七)  
小樽市花園町西四ノ六當時同市永井町二ノ六通信事務員(高小卒) 村木雄一(二五)  
岩内郡岩内町中橋町當時小樽市花園町東四ノ十外交員(高小卒) 中原 徳次(二〇)  
岩見澤町七條東四丁目農(中三修) 奥川孝太郎(二二)  
伊達地方  
有珠郡伊達町稀府當時同町舟岡農(高小卒) 守口 章(三四)  
今次事件の特色 右の事件で從來の異なつてゐる點は、今迄は左翼労働組合の幹部級がその中心となつて活動したものであるが今回の指導者は全部相當の學歷のある相當な家庭の子弟で官公署會社等の勤人階級者が多かつたことである。

藝術

美術

第六回道展の審査 第六回道展は昭和五年九月札幌市に於て開催されたが、一般出品審査の結果洋畫九百三十六點のうち百五十一點、日本畫四十八點のうち三十二點、彫塑十八點のうち四點の入選を見た。洋畫の如きは五分の四の落選といふ嚴選振りであつた。入選者のうちで注目し値するものは女流の進出で、洋畫では九人、日本畫では六人といふ男性に伍して堂々其力作を発表したものである。殊に特記すべきは小學校生徒三名の入選で道展として始めてである。何れも札幌市で北九條尋五山本長利君の「道」、第一高等小學校高二牧正志君の「大木」、同校高二出口三松君の「水浴」の水彩三點で、審査の人々を驚嘆せしめた。

- 市長賞 能瀨 眞美
- 市長賞 石野 宣三
- 市長賞 萩野 馨
- 市長賞 洋畫 小 山 昇
- 市長賞 洋畫 稻村 ひろ子
- 市長賞 日本畫 田中 瑞雪

尚ほ今回會員及會員に推薦された者は左

の通りである。

會員(四名) (日本畫) 成田大古、(日本畫) 北山晃文、(洋畫) 山内一彦、(彫塑) 渡多野忠雄

會友(四名) (洋畫) 朝倉翠男、(洋畫) 奥崎正次、(洋畫) 八嶽一郎、(日本畫) 笹野順太郎

第七回道展 本道美術界のために過去六箇年偉大な貢獻をして未だ北海道美術協會は、本年九月二十六日より十月十一日まで第七回道展覽會を札幌市中島公園農業館に於て開催した。

本年の一般出品は昨年よりも遙に増加して洋畫五百七十二名千六百七十三點、日本畫四百三十三名九十三點、彫刻十四名三十一點合計六百二十九名の一千七百九十三點で、出品點數に於て地方展覽會隨一の點を冠すべき盛況を呈した。

- 洋畫 山本菊造、本間紹夫、奈良岡 昂、大塚謙三、能瀨眞美、齋藤尙、林 竹次郎、澤枝重雄、山内一彦、田邊三 重松、天間正五郎、高岸愛、高橋北修 前田政雄、繁野三郎、今田敬一
- (日本畫) 山内彌一郎、岡崎南田、成 田大古、炭光任、平沼深雪
- (彫刻) 本郷新
- の會員二十二名に理事島崎、小谷、片岡 佐野、副會長今裕の五氏も出席嚴選の結果、入選百二十九人百五十八點を見た。

即ち 日本畫二十六名三十二點、洋畫九十八名百二十點、彫刻六名六點 尙本年は一般出品を優遇する爲めに、會員の出品從來三點であつたものに更に制限を加へて二點とし、一般五點を七點とした。かくして一般入選百五十八點に四十二名の會員出品、それに今年から北海道美術家聯盟會員(東京)濱田、長谷川 久本、筆谷、加藤(顯)、小寺、工藤(信) 岡田、上野山、山口、山崎、工藤(三)の 十二氏を客員に推薦し内四氏がその作品 を出品應援したので、一層其の權威を加へ盛況を呈した。以上の外二階の一室に 故會員石野宣三氏の洋畫、菅原翠洲氏の 日本畫の遺作をも陳列した。

- 新入選 (小樽) 中林ヨミ子(札幌) 山口大靜(札幌) 寺澤雪水(札幌) 齋藤茂春(札幌) 柴田勇(旭川) 森 永清子(岩内) 金山正史(上志別) 石川大岳(苦小牧) 竹内富貴子(函館) 大橋淑子(札幌) 西村よしを(以上)
- 再入選 (札幌) 菅原無田(札幌) 西條 西鳳(札幌) 田中文子(札幌) 堀井聖 峯(札幌) 小原觀嶺(札幌) 稻村浩 子(上磯) 福土統洋(旭川) 菊田桂 齊(札幌) 高木黄史(美谷) 醉漁夫



2 △(喜茂別) 稻村保4 △(岩見澤) 泉雅洞  
 1 △(函館) 笹野杜2 △(札幌) 島田壽山  
 △1 (札幌) 吉村愛子1

新入選 △(余市) 澤谷一1 △(札幌) 岡部  
 文之助3 △(札幌) 高橋清1 △(札幌) 新田  
 榮2 △(札幌) 若松六彌1 △(札幌) 齋藤彌  
 1 △(函館) 佐熊匡一1 △(札幌) 小田昌一  
 △(札幌) 野附よし子1 △(札幌) 小川信一  
 1 △(札幌) 澁谷政雄1 △(札幌) 田山大三  
 郎1 △(小樽) 田窪通泰1 △(小樽) 岩井一  
 1 △(札幌) 日野謙夫 △(岩内) 岩井ふみ  
 2 △(岩内) 信夫健二 △(札幌) 久世満  
 佐子1 △(札幌) 池田兼徳1 △(札幌) 甲賀  
 嘉六1 △(札幌) 今西弘1 △(札幌) 佐藤忠  
 真1 △(札幌) 山田禮初1 △(札幌) 原忠勝  
 1 △(旭川) 服部木爾1 △(旭川) 塚本誠徳  
 1 △(旭川) 箕口初太郎1 △(函館) 小金澤  
 要1 △(函館) 橋本三郎1 △(茂邊地) 池田  
 基三郎1 △(函館) 岡本洋一1 △(旭川) 佐  
 藤登1 △(岩内) 橋本勇吉1 △(秩父別) 赤  
 松俊1 △(夕張) 矢野吉雄1

再入選 △(札幌) 井上智2 △(札幌) 牧正  
 志1 △(札幌) 清水春日1 △(濱頓別) 三浦  
 きよ子1 △(札幌) 鬼川俊蔵1 △(札幌) 沼  
 田友一1 △(小樽) 小林剛1 △(札幌) 武井  
 則雄1 △(札幌) 光永家次1 △(札幌) 加木  
 正夫2 △(札幌) 神代勳1 △(札幌) 原規久  
 男 △(札幌) 高畑八百蔵1 △(野花南) 松田  
 操1 △(小樽) 福弘三郎1 △(札幌) 内藤三  
 郎1 △(札幌) 野村英夫1 △(江別) 北島米  
 1 △(札幌) 吉田昇1 △(札幌) 小田島十郎  
 1 △(余市) 前田清1 △(札幌) 大森滋2 △  
 (岩内) 齊藤七資1 △(札幌) 本間勇吉1 △  
 (札幌) 萩野馨2 △(札幌) 小坂美喜1 △  
 (小樽) 杉江〇子1 △(琴似) 鈴木こゝろ1 △  
 (小樽) 樋口忠太郎2 △(泊) 佐藤伸一郎1  
 △(小樽) 若山武子1 △(札幌) 能登谷正定  
 1 △(札幌) 岡田義美1 △(余市) 羽二生禮  
 子1 △(小樽) 角野誠二1 △(札幌) 伊藤信  
 夫2 △(札幌) 野口俊一1 △(札幌) 上島太  
 郎1 △(札幌) 八鍬四郎1 △(札幌) 小山昇  
 3 △(札幌) 奥村謙爾1 △(小樽) 阿部達郎  
 1 △(小樽) 平澤貞章1 △(札幌) 南條功1  
 △(小樽) 唯是日出彦2 △(札幌) 藤本悦男  
 2 △(札幌) 渡大次郎2 △(札幌) 鹽崎禮三  
 1 △(旭川) 關澤衛1 △(旭川) 小原順二2  
 △(旭川) 村上愛子1 △(旭川) 大瀧斗良樹  
 1 △(札幌) 寺境冬衛1 △(函館) 橋谷和枝  
 2 △(函館) 櫻田角二郎1 △(函館) 野村淺  
 之助1 △(函館) 橋谷京子2 △(小樽) 名取  
 まつ1 △(網走) 水野佳一2 △(帯廣) 伊藤  
 隆二1 △(帯廣) 菅野要1 △(室蘭) 大黒孝  
 儀2 △(函館) 東政雄3 以上

洋畫 △夏の景、雪の景、街の眺望池(田  
 雄次郎) △漁村盛夏(浅倉力男) △地球岬  
 燈臺のある岬(勇崎正次) △寶塚冬日池  
 畔早春、海を望む風景、北國晩春(能登  
 幸)  
 日本畫 △ルリ鳥、虎(笹野順太郎)  
 會 員 出 品  
 洋畫 △裸婦、婦人像(石川確) △ランブ  
 金魚(齋藤尚) △十勝高原、初秋(繁野三  
 郎) △初冬風景、裏庭(池谷寅一) △水邊  
 風景、小樽風景(古谷新太郎) △元町風景  
 (近岡外治郎) △曇り日春景(内山龍人) △  
 南京早春、靜浦風景(前田政雄) △夏の町  
 一、夏の町二(今裕) △雪の日カッパ(竹  
 田信夫) △人物A人物B(山内一彦) △裁  
 縫婦、母子(山本菊造) △圓山風景、初秋  
 落日(高岸愛) △郊外風景、人形を待てる  
 少女(本間紹夫) △冬の風景、早春風景(能  
 勢真美) △池畔初秋女子像(高橋北修) △  
 婦人坐像、横臥婦人(今田敬一) △馬に乗  
 るピエロ(三岸好太郎) △裸婦、澤枝重雄  
 △大沼の秋、カルルス温泉風景(天間正  
 五郎) △汀、梅雨時の海(林竹治郎) △裸  
 婦、大塚謙三) △風景靜物(田邊三重松) △  
 冬(奈良岡昂)  
 日本畫 △乳虎(北山晃文) △初夏の果實  
 と蔬菜(岩田華谷) △雪の北見(成田大口)  
 △官妓(炭光任) △沼(山内彌一郎) △山水  
 (岡崎南田)  
 彫刻 △水兵、臥婦(波多野忠雄) △トル

特別出品本郷新

△風景(小寺健吉) 靜物魚 △(上野山清貢)  
 △風景(山崎省三)  
 佳作 △石野宣三、櫻島他九名 △菅野翠  
 州 熊野他七名(以上)  
 次に以上一般入選、會員出品のうち入  
 賞決定の審査は

◇(理事) 島崎、片岡、佐野  
 ◇(洋畫) 會員 元間、前田、内山、  
 池谷、古谷、田邊(以上函館在住)、  
 齋藤、本間、山本、今田、能勢、繁  
 野、奈良岡(以上札幌在住)、中村善  
 策(東京)、山内(岩見澤)、  
 ◇(日本畫) 會員 炭、山内、成田、  
 北山

◇(彫刻) 會員 本郷  
 の二十二名出師し互選協議の結果次の如  
 く決定発表されたが、今年から洋畫部に  
 フロレンス賞が新に設けられた。  
 因に長官賞、市長賞は會員出品につき  
 會員互選の結果理事之を決定し、協會  
 賞、フロレンス賞は一般入選につき  
 審査員の投票協議によつて其の受賞者  
 を決定することになつてゐる。  
 ◇長官賞(一名) 彫刻... 本郷 新  
 高等工藝學校の彫刻部出身で、國展の  
 定連で今年トルソー外五點を發表  
 ◇市長賞(一名) 日本畫... 炭 光任  
 道展第三回の協會賞受賞者で、今年は

「官妓」を出品した。

美術學校卒業道展創立當時からの會員  
 で現在北海中學校、北海高等女學校に  
 教鞭をとり着支社の重鎮である。今年  
 は「裸婦」、「芳ちゃん」の二大作を發表  
 協會賞(四名)

○洋畫... 東政雄(函館) 今年「田  
 園の冬」外二點の入選である。春陽  
 會展に昨年と今年の二回入選した新  
 人で本道畫壇の爲に氣を吐いてゐる  
 ○日本畫... 小原觀嶺(札幌) 毎年大  
 作を出品してゐるが、今年出品の「  
 斑女」は一般の進境を見せてゐる。  
 ○日本畫... 高木黄史(札幌) 努力の  
 人であり今年出品の「芍薬」は壓力を  
 感じさせる。

○彫刻... 竹内收太(函館) 巴小學校  
 の先生で道展出品四回連続入選して  
 ゐる。  
 ◇フロレンス賞(五名)  
 ○第一席岡部文之助(札幌) ○第二席原  
 規久男(札幌) ○第三席小山昇(札幌) ○  
 第四席水野佳一(網走) ○第五席伊藤信  
 夫(札幌)

なほ新しく會員、會友に推薦された諸  
 氏は左の通りである。  
 ◇新會員(四名)  
 ○洋畫... 久保守 札一中出て美術學  
 校卒業、春陽會の定連で最近佛蘭西

留學より歸朝の新人(札幌)

○洋畫... 能戸幸 一昨年協會賞受賞  
 者で日魯會社に勤務してゐる春陽會  
 展に三回入選し去年と今年の二回は  
 二點の入選である。  
 ○洋畫... 池田勇次郎 札幌一中出身  
 で岩内在住道展友であつた人。  
 ○彫刻... 山内壯夫 札幌二中出身で  
 高等工藝學校の彫刻部卒で國展の定  
 連である。  
 ◇新會友(三名)  
 ○日本畫... 稻村浩子 女子美術卒で  
 昨年協會賞受賞者である。  
 ○日本畫... 島田壽山 拓銀に勤務し  
 てゐるが、畫人であつた亡父の後を  
 繼いで水墨に親しみ今年の作品は水  
 墨を主としたうちに秀でてゐた。  
 ○洋畫... 萩野馨 北大出身で第六回  
 道展ひ協會賞を得た人。

第一回北海道美術家聯盟展 郷里後  
 進の指導誘掖の爲め帝展、二科、春陽會  
 構造社の展覽會に其の名を誦はれてゐる  
 本道出身美術家中帝都在住の左の十二氏  
 を會員として、小樽新聞社の膽入りで、  
 「北海道美術家聯盟」が組織された。  
 ◇聯盟會員 (イロハ順)  
 (洋畫) 長谷川 昇 (彫刻) 濱田三郎  
 (洋畫) 岡田 七郎 (彫刻) 加藤顯清  
 (洋畫) 上野山清貢 (洋畫) 工藤三郎  
 (洋畫) 工藤信太郎 (日本畫) 山口蓬春



(洋畫)山崎 省三 (日本畫)筆谷等觀 (洋畫)小寺 健吉 (日本畫)久本春雄 而して之が第一回展覽會は同聯盟、小樽新聞社共催の下に、本年五月九日より十五日札幌市に於て開催された。同展覽會には會員十二名の作品洋畫三十八點日本畫十一點彫刻八點に會友の作品三十點計八十七點の外に、本道に於て公募作品八十八點の洋畫四百七十六點、日本畫三十七點彫刻二十一點計五百三十四點より會員小寺、上野山、岡田、工藤、久本、加藤の六氏が鑑査の結果得た入選洋畫百二十點、日本畫九點、彫刻五點計百三十四點を加へ、總計二百三十一名を陳列公開し本道美術界に一般の光彩を添へた。

入選作品左の通り  
日本畫 高木實史(三點)朝顔、金魚、しやくやく△富樫彌生子(一點)雲雀の歌△稻村浩子(二點)少女一、少女二△石橋静枝(一點)濱加子△森田桂齋(一點)こすもす白孔雀の圖△鈴木俊彦(一點)花壇冬日計九點  
彫刻 齋藤吉郎(女の胸像、女スケッチ)二點△大沼篤徳(死んだ正子さん)一點△季谷哲(花束を持つ少女、少女裸像)二點計五點  
洋畫 笹谷貫太郎(秋景)一點△田窪通泰(小樽風景、風景)二點△岡村樹太郎(少女)A一點△新田榮(大學の風景)一點△

大味新吾(黄昏の温室)一點△櫻庭彦治(洗足風景女と壺、長椅子の女、静物)四點△武田一男(漁船)一點△谷吉二郎(静物)一點△樋口忠次郎(洞爺湖風景、お人形さん)二點△兼平英二(港、少女像)二點△安部敏子(静物花A)二點△駒野正雄(ストグとスキー)一點△清野正(夏の街)一點△新谷清義(風景)一點△山野井秀夫(静物)一點△杉江文子(風景A、B)二點△原規久男(温室のある風景)一點△大森滋(山麓早春、驛構内)二點△田邊玲子(静物)一點△福弘三郎(雪景色)一點△菅保男(静物ダリヤ)一點△近江順次(顔)一點△岡田義美(三階よりながめた家、家を畫く)二點△藤井久康(盛夏)一點△武井則雄(川原のスケッチ、四月頃の圓山)二點△舟根繁(早春)一點△村上愛子(パインアップルなど)一點△矢野吉雄(池畔風景)一點△石川一三(水さしのある)一點△磯野静(椿、風景の二、風景の三)三點△泉秀雄(静物)一點△野口俊一(静物A、B)二點△熊谷二三男(日向葵)一點△和田芳郎(赤い垣)一點△藤本悦男(静物三)一點△佐々木武彦(測候所の見える風景)一點△西村菊子(島のある風景、海、伊豆風景、目黒風景)四點△新沼杏一(手宮公園風景、小樽港)二點△代田恒夫(ルネオ風景、繪を見る部屋)二點△西村芳夫(椿)一點△前田政雄(不詳)二點△加藤精一(お茶の水風景、静物風景)三點△

橋本郁子(白い手袋のある静物、郊外の秋、百日草)三點△溝淵健兒(百日草、自畫像、チューリップ、風景)四點△梅井知足(エビスビールの煙突、九段教會)二點△渡邊祐一郎(道路、大通り)二點△沼田信一(春の風景)一點△齋藤七資(鶏、静物、風景)三點△森田政義(冬に入りし町秋末風景)二點△野村保幸(静物)一點△松原平三郎(室内の窓側)一點△松原萬壽之助(埋立地を望んで)一點△角野誠治(海の見える風景、海と岩)二點△光永家次(曇り日)一點△横川清治(錢函風三、四)二點△竹部武一(魚)一點△須田三代治(冬の街、少女、港)三點△池田勇治郎(静物B)一點△田中秀雄(工場への道)一點△三浦きよ(人形静物)二點△岡本萬久(交叉點雪景)一點△鎌田里代(點場風景、静物)二點△岡本五百子(草花)一點△水野圭一(水海、魚)二點△宮野春夫(鈴谷の山、日光)二點△加木正雄(風景)一點△大江正美(花と魚)一點△小島幸吉(鯨)一點△小島左斗志(工場の入口、自動車小屋人形)三點△伊野喜良(波止場に林檎を賣る女)一點△小竹義夫(秋色)一點△田代正秀(樹木と道)一點△佐藤連三郎(冬の天狗山)一點△若山武子(曇り日)一點△山本長利(風景)一點△關兵衛(風景B)一點△大瀧斗真樹(早春)一點△合計百二十點  
入選者地方別 札幌、小樽兩市より入選者が其大部分を占め、旭川、東京

岩内、濱頓別、網走、夕張、樺太等よりも入選があつた。左の通り  
小樽(日本畫)石橋シズエ(洋畫)田窪通泰、岡村樹太郎、谷吉二郎、桶口忠次郎、兼平英二、杉江文子、田邊玲子、福弘三郎、磯野静、渡邊祐一郎、森田政美、野村保幸、松原平三郎、松原萬壽之助、角野誠治、横川清治、竹部武一、須田三代治、鎌田里代、伊野喜良、竹義夫、佐藤連三郎、若山武子  
旭川(日本畫)菊田桂齋(洋畫)船根茂、村上愛子、關兵衛、大瀧斗真樹  
東京(彫刻)齋藤吉郎、大沼篤徳(洋畫)岡本五百合子  
岩内(洋畫)笹谷貫太郎、齋藤七資  
濱頓別(洋畫)三浦きよ  
網走(洋畫)水野佳一  
夕張(洋畫)菅保男、矢野吉雄  
樺太(洋畫)宮野春夫  
札幌(日本畫)高木實史、富樫彌生子、稻村浩子(彫刻)李谷哲(洋畫)大味新吾、新田榮、武田一男、阿部敏子、駒野正男、清野正、新谷清義、山野井秀夫、原規久男、大森滋、近江順次、岡田義美、藤井久康、武井則雄、石川一三、泉秀雄、野口俊一、熊谷二三男、和田芳郎、藤本悦男、佐々木武彦、沼田信一、光永完治、池田雄次郎、田中秀雄、岡本萬久、加木正夫、大江正美、小島幸吉、小島左斗志、田代正秀、山本長利

會員及ビ入賞者 入選者中で洋畫櫻庭彦治、櫻井智足の二氏が會友として推薦され、日本畫の稻村浩子(昨年道展で協會賞を受け本年會友に推薦された)。洋畫の齋藤七資の兩氏が聯盟賞を得た。全道中等學生第二回圖畫展覽會北海道出版所主催の同展覽會は、その第一回を昨年開催し本道圖畫教育上に貢献したが、本年に第二回を二月十一日より七日間札幌市丸井吳服店四階に於て開かれた。而して全道中等學校小學校の生徒児童から應募された三千八百七十一點の作品を道内審査員  
札幌師範學校藤野教諭、旭川師範學校野村教諭、函館師範學校秋山教諭、畫家澤枝重雄、同林竹次郎、北大教授山根孝治、北海出版社繁野三郎  
七氏の嚴選で三百點を入選とし、更に之を我が國洋畫壇の權威である岡田三郎助石井柏亭の兩畫伯の下に送つて審査を受け特選五名、秀逸七名、佳作十八名を選定したもので、自由畫、圖案の二部に分れ、本道圖畫教育上見逃し難い圖畫展であつた。審査員石井柏亭畫伯は特選秀逸作品に短評を附し且つ全體の作品審査所感として「各學年優秀作多くしかも畫因が一方に偏せず各方面にわたつてゐる」と面白いと語つてゐる。  
特選 入選作品左の通り

▲第一部(自由畫)四名  
牧場にて(札幌高小高二)菅原長一、雪の風景(空知沼東高二)小林實、魚(函館中學二年)櫻田角三郎、サバ(室蘭成徳尋三(石川爲吉))  
▲第二部(圖案)一名  
帶模樣(札幌高小二)武田住  
▲秀逸  
▲第一部(自由畫)六名  
風景(札幌高小高二)牧正志、踏切風景(同)菅原長一、或る病院にて(同校尋五)山本長利、支那皿の果物(同校尋五)中村美代子(函館尋六)小藤恭子、青バス(札幌尋二)河村實  
▲第二部(圖案)一名  
連續模樣(札幌一中)平野俊昌  
▲佳作  
▲第一部(自由畫)十五名  
まりつき(札幌尋一)信太百合子教室(同尋二)加藤ミエ子、お友達(同尋二)地主淑子、運動場(同尋二)西條ちよ子、標本の寫生(夕張尋二)萩原生長、繪を描く友(札幌尋三)山本長良、牛(同尋三)出口松四、エイ子ちゃん(同尋三)出口松四、鉛筆さん(函館尋三)坂野忠ダリヤ(札幌尋五)高田義奈、二人の友(同尋五)山本長利、木の間家(同尋五)濱谷康夫、柿をむく老婆(旭川高二)高野一郎、小犬(札幌高二)出口三松書齋(函館師範)金子幸正



▲第二部(圖案)三名  
(札幌高)膳通勇次、(札幌藤高女)金子恭、(札幌師範)和田芳郎

▲第一部 尋一廿六名、尋二十三十一名、尋三十四名、尋四二十七名、尋五三十一名、尋六三十二名、高一三十一名、高二三十一名、中等學校二十一一名、尋二部 尋一一名、尋二十七名、尋三十九名、尋四一名、尋五九名、尋六三名、高一二名、高二三名、中等學校五名

▲選外佳作  
第一部七十二名 ▲第二部四十五名 ▲寫真(特選)「帶模様」札幌高小校高二武田住君

北大黒百合會美術展 北大文武會美術部主催の第二十四回黒百合會美術展は昨五年十一月二十二日から同月二十四日迄札幌市今井吳服店四階で開催されたが特別出品として二科春陽の會員の作品があつたが林俊衛「羊の居る風景」「静浦小景」「林武「静物」足立源一郎「黄衣の女」會宮一念「静物」青山義雄「南佛風景」谷伊之助「豌豆を剥ぐ」「樹蔭」中山巖は同年の二科展出品作「静物」に「南歐風景」を出品し中川一政は日本畫の小品「春江獨釣」「旅人憩處」二點を出品した。黒百合會員は滯佛中の山田正の春陽會入選作の外佐藤清子、今裕、萩野馨、原規久男外二十一名七十二點で、特別出品と合して九十點を陳列した。

尙ほ本年は丁度二十五年目に當るので過去長い歲月に於ける同會創設者有島武郎氏をはじめ舊會員の思ひ出深い作品約三十點を特別出品し、いはゞ二十五年回顧展として十一月二十六日から二十九日迄四日間札幌丸井吳服店四階に於て開催された。今回は例年の中央畫壇大家の贊助出品は見合せ、同會先輩中畫界に目覺ましく進出してゐる作家二科の近藤七郎市原達夫、春陽會の中堅山田正の諸氏の作品に今博士、小野博士。今出助教等をはじめ學生時代の花形であつた森岡、萩野、中村三氏の潑瀾たる作品等新舊會員を一堂に集めて黒百合會の氣を吐き、今秋掉尾の美を飾つた。

田邊氏個人展 二科中央美術展等に堂々入選し我國洋畫界にその將來を最も注目されてゐる大正五年函館商業出身、現在道廳會員である田邊三重松氏は本年四月一日より五日間、二科會員石井柏亭氏並に道展札幌會員有志後援の下に、札幌丸井吳服店四階に於て、各展覽會に出品したものと近作を合せて約五十點陳列し個人展を開いた。因に同氏は昭和三年二科入選と同時に第四回道展に長官賞を受賞翌四年第十回中央美術展、二科、五年に第三回聖徳太子奉贊展、第十七回の二科に堂々と入選し本道畫界の爲に氣を吐いてゐる。

藝術寫眞 全北海道太真寫眞聯盟展覽會 全北海道太真寫眞聯盟主催小樽新聞社後援の第九回寫眞展覽會の應募印畫は二百餘點に達し何れも力作揃ひであつたが、九月十五日小樽新聞社樓上に於て審査委員長嘉納虎太郎、委員藤森弘紹

坂口豊一、稻島光濤の諸氏嚴選の結果左記七十三點が入選と決定した。

特選「湖畔曉色」釧路、前原好雄  
准特選「一席」秋「留萌手塚庄太郎、二席「Last Touch of Sunshin」厚岸榮義

三席「朝」野付牛三好白洋、四席「作事場」原厚宮川直太郎、五席「南國風景」札幌、黒岩保

佳作「一席」ホートレット「野田白露、二席「初夏風景」手塚庄太郎、三席「ホワイトロース」野田白露、四席「秋」吉田耕五席「鷺進」辻直二六席「初夏の湖畔」北村正信七席「冬」岩井弘八席「牧場所見」渡邊黎陽九席「あえき登る」大谷利一十席「みなと風景」甲子結

入選「或る食堂にて」近間三代次「山家」岸崎琢「本願寺の朝」同上「温泉の朝」同上「カンナの花」前原松夫「夏の湖畔街道」村本元一「漁夫」中西賢三郎「日盛り」同上「眞夏の印象」橋本貞男「濱の人々」久本種吉「街頭戦線」同上「堀」細川庄作「朝」首藤明「麓の街」松本俊左男「構内」山根愛方「歸路」同上「雪景」花田清「静物」同上「朝もや」加藤操「留邊藥風景」高田奈衛門「町はづれ」同上「眞町の印象」同上「睡蓮の池にて」佐藤巖「縋帯の女」竹内健吉「村の學童等」黒岩保「残る印象」矢間久馬「ねぎ」村川正利「無題」同上「内港の一部」高橋富士郎「海邊情景」佐藤一丘「港風景」同

上「構内風景」沼田勇藏「白糸瀧」佐藤俊一「夏の川」奥野孝次「郊外風景」吉能庄之助「少女」加畑勝太郎「風速機のある風景」同上「郊外瀧川義方」秋「松浦義通」はつ秋「井上壽次郎」風景「佐藤成八郎」幼なきミツク「平原正夫」初雪の朝「古谷啓」夏の田家「同上」田園の朝「竹内光子」丘を行く「宮川直太郎」斜陽「榮義一郎」廣告寫眞「試作」同上「朝里岳雪景」茅野繁治「冬の山」同上「雪」中村義智子「朝の田家」竹内洋水「早朝」長池陽芳「鉢」手塚庄太郎「泡沫」働く者「大谷利一」

而して之が展覽會は札幌、小樽に於て舉行されたが入場者多數に上るの盛況を呈した。

尙昨冬行はれた第八回展覽會に於ける特選は「土人部落の初冬」(其二)旭川吉田耕氏で、準特選中一冬は「靜かなる朝」札幌尾崎雪路、二冬は「晩秋(其二)」旭川吉田耕、三冬は「彌平爺さん」厚岸榮義一郎、四冬は「雨の日の工事場情景」旭川大谷利一、五冬は「子供のあゝる風景」釧路辻直二の諸氏であつた。

サン・クラブ寫眞展 札幌サン・クラブは本年が恰も創立十周年に相當するため、豫て藝術寫眞印畫を募集中であつたが、九月二十一日日本眼鏡常樓上に於て藤森、黒岩、小島、片柳氏等をはじめ全會員で審査の結果一部五十點、二部四十四點入選と定め、内一部印畫中左の通り入賞した。

特選「静物」今枝環、準特選一席「灯ともし頃」小野正雄、同二席「朝」吉田耕同三席「南國風景」井上壽次、同四席「コスモス」榮義一郎、同五席「驛近し」久本種吉



渡邊徳一、山上の展望(三田三郎静物藤田嘉一、落葉炊き佐々木吉郎、屈斜路潮今井寅之助

洋楽

昭和五年の本道楽壇

昨年の音楽會は四月二十五日に今井記念館に開催された北大文武會音楽部主催の新入生歓迎「レコードコンサート」を皮切りに、北海中學校音楽部の細民救濟慈善ホームカ演奏會があり、六月が洪水時期で吉田晴風氏夫妻に日本舞踊の新人花柳珠寶の「新音楽と新舞踊」中山晋平藤間静枝、平井英子、四ツ谷文子の「民謡と童謡と舞踊の夕」があり、鈴木静一氏の「マンドリン獨奏會」、札幌開校十年の「第一回記念音樂會」等々樂壇に花が咲いたが、此の春での大物は關屋敏子の獨唱會であつた。其後秋のシーズンを迎へて

昭和六年の本道楽壇

本年に於ける音楽會の皮切りは小樽高商の第九回音樂會であつた。一月二十四日小樽新聞社並に小樽プレクトラムソサイティー後援で稲穂女子小學校で開催された。同校の音楽部は顧問三箇教授並にデーケン氏指導の下に定評のある所で、後援のプレクトラムソサイティーは小樽唯一の音楽團體で、そのメンバーは専門家揃ひ、それに新顔の同校教師フイギス氏及び奥澤校の佐藤氏のピアノ助演があつたので一層の光彩を放ち、市内同好者の好評を博した。之に續いて二十七日には札幌二中の音楽部創設記念演奏會があり、翌廿八日には「最近世界一流音樂大家の來朝が頻繁を加へ本邦樂壇に裨益を與へてゐるが本道は地の遠隔と確固なるマネーシヤリーの無いため屢々その機会を逸してゐたが今後は是等來朝する大家を招聘し斯界の向上を圖る爲め」札幌石井春省氏が純粹音樂社を創立し、その披露宴を豊平館に開いたが、同席上同時に同社後援會組織並に雜誌純粹音樂を發刊することに決定し、本道樂壇に貢献する事になつた。

二月 十一日の建國祭を祝ふため札幌市役所主催の市民音樂會は十四日午後六時より市公會堂で開催されたが、邦樂洋樂共市内一流の人々の出演があり邦樂は建國祭にふさわしい長唄「楠公」や箏曲「櫻狩」新日本音樂「花園」等の曲があつて和洋出演者百名を突破する盛大なものであつた、尙當日出演した人々は邦樂の康琳會々員、渡邊輝美井、藤澤鈴昭、杵屋社中、洋樂では札幌混聲合唱團や提琴田上義也、同熊澤長雄、バス上田明廣、同東末吉、ピアノ近藤冬子、小川隆子夫人ソプラノ横尾雪 等で札幌一流どころであつた。プログラムの左の通り。

第一部

- △都山流尺八本曲(二部合調若葉)一部(金子重蕉、勝木康暎、高木康栖、工藤康峰、佐々木康宵)二部(田村東鳳、高橋康都、會田康悦、杉井康駿、中村康基)東琳會員
△山田流箏曲(櫻狩)箏(渡邊輝美井、中村輝井、古館喜勢井)三絃(新田佐美治)尺八(橋本鈴法)
△長唄(楠公)とくさ會員唄(上村ひろ子、藤本喜久枝、杉山光子)三味線(杵屋六榮、二、杵屋六美惠、宮田あい子)
△新日本音樂(花園、宮城道雄作曲)高音(横山光喜勢、岩間多喜井、増田佐喜井、山部明喜井、遠藤はる子)低音(吉井光

井清藤喜美井、高橋喜代井、大野喜代子横山光江)
△新日本音樂尺八獨奏(新澤鈴昭)イ、月草の夢ロ、麥笛の頃(二曲共福田蘭童作曲)ピアノ伴奏志村ひろ子ハ、春の訪れ(宮城道雄作曲)箏伴奏橋本賀壽井
第二部
一、混聲合唱 札幌混聲合唱團指揮鈴木清太郎(イ)歌劇「タンホイゼ」中の巡禮の歌：ワグネル作(ロ)神劇「ユーダス・マネカベール」中の見よ！勇士は歸る：ヘンデル作
二、ヴァイオリン獨奏 熊澤長雄ピアノ伴奏山本明(イ)幻影：ドレドラ作(ロ)スベイン舞曲第六番：サラサーテ作
三、バス獨唱 土田明廣、ピアノ伴奏小川隆子、セロ助奏石井春省、歌劇「タンホイゼ」中の夕星の唄：ワグネル作
四、ピアノ獨奏 近藤冬子、アンブロンプテ作品第九十ノ四：シューベルト作
五、ソプラノ獨唱 横尾雪子、ピアノ伴奏鈴木清太郎(イ)歌劇「椿姫」中のあゝそは彼の人か：ヴェルディ作(ロ)歌劇「假面舞踏會」中の宣叙調：ヴェルディ作
六、ヴァイオリン獨奏 田上義也ピアノ伴奏鈴木清太郎、コルニドライ(祈りの歌)：マックス・ブルッフ作
七、混聲合唱 札幌混聲合唱團、指揮鈴木清太郎(イ)流涙の民：シユマン作(ロ)打てや鼓：宮原禎次作(ハ)あかばり：信

時潔作、君が代會衆一同齊唱

三月 八日午後一時から札幌師範學校の卒業生送別音樂會があり。
四月 札幌市公會堂に於て純粹音樂社主催の、セロのコンスタンチンシヤピロ氏のピアノ伴奏の「チアシンヤピロ夫人の獨奏會」が開かれ
五月 には昨年我國に紹介され樂壇其他各方面にシヨククを與へた中空電波音樂の「セルメン」演奏會が純粹音樂社主催で札幌、小樽、旭川、函館の四市に於て開催された。札幌では十六日夜公會堂で催され演奏者は國立高等音樂學校出身のメツオ・ソプラノ渡邊光子嬢伴奏は同英子嬢の姉妹で、札幌兩市演奏には北大マンドリン・オーケストラが賛助出演をして獨唱の伴奏を行つた。
六月 十日午後七時に札幌市公會堂で札幌シンフォニー・オーケストラの創立十周年記念演奏會が催され、
第一部 △一、歌劇「ボヴァンチーナ」の前奏曲：ムソルグスキー△二、第九交響曲、二短調：ベートーベン
第二部 △三、間奏舞踊曲：シベリウ
ス△四、第七交響曲、八長調：シユイベン△五、カマリンスカヤ：シクリンカ
の五曲が演奏された。
二十四日午後七時から、小樽廳立高

女創立二十五周年を祝賀する意味に於て同校同窓會の組織する櫻陽會主催の下に同地松竹座で音樂會が催され、ヴァイオリン岡田二郎、獨唱關種子、ピアノ赤羽鶴子三氏の出演があり、
二十九日午後七時から、最近生れた本道樂人五十餘名から成る北日本交響樂團の第一回演奏會が札幌市公會堂で催され「新世界より」△交響詩「中央アジアの曠原にて」△組曲「シルビア歌曲」の演奏があつた。因に同樂團は毎月二回交響樂研究會演奏會を開催することになつてゐるか事務所は札幌南十一西六のネヴオ喫茶店内に置かれてゐる。
七月 さきに北海道廳産業部後援の下に北海道郷土藝術の夕を帝都及び中京方面に公開し多大の好評を博した旭川所在の北海ホームカ協會員は三十日午前十一時から小樽海港博覧會館に於て特別演奏をなし一般聴衆に多大な感動を與へた。尙ほ當日のプログラム左の通り
△第一部 一、旭川舞踊大雪山會員二、新舞踊鴨川小唄田代美代坂内千代三、童謡舞踊山の子供笠井豐子館花敏子四、同砂山吉田政江青木和子星野文子五、新舞踊京の夢唄花輪千枝六、童謡舞踊まりと殿様大迫榮子笠井豐子七、郷土舞踊田植唄會員
△第二部 一、新内舞踊昭和音頭會員二



童謡舞踊花嫁人形友田衣子金谷松池三  
新舞踊茶切の唄花輪友田金谷坂内四、  
童謡舞踊桃太郎音頭會員五、新舞踊青  
い鳥中島ミナ渡邊キヨ子六、獨唱計り  
聲吉田政江子七、旭川舞踊會雲峽員  
△第三部 一、新舞踊遍路の唄友田衣子  
二、同柳の下田代美代金谷和江三、獨  
唱ニーナの死石動春子四、郷土舞踊出  
船の港、友田和世五、新舞踊京都情緒  
花輪千代田代美代六、新日本舞踊せき  
れい坂田千恵子七、郷土舞踊北海道ス  
キー民謡會員

八月 慶應義塾音楽部マンドリン俱  
樂部は今夏新整歌及び野球應援歌紹介の  
爲め、今回始めて來道し一日小樽、三日  
札幌で大演奏會を開催し好評を博したが  
札幌で大演奏會を開催し好評を博したが  
同部員と行を共にし一般の光彩を演奏會  
に添へた藤本政子嬢は上野音楽學校に學  
び後サルコリー氏の門下に入り秀才と謳  
はれてゐる新進で、非常の人氣であつた  
尙プログラムは左の通り。

◇一 部  
1、合奏A若き血(堀内敬三作曲)B  
ブルーレットアンドブル(橋本國彦作  
曲)2、合奏覆された陰謀(序曲)(チ  
マローザ作曲)3、フルート獨奏(ギダ  
ー伴奏)高田裕、Aミヌエツト(ビゼー  
作曲)B夜鶯(ドンツヨソ作曲)4、合  
奏ミレナ(マナオツキ作曲)

1、合奏早慶戦(服部正作曲)2、マン  
ドリン獨奏(無伴奏)高久肇、第一前奏  
曲(カラチエ作曲)3、ソプラノ獨唱  
(オーケストラ伴奏)藤本政子、Aスバ  
ニオーラ(キヤラ作曲)B野いばら(關  
屋敏子作曲)C鈴をおさめて(中山晋  
平)4、スペインの印象(組曲)(アール  
ユロン作曲)A逍遙B小夜曲Cオレン  
テ樹の下にてDボレロ舞曲ソプラノ  
藤本政子嬢指揮者服部正氏  
越えて二十三日午後六時か、札幌音楽  
同好會主催で市公會堂に於て「獨唱とク  
ワルテツトの夕」が催された。演奏者獨  
唱者は東京音楽學校出身の人々でメツツ  
オツソプラノの四家文子嬢、グイオラの  
森乙氏、セロ瀧井悌介氏、東京絃樂四重  
奏團等で、曲目はモーツアルトやチャイ  
コフスキー作曲のもの始め山田耕作、橋  
本國彦氏等作曲した日本民謡等であつた  
九月 昨年も麗らかな陽春四月にわ  
れ等の歌姫關屋敏子嬢を迎へた我が北海  
樂壇は、いままた涼風漸く立ち初めたこ  
の秋のシーズンに「ラギーザお玉」につぐ  
實話文學の主人公、そして日本の生んだ  
ソプラノ・ヨリコ・レヂエロの歌手、ベ  
ルトラメリー能子夫人を迎へた。北海の  
秋に南國イタリーの情熱を歌ふ彼女の藝  
術はわれ等を音楽藝術の陶醉境に誘つて  
しまつた。即ち彼女の演奏旅行は十九日小  
樽を振出しに二十日札幌、二十一日小

樽、其他旭川、室蘭と忙しい日程を辿つ  
たが、その巡演にピアノ伴奏にとめた  
松浦智恵子嬢は先年關屋敏子嬢の全國演  
奏旅行において常にその伴奏を努め廣く  
其の手腕を讃へられた新進の女流ピアニ  
ストで、東洋音楽學校ピアノ科出身、中  
央樂壇に於てはソロイストとして、また  
著名な樂人のよき伴奏者として天分を發  
揮してゐるが、能子史の美しき獨唱は  
このよき伴奏者によつて更に聴衆を藝術  
境に奪ひ去らしめた。

△第二部 △マスカニ「アペマリア」△レ  
ナンカバロ「マチナター」△トセリ「セ  
レナー」△ロツシニ「タランテラ」  
△第三部 △山田耕作「二十三夜」△同  
「波浮の港」△同「紅殻とんぼ」△同「捨  
てた葱」△同「粉屋念佛」△橋本國彦「お  
六娘」

即ち先月はイタリー歸朝のベルトラメ  
リー能子女史を迎へて間もないとき。ま  
た再び此の郷土出身の藝術家の藝術を聴  
き得た我が北海樂壇の今秋は、實に恵ま  
れたシーズンであつたと云はればならな  
い。

十一月 今春二月二十二日第五回音  
樂會を催し聴衆に多大な感動を與へた小  
樽緑ヶ丘高女校友會は、更に本月一日第  
六回音楽會を同校講堂に於て開催し、秋  
の音楽シーズンを賑はした。

續いて八日には、全校生の協力と卒業  
生の支持に毎年秋季大音楽會を開催して  
きた麻立札幌高女は、第十二回音楽會を  
市内公會堂に於て開催した。在校生徒は  
勿論のこと、卒業生の外に在札の音楽家  
パスの東末吉氏の賛助出演があつて、な  
か／＼の盛況を呈した。

藝術

散會した。當夜の出演者並にプログラム  
は左の通り  
出演者  
提琴は北海高女の小川千代子、鐵道局  
の金子實、建築家の田上義也。齒科醫  
の坂田義晴、SMCの清水繁雄の諸氏  
歌は市立高女の横尾雪子、市立病院の  
土田明廣、藤高女の村井眞砂子、鐵道  
局の東末吉、麻立高女の鈴木清太郎の  
諸氏で、伴奏は伊藤美榮子、小川隆子  
小川千代子、長村登一、鈴木清太郎の  
五氏であつた。尙  
プログラムは

△提琴獨奏(清水繁雄)シムフォニー・  
エスパニール(ラロー曲)其他△バス獨  
唱(東末吉)A死と少女(シューベルト  
曲)Bナザレの村(グノー曲)△提琴獨  
奏(田上義也)Aアンダンテ・カンタビ  
レ(チャイコフスキー曲)Bハンガリ  
アン・ダンス第五(アラームス曲)△バ  
リトン獨唱(土田明廣)A菩提樹(シュ  
ーベルト曲)Bトロバトール中の胸の  
嵐(ヴェルテ曲)△提琴獨奏(金子實)  
Aセコンド・ドマツカ(カキニアウスキ  
ー曲)Bエアーバリー第五(チャール  
ス・ダンブラウ曲)△テノール獨唱  
(鈴木清太郎)Aエレヂー(マスネー  
曲)B二人の擲弾兵(シューマン曲)C  
アペマリア(シューベルト曲)提琴獨奏  
(小川千代子)A子守唄(ネルダー曲)

八月 わが郷土の誇り、札幌出身唯  
一のテナー奥田良三氏の歸朝獨唱會は、  
十六日小樽を振出しに十七日札幌十八日  
旭川と順次催されたが、氏の藝術をきく  
のは先きの歸朝記念獨唱會後まる三年の  
事で、再度の渡歐によつて一層洗練され  
たその藝術は本道演奏行脚到處歴倒的  
人氣を博したが、その獨唱會に於けるヒ  
アノ伴奏者は伊東芳枝女史で、本年廿五  
歳の新進女流ピアニスト、日本音楽學校  
ピアノ科出身で、同校教授井上織子女史  
の伴奏者として既に各地に好評を博した  
人で、今回そのすぐれた手腕を發揮して  
奥田氏の藝術をして一層効果あらしめ好  
樂家をして充分の満足を與へた。尙小樽  
中央座に於けるプログラムは左の通り  
△第一部 △ヘンデル「祈りの歌」△モツ  
アルト「子守歌」△ジヨオルダニ「愛ぐ  
し乙女」△ベルゴレシイ「ニーナの死」

八千代會溫習會 琴曲長唄の江釣子  
美世井、梓屋榮喜音の二姉妹を會主とす  
る札幌の八千代會では四月二十九日午後  
一時から丸井記念館に於て第二十五回溫  
習會を催し來會者場外に溢れるの盛況で  
長唄「春秋」玉菊「綱筋の段」、幌都尺八  
界の權威中康山師出演の琴曲「須磨の  
嵐」「松の壽」等何れも大喝采を博した。  
争曲披露演奏 小樽市山田流箏曲師  
匠細目糸野女史の門下中野敏子、佐藤久  
子、(奥許)小松秀子、岩田桃代、寺村ト  
シ子架谷コト子(中許)披露を兼ね五月三  
十一日午前九時から小樽俱樂部に於て演  
奏會を催し、特に齋藤秋生、増田岡葉兩  
女史の來援、他市内各師匠應援があつて  
盛況を呈した。

琴曲相談會 山田流琴曲の最高權者  
今井慶松氏を招聘歓迎の相談會は、月二  
十四日夜札幌市千秋庵で開催したが山田



流札幌琴曲會の新田佐美治氏、同令嬢、横山美喜勢氏、渡邊輝美井氏、笹島花井氏、橋本賀壽井氏、江釣子美世井氏、一ノ瀬佳世井氏に後援側の代表木下三四彦氏、深澤氏外各新開社員會合し歓迎懇談會、歓迎記念演奏會開催等について協議し意見の交換を行つた。

今井慶松師の歓迎記念演奏會 右の如く札幌山田流琴曲界の人々が我國琴曲界の最高權威今井慶松師を招いて演奏會を開催すべく運動してゐたが、七月十七日午前十時今井慶松氏は長女敬子嬢(等)諏訪多喜井氏(三絃)納富壽童(尺八)の三氏と共に來札したが驛頭は出迎の山田流琴曲界の人々で埋められた。午後五時から豊平館で山田流の人々の歓迎茶話會に臨み夜はJOIKから三曲合奏、雨夜の月を放送し、十八日の夜七時から市公會堂の歓迎記念演奏會に臨んだ。同會は札幌山田流の師と弟子、家族、全道各地の山田流の人々が慶松師を迎へての記念演奏會で會券は一般に頒たなかつたが會する者堂に溢れるの盛況で、慶松師は△鶴壽千歳(三絃)諏訪、尺八納富)△御山獅子△新布さらしの三曲を演奏し、長女敬子嬢は「長恨歌」「松竹梅」の二曲を演奏したが、其の妙技に一同魅せられてしまつた。續いて翌十九日には小樽中央座の歓迎演奏會に臨席して演奏をなし多大の感動

を與へた。龜谷岡波師名披露目演奏會 小樽市緑町の琴曲師匠龜谷岡波師は家元萩岡門下にあつて多年研鑽を積み、歸郷後は指南の任に當つてゐたが、今回市内に於ける箏曲の藤原、増川、若野、北川、青海平野、細谷、林田各師匠の應援を受け、愛國婦人會小樽市幹事部有志幹事部市長夫人木田川芳子、廣瀬朝子、町野とわ子外數氏の後援で東京から現代山田流の家元萩岡松韻師(山田流宗家山田松里師の流れを継ぎ一世山勢松韻師、二世山勢慶風を経て三世山勢松韻師の高弟で、今井慶松師の兄弟子に當る)の長男萩岡松柯、丹内萩波の兩師を招聘し、十月十一日午前九時から公會堂で名披露目をなし、更に琴曲講演大會を開催した。

春美會温習會 幌都山田流春美會(笹島花井師)主催の第二十四回秋季温習會は十一月十一日正午から今井記念館に於て開催會衆二百餘名、渡邊操秀(生田)青山呂童(上田)高橋涉童、齋藤玉洞(琴古)諸氏の應援演奏の下に左記門下生の中許披露をかれ第二十四回秋季温習會を開催し好評を博した。(中許)堀ヨシ子、奥田コト子、大谷木康、吉田敏子、遠藤檢校師の發表大會 箏、三絃、胡弓、尺八等の純日本音楽を童謡、舞踊の伴奏に用ふる云ふ遠藤檢校師の試み

は豫て講習會開催中であつたが本年一月廿五日これが發表大會を札幌丸井記念館に於て國風音楽獎勵會主催で開かれ來會者はその新しい綜合日本音楽の妙に魅せられ盛會裡に散會した。札幌邦樂會の演奏會 新日本音楽の研究團體として本道唯一の札幌新與邦樂會主催創立記念第一回演奏會は本年一月十八日札幌丸井記念館に於て開かれたがプログラムの殆どは宮城道雄、町田嘉章氏の作曲で演奏法は唯是想山指揮し、團員十三名の一大管絃樂であるだけに、なかくの精練振りを示し好評裡に散會。

三味線學校の開校 樂譜によつて三味線の教授を始めた村家彌七師の三味線樂研究所は五月十日札幌市北七西十三に開校したが専ら三味線樂を家庭に入れるのが目的で藝妓や職業家には教授しない校則で、僅か六ヶ月で初等科を習得するのだが、長唄、常盤津、清元、地唄等何でも教授してゐる。研究生三十名。尙同研究所では前教師歸京したが後任教師として村屋彌登勢女史が新に赴任し通學者の不便をさける爲め十月北三十四一丁目に移轉した。玉聲會演奏 琴古流尺八玉聲會では六月七日午後一時から札幌市停車場通り鐵道俱樂部に於て演奏大會開催、市内一

流の琴曲家及長唄鳥羽屋三佐夫師社中の應援出演があつてなかくの人氣であつた。

都「流尺八若葉會生る 都山流尺八金森剛堂師小樽門下生は當流創始三十五年記念に研究若葉會を組織したので六月二十七日午後五時から小樽公園通太陽電機會社樓上に於て發表演奏會を開き同年十月十八日には公園俱樂部に於て第二回研究發表會を催し市内琴曲師匠増川若野、北川、高根、猪俣諸師の應援、同流尺八師匠高根統師の贊助出演もあつて前回に増したる盛況であつた。

中尾都山師祝宴 都山流尺八宗家中尾都山師が明治廿八年大阪に於て都山流を創始以來本年を以て滿三十五年に達し現在では全國に師範以上のもの千五百餘名その流れを汲むもの實に數萬人といふ大勢力であるが、今夏都山師はこれが記念の祝を爲す爲め來札し八月九日夜道内各師範、琴曲師匠その他六十餘名を札幌旗亭幾代に招待し祝宴を催した。

都山流康琳會演奏會 都山流尺八創始三十五年記念演奏會は都山流康琳會主催で十月二十五日午後四時から札幌鐵道俱樂部樓上に開催、東京正派邦樂會師範大久保雅龍氏が應援の爲め出演し尙玲琴、笙等の演奏もあつて盛會であつた。清元 みどり會温習 札幌の杵屋勝七百師

匠を會主とする同會の長唄温習會は五月十日午後二時から札幌豊平館に於て開催、「櫓三番叟」から始めて十三の種目に至り夫々美妙の技を見せたが、特に「鞍馬山」「富士の雪」「若菜摘み」「菖蒲浴衣」「晒衣」等喝采を博した。比較的名流家庭の子女を網羅して居ると云はれてゐるだけあつて、一種の落着きを見せて午後九時盛會裏に閉會。

北司會演習會 小樽北司會は六月十三、四の兩日演習會で温習會を開いたが柴田ケイ子、南谷雪子、米チエ子、小池ミチ子、越川末子、大木戸秀子等の六才から八歳位の子供さんの出演あつたので非常の人氣を博した。當日の演じたものは、△長唄三番叟、羽根禿、手習兒藤娘、櫻狩、小原女、越後獅子、松竹梅、八島官女(以上舞踊)、四季の眺め(素囃)△清元子守、玉兔、文寶、傀儡師、花笠△常盤津羽衣、老松

若葉會演習會 札幌長唄杵屋六吉祭師を會主とする若葉會主催の第九回秋季温習會は十月九日午後五時から札幌市今井記念館で會主杵屋六吉祭並に鳴物堅田喜千枝補導の下に開催されたが、演奏曲目は、操三番、供奴、岸の柳、春雨傘望月、元祿花見踊、新曲浦島、五條橋、綱館、京鹿の子、娘道成寺であつた。

清見見 小樽の清見太夫を會主とする清見會主催の下に札幌藝妓連出演の清

元と舞踊の會が十一月六、七の兩日午後四時から小樽演藝館に於て開かれたが、出しものは

△清元 式三番叟、子守、三千歳、三社祭、船頭、櫓上、お半、かき、△舞踊 玉屋、おそめ、文寶、藤娘、四季壽、保名 等で、昭和北斗の兩見番に清元各師匠が後援があつて盛況を呈した。其他 以上の外長唄の會は澤山あつて四季折々に種々の會を催し門下生の技を練り相互に研鑽を積んでゐる。

隠退披露淨瑠璃會 明治三十八年以來小樽の素人を對手に稽古づけて來た義太夫師匠竹本小政師は昨五年七十三才の老齡に達し殊に亡父の一周忌に當るのでこれを機會に愉々藝界を隠退することになり同年九月十八日より三日間市内各師匠及び其の門下の應援を得て大々的に隠退披露淨瑠璃大會を演藝館に於て催したが、開演中二日間は文樂座の竹本三瀧太夫が特に出演し、小政の糸で初日は「沼津」二日目は「赤垣出立」を語つた。小政の東京女義界の全盛時代小清と對立した程鳴らした女で、約五十年間その道に精進し今回隠退することになつたのである。

大八會 小樽竹本年八會主大八會主催の秋季素義大會は十月廿一二の兩日演藝館に於て開催されたが、兩日共市内天



運と各師匠連の應援があつて盛況を呈  
 竹廣會 小樽市義太夫師匠豊澤竹廣  
 の竹廣會主催の演劇と義太夫の會は小樽  
 で非常な盛況を見たので三月七、八兩日  
 札幌劇場で同大會を催し札幌幾代、いづ  
 み等一流旗亭五軒の後援を得、三見番か  
 らは代表老妓の外各師匠と男連中も出演  
 し、小樽からは勘彌師も一黨を率ゐて乗  
 込むなどなかに賑ひで大好評を博し  
 た。尙演藝は頗る大がかりもので本物の  
 芝居と何等遊色なきもので狂言は壺坂、  
 安達ヶ原、太閤記、一ノ谷等であつた。  
 團政會 小樽團政會主催の義太夫大  
 會は三月廿五日小樽中央座横二十部番屋  
 に於て、又六月八、九兩日小樽公園倶楽  
 部に於て開催され多數の聴衆掛けて盛  
 況裏に散會した。  
 重友會 小樽義太夫師匠鶴澤重吉會  
 主の重友會主催の素義大會は三月十八九  
 兩日演藝館に於て開かれ花柳界方面の應  
 援があつて盛況を呈し、更に九月廿八、  
 九の兩日秋季美太夫大會を同館に於て催  
 し多大の好評を博した。  
 糸八素義大會 小樽昭利見番鶴澤糸  
 八主催の美太夫大會は五月二、三の兩日  
 公園倶楽部に於て開催したが年々、重吉  
 竹廣、團政の各師匠連に藝妓の應援があ  
 つて盛況裡に散會した。

樽し公園倶楽部に於て一般教授に當つて  
 其の普及に努めた右の外小樽には觀世會  
 小樽郵船觀世會等があり本年八月六日郵  
 船觀世會滿五周年記念大會には中村雅之  
 助師の出演があり袴能狸々の演能があつ  
 た。また函館には中村師の同門會がある  
 札幌には拓銀の高砂會、道廳の道門會  
 婦人團の翡翠會、觀世流諸曲宣傳部等が  
 あり菅原翠洲師が之等の指南に當つてお  
 り同師は今夏八月二十一日病を得て突  
 如逝去するに至つた。尙ほ同師の直轄の  
 翠川會を組織して同流の爲め大いに努め  
 てゐた。同翠川會は本年六月七日拓銀の  
 高砂會、道門會、翡翠會等後援の下に拓  
 銀能樂部に於て春期諸曲大會を催した。ま  
 札幌觀世會では三月二十一日故觀世眞弘  
 師の一週忌に相當するの市公會堂に於  
 て市内各流各會援助の下に追悼法要を兼  
 れて追善諸曲大會を開催した。  
 喜多流 當流は前二流に比し其の普  
 及の程度未だ及ばないが、小樽には和島  
 周三郎師在住し喜多會を組織して門弟の  
 教授に専念して居るが、札幌喜多會にも  
 その指導の手を伸ばしてゐる。札幌の喜  
 多會では多年同流の元老として諸曲界の  
 ために盡瘁した札幌控訴院検事長寺島久  
 松氏の送別の意味で三月十五日鐵道集會  
 所で囃子大會を催したが、當日は大坂喜  
 多流の師範正木龜三郎氏並に東京の家元  
 後藤得三郎兩師を初め札幌市内各流の名

實生流 小樽市内には影山泰山師在  
 住して同流の普及に専念し、同師を  
 中心とする影山會、寶影會、寶仙會等多  
 數の研究會が組織されて春秋二季には大  
 會、毎月の例會等が催されなかに熱  
 心振りであるが、同師は道内各地にも出  
 稽古もして居り鹽谷村の寶松會も同師の  
 流れを汲む一派である。又小樽には寶生  
 流平林三郎師を中心とする藤林會があり  
 東都寶生流の大家近藤乾三師の門人で小  
 樽無盡會社を根據とする藤門會がある。  
 同會は毎年一回近藤師を聘して技を練つ  
 て居るが、本年一月十五日の初詣會には  
 來樽中の東都壽原勇三郎氏も出演し盛況  
 を呈した。また札幌には藤門會があつて  
 昨年八月十日には旗亭いく代で寶生流の  
 宗家近藤乾三師、近藤禮師を迎へて歡迎  
 諸曲大會を催して大いに氣勢をあげた。  
 以上の外小樽には實生會、寶友會、寶文  
 會、高砂會、盟風會綠樹會小樽實生流諸  
 曲研究等があつて月の例會或は大會等を  
 開催して居る。尙ほ市内實生流一方の雄と  
 して多年斯道の研究に熱中してゐた花園  
 町の江沼駒次郎氏は客臘更に大家につい  
 て諸曲及び四拍子を専念研究すべく上京  
 し諸曲を松本師、四拍子を家元及び各大  
 家につき研鑽の結果本年五月歸樽、諸曲  
 には靜賢會、拍子には靜調子を組織して  
 斯道の爲に大いに勉勵中である。  
 次に札幌には波吉外治師門下の札幌波

士が何れも出演し非常な盛會を極めた。  
 降つて八月九日には喜多宗家の嗣子喜多  
 實師が同流の逸材高木義男、金子五郎の  
 兩師を同伴し來道したので小樽和島師主  
 催札幌喜多會後援の下に小樽公會堂に於  
 て歡迎諸曲大會を開催し非常の人氣を博  
 した。  
 札幌錦心流琵琶教師會二派に分裂 故  
 永田錦心氏によつて育まれ今や全國に約  
 一萬人の水鏡(奥傳以上)を有し、流門  
 の全盛を誇る所謂錦心流琵琶も過般水藤  
 枝水、同錦藤兩名の除名問題あつて以來  
 その統制昔日の如くならず遂に錦心流琵  
 琶本部(東京)は一水會本部と錦心流本部  
 との二派に分れ、その波紋は漸次全國的  
 となつて本道に於てもその縁故關係等に  
 より自然二分され、札幌教師會も昨年夏  
 解散の運命に至つたが同年九月新たに本  
 部側と一水會側の二つの教師會が生れ、  
 本部側は九月十三日、一水會側は同二十  
 三日何れも札幌今井記念館に於て發會演  
 奏大會を開催して氣勢を擧げた。  
 而して一水會札幌支部會員には米澤環  
 水、横山螢水、山田映水、内山燕水、松  
 水、水鏡水、藤田糟水、福田道水、上島幌水  
 山岸守水、馬越基水、菊地閃水、木場曉  
 水、木林注水、弘中颯水、矢田鳴水、福  
 士庶水等の諸氏があり、小樽には三島雄  
 水、中村昭水、辻林稍水、泉谷及水の諸

吉會、札幌實生流諸曲所究會、小田同門  
 會、實生流素諸會、圓山寶生會其他があ  
 つてそれら同流の藝道に勤んでゐる。  
 又本年九月二十四日には第三回北空知  
 寶生聯合諸曲大會が深川町公會堂で開か  
 れ、瀧川、江部乙、砂川、上砂川、納内  
 妹背牛、深川、其他有志の參會があつて  
 地方に於ける實生流の氣勢をあげた。  
 尙本年六月閑院宮殿下に供奉申上げ赤  
 十字社長の資格で渡道中の中央に於て寶  
 生會の會長を勤めてゐる徳川家達公を迎  
 へた札幌諸曲同好者は二十四日札幌市  
 代、廿七日小樽市開陽亭に於て歡迎諸  
 曲大會を開催し、徳川公は札幌で得意の  
 「藤戸」を獨吟し小樽では「俊寛」のシテを  
 勤めた。  
 觀世流 小樽の同流は實生流程の盛  
 況を見ないが、渡邊亨昭師門下の昭聲會  
 は毎月の例會は之を勵行し居り、本年五  
 月十日には小樽俱樂部に於て第三回春季  
 諸曲大會を開いてなかに盛況振りを  
 見せ、八月には觀世流の東京淺見眞理師  
 の來樽を機として二十三日小樽俱樂部に  
 於て歡迎諸曲會を開いて淺見師は俊寛を  
 吟じた。また野呂師門下の野呂松韻會が  
 あり、本年四月は野呂松韻會一週忌に當  
 るので追悼會を催し、函館中村雅之助師  
 の出張教授をうけてゐる瓢月會があつた。  
 中村師は昨五年十月十七日より一週間滯

氏が居り、江別町には山田水幹、岩見澤  
 町には小樽から轉動した宮腰諒水氏が居  
 り、各それら門弟より成る會を組織し  
 て之が稽古に勤み藝道に精進して居る。  
 尙右宗家側の一水會札幌支部は故永田  
 錦心高弟總傳松田靜水師を迎へ前述の如  
 く發會演奏會を催したが、小樽永吟會、稍  
 水會、雉水會、諒水會支部、國聲會其他  
 水鏡者主催となり二十五日午後六時から  
 公園俱樂部で講習會を開いた。本年に入  
 つて一水會派の研精會では二月二十一日  
 今井記念館に於て錦心流琵琶の源泉たる  
 岳城流宗家吉村岳城氏を迎へ研精會春季  
 演奏大會を開き出演者(會員)十五名の外  
 に吉枝氏の「その日の東郷元帥」の特別出  
 演があり、十月二十四日夜環水會秋季演  
 奏會が札幌今井記念館で催され宗家顧問  
 松田靜水氏の「吉野落」の特別出演があつ  
 て同派の普及に影響する所大であつた。  
 次に本部派に屬する者には札幌支部の  
 山田錦峰、英雄錦丘、山田錦巧、岩淵錦  
 梗、松田錦盤(歎水)氏等、小樽の松水錦  
 濱(澤水)氏等が居り、本年八月八日には  
 札幌支部主催の下に錦心流琵琶界の第一  
 人者本部審査委員長雨宮錦峰師を迎へ今  
 井記念館に於て演奏會を催したが當日錦  
 峰師の「橋大隊長」の彈奏があつて大いに  
 人氣をわき立たせ、ついで十一月十一  
 日午後五時から小樽錦心流琵琶澤水會  
 主催の下に花園町演藝會に於て、同流本



部審査員たる松本錦灯師を招聘して演奏會を開き、錦灯師は「松の廊下」外敷曲を吟し近來に珍らしい盛況を呈した。

岳城流 札幌放送局では本年三月二十八日小樽中央座に於て加入者慰安の寶珠琵琶界の第一人者岳城流家元吉村岳城氏を招聘し好評を博したが、これを機として北海道城山會で同月三十一日夜市公園俱樂部に於て各流應援の下に同師歡迎の大演奏會を開催したが、同師の演奏は久々のことでもあり且つ圓熟せる氏の藝風はいよゝゝ古典味を加へ、其の日の東郷元郷の彈奏は聴衆として不知不識の中に其の藝道に誘ひ去つた。

筑前琵琶 同じ琵琶ではあるが、筑前は前者に比し道内の普及は立後れの感があり未だ一般的勢力までには達してゐない。現在諸流の本道代表と目されるものゝ函館の橋會師範代理菅谷旭氏に居り、旭會には同地に千々岩旭枝、小樽に島旭波最近東京を引上げて來た磯田旭龍、敦森旭齋、近藤旭峻、磯田旭蘭、北野旭響、札幌には村田旭芳、伊藤旭昇、法補山栗田旭奏、琴似に伊藤旭琴氏等が居つて、各門弟の教養、斯道の普及に勤んでゐる本年十月四、五の兩日東都筑前琵琶の權威者高峰筑風師來樽し演藝館於て開演して多大の好評を受け、また同じ月には筑前琵琶八洲流の宗家安部旭洲氏斯道

普及のため來樽し、之を機として小樽旭會主催の下に小樽筑前琵琶會の後援を得旭洲氏歡迎演奏大會を二十三日夜花園町演藝館に於て開き、安部旭洲氏は名犬一文字を彈奏して非常の人氣をうけた。

舞踊及び演劇

札幌藤間少女會 札幌の舞踊師藤間勸雪氏を會主とする札幌藤間少女會は専ら子供本位の舞踊研究に全力を注ぎ、その練習に専念してゐるが、一面之が一般に普及のため公演會を開いてゐる。昨年十一月八日梓屋勝政師社中、清元延美佐師社中、常盤津麒麟會連中等の後援で札幌市公會堂で第七回公演會を催したが、札幌市公會堂に溢れるの盛況を呈し晩秋の札幌を飾るにふさはしい會であつた。又本年の五月二、三の兩日は札幌の藤壽會で藤間少女舞踊大會を開き、出演者十二三歳の少女を中心にして花柳界方面よりも多數の應援があつて非常の人氣を博した。

札幌行燈會 小野春子女士を會主とする同會は専ら舞踊を教へてゐるが、本年十月に入つて女子音樂部並に體育研究のためピアノ、オルガン、聲樂、學校舞踊、兒童舞踊、藝術舞踊、曲線體操等の講習を開くことになり毎日午後夜間この教授に當ることになつたが、講師は同

會主の外に斯道の大家がこれに當つてゐる。おさな會 小樽市花園町舞踊師匠花柳多喜代師は子供に舞踊を教へてゐるが本年十月廿四、五の兩日演藝館に於て公演會を催したが、他方鳴物囃子には昭和本院の舞妓が應援出演したので盛會であつた。

小樽高商外語劇 例年小樽プレイ・フアンの話題を飾る高商外語劇は本年十一月十三、四の兩日同校に於て第十八回大會が公演されたが、上演したプログラムは左の如くで、佛語「突破先生」は今夏帝劇其他に上演し大好評を博したコメデイ・プレイで、英語「國際列車」獨語「ユツテット」も既に映畫劇其他に依つて知られてゐたものであつたが、殊に舞臺設備にもフットライにスポットライトの外に新機軸が案出されてあつたので、何れも大好評であつた。

プロگرام 英語(三年)原作者ゴールス・ローヅ「國際列車」三幕 獨乙語(原作者)ヘツベル「ユツテット」第五幕一幕 佛蘭西(語原作)者マルセル・ハニョール「突前先生」 支那語(原作者)助川敏郎(同校生徒)「靜脈」

露語(原作者)グー・デー・ドビン「泰山鳴動鼠」四 英語(二年)原作者エイ・エイ・ミルン「混亂の一夜」

劇と音樂の夕 札幌新劇協會主催の「劇と音樂の夕」は昨五年九月二十七日中央館で開催されたが、プログラムは左の如く來會者に多大な感動を與へて散會、一、劇「恩讐追分節」二、提琴獨奏(田邊)三、獨唱(歌川君子)四、ハーモニカ合奏(札幌ハーモニカソサイター)五、劇「狼火は上る」六、舞踊「子守唄」(歌川)七、提琴獨奏(櫻井)八、ハーモニカ(札幌ハーモニカソサイター)九、劇「平手造酒」

新人座公演 札幌が生んだ新人座藝術協會では本年三月一、二の兩日札幌劇場に於て演劇部第五回公演を開催したが現代劇「春の夕」、翻譯劇「太陽」、時代劇「盲又」、現代劇「劇に於ける迄」、社會劇「怒濤天國」等出演され觀衆に大なる感動を與へた。因に同協會は同人及會員によつて組織せられ、同人は住吉、江口、齋藤、丘の四氏で今回の演出は同人及び會員の總動員であつた。

次に入賞者は左の通り  
△第一部(一)ソルベーチの唄(二)ニーナの死(三)夜の調べ(四)眞白き路  
△第二部(五)ホタ(六)セキテリヤ(七)サントラルチャ(八)チロメツグ

△第三部(九)あさね(一〇)片しぶき  
(一一)六騎(一二)松島音頭  
△第四部(一三)セヴィラの理髮師

藝術ニュース

裸人群美術展 全道中等學校生徒と卒業生の間に結成された「裸人群」第一回美術展覽會は昭和七年二月十日から二十四日迄五日間札幌今井記念館において開催されたが、出品點數六十餘點で激瀾たる作品揃ひであつた。同展覽會は北海中學校の石川確氏(道展會員)岩見澤中學校の山内一彦氏(同)と札幌商業の齋藤尚氏(同)が賛助員として一切の指導にあたり、事務所は札幌商業學校美術部に置き齋藤尚氏が責任者としてこれに當ることになつてゐる。

蒼玄社の解散 本道畫壇に於て北海道美術會について例年春秋の美術シーズンを賑はしてゐた札幌の蒼玄社は、打續く不景氣に禍されて維持困難となり、遂に昭和七年一月九日先づ解散することになつた。されど美に對する憧憬心そのも表態は如何に不景氣と云へどもこれをも共に解散することはできない。從來の同人中の同志相寄り經濟的に餘り關りのない新しい研究團體様のものを設立したいと目下相談中である。曩には小樽大地社の凋落を見、今また蒼玄社の解散に逢ふ、本道畫壇の爲め誠に惜しむべき現象

- と云はればならぬ。
- 小樽高商音樂會 同校第十回演奏會は昭和七年一月三十日小樽アレクトラム・ソサイテイ後援の下に稲穂女子校で開催された。プログラム左の通り
- 1 古戰場にて(マテヨツキ作)系杉林にて(サルトリ作)マンドリン合奏 部員
- 2 ハーモニカ合奏 部員
- 3 小公女(ハーテイ作)合唱 部員
- 4 浦の明けくれ(マツジン作)
- 5 獨唱 松井勳 ピアノ獨彈 佐藤璋夫
- 6 悲愴ソナタ(ベートーヴェン作)
- 7 マンドリン合奏 O.P.S
- 8 祝祭行進曲(シユツペ作)
- 9 奏明の序樂(鈴木静一作)
- 6 小樽高商校歌(時雨音羽歌 杉山長谷夫作)
- 7 マンドリン合奏 O.P.S
- 8 麥祭(マテヨツキ作)
- 9 ヴァイオリン 直島一郎
- 9 ハーモニカ合奏 部員 海邊にて(ホルテル作)同獨奏 田鎖省藏
- ホルテイシの啞娘(アウバー作)
- ホトトギス(シヨナツソソ作)
- 合唱 部員
- 10 日本國(シユトウソソ作)武士の歌(シルヘル作)獨唱 新田次郎 ピアノ
- 獨彈 フイギス
- 11 即興曲
- 12 小樽高商校歌



スポーツ

全道中等學校競技大會

全道中等學校競技聯盟主催の同大會は本年七月二十五日より七日間に亘り、陸上競技は北大グラウンド、剣道は札幌二中道場、柔道は札幌一中道場、庭球は小樽市設コート、野球は札幌苗穂球場及び北大球場、蹴球は北大蹴球場、籠球は札幌工業コート、水泳は小樽市立中學プールに於て炎天下に於て各自熱戦が演ぜられたが、その戦績は左の通り

Table of sports results including categories like 第一次戦, 第二次戦, 第三次戦, and specific team/individual performances.

決勝戦

Table of championship results for various events such as 砲丸投決勝, 走り高跳決勝, and 走り幅跳決勝.

千五百米決勝 1 齋藤(函商)四分三二秒 2 関戸(樽商)3 鈴木(北中) 4 佐藤(北中) 5 笠松(旭師) 6 鈴木(樽商) 400米準決勝 A組 1 千田(北中) 2 山本(旭師) 3 伊藤(札師) 4 菅井(札師) 5 菅井(北中) 6 菅井(札師) 100米準決勝 A組 1 堤(旭師) 2 三浦(旭師) 3 岩淵(札師) 4 佐々木(北中) 5 佐々木(北中) 6 佐々木(北中) 100米準決勝 B組 1 堤(旭師) 2 三浦(旭師) 3 岩淵(札師) 4 佐々木(北中) 5 佐々木(北中) 6 佐々木(北中)

商3 千田(北中) 1 堤(旭師) 2 四秒四三 2 近藤(函師) 3 佐藤(札師) 1 永吉(旭商) 2 八秒二 3 竹内(樽商) 1 河口(旭師) 2 四分四秒 2 森(釧中) 3 関戸(樽商) 4 三上(札師) 5 笠松(旭師) 6 伊藤(札師) 1 願藤(函商) 2 七分二秒 2 佐藤(北中) 3 鈴木(樽商) 松本(札中) 1 堤(旭師) 2 四分四秒 3 浦(旭師) 4 谷(俱中) 5 千田(北中) 6 永吉(旭商)

俱中、札商 八點 瀧中、樽中 七點 網中、野中、釧中 六點 網中、野中、釧中 五點 二百米自由型決勝 1 小川(函商)二分三九秒 2 奈良(函商)二分九秒 3 田中(函師)二分四九秒 4 居内(札商)五分甲谷(北中) 6 濱谷(函師) 1 赤塚(函師)一分十九秒 2 新記録 2 青山(函商)一分二一秒 3 茨木(樽中)一分三一秒 4 橋本(函中) 5 長濱(函師) 6 種野(札一中) 400米自由型決勝 1 小川(函商)五分五一秒 2 佐々木(札一中)五分五八秒 3 達田(函師)六分二秒 4 佐野(函商) 5 笹(札一中) 6 古谷(函中) 100米自由型決勝 1 甲谷(北中)一分二秒 2 奈良(函商)一分二秒 3 藤井(函商)一分三秒 4 田中(函師) 5 濱谷(函商)一分三秒 4 田中(函師) 5 濱谷(函商)







柏 校5 A-1 留 萌 校  
 苦小牧西校1 A-0 佐 瑠 太 校  
 △準決勝戦  
 校6 0 江別第一校  
 校1 0 苦小牧西校  
 △決勝戦  
 校2 A-1 柏 校

◎紋 二、全道樺太實業野球大會  
 (一)、過去の優勝チーム

第一回 小樽ユニオン  
 第二回 歌志内坂  
 第三回 小樽スバル  
 第四回 札幌倶楽部  
 第五回 札幌倶楽部  
 第六回 札幌倶楽部  
 第七回 札幌倶楽部  
 第八回 札幌倶楽部  
 第九回 札幌倶楽部  
 第十回 札幌倶楽部

(2)、第十回大會(昭和六年八月)

全網 走3-13 三井砂川  
 函館 0 B 2-6 A 札 鐵  
 △第二次戦  
 岩見澤鐵道 9-10 A 苦小牧オーロラ  
 旭川鐵道 9-16 A 樺太鐵道  
 三井砂川 4-16 A 札 鐵  
 根室協會 2-4 小樽協會  
 △準決勝戦  
 小樽協會 12 A-5 苦小牧オーロラ  
 旭川鐵道 5-4 札 鐵

左の通り。

△第一回戦  
 室蘭 10-7 野付牛 札 鐵 7-1 釧路  
 名寄 16 A-1 函館 本局 3-6 A 旭川  
 △準決勝戦  
 旭川 5-4 室蘭 札 鐵 10-1 名寄  
 △決勝戦  
 旭川 4 A-3 札 鐵

五、全道軟式野球大會

時事新報社日本軟式野球聯盟北海道選  
 選大會は本年十月十一、二の兩日小樽花  
 園球場に於て舉行されたが、参加チーム  
 は各地代表の小樽太陽會、札 鐵布袋倶楽  
 部、函館住吉町野球會、岩見澤野球會、  
 室蘭實業野球會、旭川鱗光俱樂部の六で  
 其の戦績次の通り。

△一 勝 戦  
 鱗光 0-5 A 布袋 室蘭 7-1 岩見澤  
 △準決勝戦  
 函館 3 A-2 小樽 布袋 勝-頁 室蘭  
 △決勝戦  
 札 鐵 布袋 8-4 函館 住吉

六、函館太平洋野球大會  
 七、函館日本大學野球大會(於谷地頭球場)

第一回戦(五月廿三日) 5 A 對 1 で敗  
 第二回戦(五月廿四日) 11 對 4 で敗  
 第三回戦(五月廿五日) 3 A 對 2 で敗  
 △太平洋對早大野球戰(於谷地頭球場)  
 第一回戦(八月十二日) 12 A 對 2 で敗  
 第二回戦(八月十三日) 5 對 4 で敗

ス \* 1 ツ

△決勝戦  
 小樽協會 1 A-0 旭川鐵道  
 三、北大豫科と小樽高商野球戰  
 昭和五年秋季戦 今迄に兩軍の戦を  
 交へること二十回、其の間高商十二勝八  
 敗、豫科軍八勝十二敗の跡を承けて第二  
 十一回小樽公園グラウンドに於て舉行  
 された。術よりも意氣と意氣、血と熱と  
 の全校挙げての戦である。春季戦に五對  
 六で惜敗した高商軍は報復の念燃ゆるが  
 如く、豫科軍は再度榮冠を得て、エール  
 に黄金を誇らんとする緊張の氣に漲つて  
 相対陣しお互に鎗を削り熱球を飛ばして  
 猛打を以て戦つたが、豫科軍の猛打に高  
 商軍の雪辱成らず左の得點をもつて惨敗  
 の憂目を見た。之で高商十二勝九敗、豫  
 科九勝十二敗となつた。

高商	0	0	1	4	0	0	0	0	1
豫科	0	5	8	0	2	0	0	0	0
15A	6								

昭和六年春季戦 六月十四日對戰中  
 降雨の爲中止となつたが、二十日再び北  
 大球場に相見えた。過去三シーズン連敗  
 した高商の復讐なるか將又豫科に四度凱  
 歌が響がるか晴れ渡つた球場には觀衆に  
 よつて十重二十重に取圍まれ、各應援團  
 は背後に控へ共に長旗を靡かせて技を先

途々應援歌を合唱必死の應援に努め、兩  
 軍選手もよく戦つたが、高商の川又投手  
 の好投に豫科軍選球悪く、遂に十四對四  
 を以て高商斷然復讐。兩軍の得點左の通

高商	2	0	1	3	0	4	1	0	3
豫科	0	0	0	0	0	0	0	2	2
14	4								

四、札鐵局所對抗野球大會  
 札鐵鐵道局野球部主催局所對抗野球大  
 會は本年八月十九日から同二十一日迄は  
 札鐵苗穂球場で開かれたが、その戦績は

△太平洋對名鐵野球戰(於谷地頭球場)

第一回戦(五月八日) 3 對 1 で勝  
 第二回戦(五月九日) 3 A 對 1 で勝  
 △太平洋對仙鐵野球戰(於谷地頭球場)  
 第一回戦(九月六日) 10 對 6 で勝  
 第二回戦(九月七日) 2 對 11 A で敗  
 △太平洋對札鐵野球戰(於札鐵苗穂球場)  
 第一回戦(六月十五日) 6 對 3 で勝  
 第二回戦(六月十六日) 0 對 1 で敗

△關西學院との對戰(於谷地頭球場)

第一回戦(七月廿三日) 4 對 1 で勝

△七、札鐵野球俱樂部戰績

對日本大學戰(於札鐵苗穂球場)  
 第一回戦(五月廿七日) 8 對 1 で敗  
 第二回戦(五月廿八日) 4 對 2 で勝  
 對仙臺鐵道戰(於札鐵苗穂球場)  
 第一回戦(九月三日) 7 對 5 で勝  
 第二回戦(九月四日) 2 對 3 で敗  
 △其他の對戰  
 對札商(五月九日於苗穂球場) 16 對 7 勝  
 對北中(六月十日於北中球場) 4 對 6 A 敗  
 對旭鐵(九月十九日於旭川) 3 A 對 2 で勝  
 △尚太平洋との對戰は太平洋戦績の項参照  
 八、北大並豫科及高商戦績

△豫科對帶廣實業野球戰(於帶廣)

第一回(五月十七日) 4 對 11 で敗  
 第二回(五月十八日) 22 對 16 で勝  
 豫科對北中戰(九月十三日於北大球場)  
 豫科 5-6 北中  
 豫科對札鐵商戰(十月三日於北大球場)  
 豫科 13-10 札 鐵  
 北大クラブ對高商クラブ戰(十月十八  
 日於北大球場)  
 北大クラブ 6 A-5 高商クラブ

△小樽高商戦績

對小樽協會戰(五月廿四日於高商球場)  
 小樽高商 8-23 小樽協會  
 對北中野球戰(六月七日於北中球場)  
 小樽高商 2-15 北中  
 對小樽協會戰(十月四日於花園球場)  
 小樽高商 8 A-4 小樽協會

△九、其他實業團野球戰績

札鐵小學校職員野球戰  
 (自八月廿五日至九月三日)  
 第五日 圓山 5-6 A 豐水(於豐水)  
 第六日 豐水 3 A 西創成(於西創成)  
 第七日(九月三日於豐水校庭) 決勝戦  
 西創成 10-3 豐水  
 △小樽教職員軟式野球大會 小樽市青  
 年會主催大會は八月三十一日より九月  
 三日まで小樽花園球場に於て舉行された  
 戦績次の通り。因に前年優勝は手宮。  
 第三日戦績(準決勝戦)

四一一



樽中4—0 高商 手西17—2 稻男  
第四日決勝戦結

○其他實業野球戦績  
小樽野球協會主催全小樽軟式野球大會  
(六月廿五、六日於花園球場)

第一部決勝曲 七4—21 日東  
第二部決勝太陽會4—5 A山ウ田中  
小樽野球協會主催小樽實業野球大會決  
勝戦績(七月十九日於花園球場)

○札幌實業野球聯盟選抜チーム大會  
潮陵 16—8 製 罐  
(九月六日於札幌二中球場)

三十歳以下青年組  
白軍 0 0 3 2 1 2 A  
紅軍 0 0 0 0 1 1 3 5—8A

三十歳以上壯年組  
白軍 0 0 0 2 0 0 0 2A  
紅軍 0 0 0 0 1 1 3 5—8A

○小樽實業野球大會決勝戦  
(九月廿四日於花園球場)

紅軍 0 1 0 0 0 0 0 1—2A  
白軍 0 0 0 2 0 0 0 2A

OB 2 0 0 1 2 5  
鐵俱 14 (一) 2 0 0 1 2 5  
2 3 (二) 0 0 1 2 5  
4 (三) 0 0 1 2 5  
A (四) 0 0 1 2 5  
23A (五) 0 0 1 2 5

Table with 10 columns: 過失死, 三振, 盜塁, 安打, 打點, 得点, 連打, 大連, 小樽, 鐵俱. Rows show player statistics for various teams.

過失死 三振 盜塁 安打 打點 得点 連打 大連 小樽 鐵俱  
3 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
41 9 10 1 2 3 3 3

十一、北日本選抜中等學校野球大會  
に於て札幌優勝  
東京日々新聞社主催同大會は九月二十日  
より青森縣八戸市に開かれたが、第三日  
福岡中學對札幌商業の決勝戦に於て八對

○全空知實業野球決勝戦(十月四日於岩  
見中學校グラウンド)  
三井砂川 11—1 岩 鐵 軍

○實業チーム對中等學生野球戦  
潮陵 19—11 樽中(五月十五日於樽中)  
安館 6—13 北中(五月廿四日於北中)  
帶實 5—8 A 北中(六月十四日於帶廣)  
安館 9 A—7 樽商(六月廿日於公園)

○小樽野球協會對早大チーム野球戦  
早大 1 8 0 1 2 0 4 1 0  
(八月十一日於小樽花園球場)

協會 0 0 0 1 0 0 1 0 0 2  
十、全國中等學校野球大會に  
於ける札幌の健闘

札幌對大連商業野球戦 大阪甲子園  
に於ける全國中等學校野球大會の第四日  
目の八月十六日、滿洲代表の強豪大連商  
業を向に廻して札幌は雌雄を決するこ  
さになつた。この日朝來雨は或は激しく  
或は小やみとなつたりしたが九時半頃  
小雨となる。その中に兩軍の對戦は開始  
された。兩軍の得点左の如く

大連 1 (一) 0 0 0 0 0 0 0 2—4  
札幌 0 (二) 4 0 (三) 0 0 (四) 0 0 2—4

札幌商業 2 5 0 0 0 0 0 0 0 1 8—5  
福岡中學 0 0 0 1 2 0 2 0 0 0 5

札幌商業 2 5 0 0 0 0 0 0 0 1 8—5  
福岡中學 0 0 0 1 2 0 2 0 0 0 5

Table with 10 columns: 過失死, 三振, 盜塁, 安打, 打點, 得点, 連打, 大連, 小樽, 鐵俱. Rows show player statistics for various teams.

五で札幌商業優勝した。得点左の通り  
福岡中學 0 0 0 1 2 0 2 0 0 0 5  
札幌商業 2 5 0 0 0 0 0 0 0 1 8—5

庭球

札幌庭球部主催第一回全道軟式庭球選  
手權大會 八月三十日北大中央コート  
で舉行されたが参加チーム六十四、準決  
勝戦以後の戦績左の通り

△準決勝 井(ピ) 2—4 富 本(鐵) 札  
櫻木(ル) 1—4 花 田(黑) 空  
坂本(名) 1—4 花 田(黑) 空  
△決勝 藤(鐵) 札 2—4 花 田(黑) 空

△準決勝 中里(鐵) 札 1—4 山本(鐵) 札  
△決勝 中里(鐵) 札 1—4 山本(鐵) 札

△準決勝 中里(鐵) 札 1—4 山本(鐵) 札  
△決勝 中里(鐵) 札 1—4 山本(鐵) 札

△準決勝 中里(鐵) 札 1—4 山本(鐵) 札  
△決勝 中里(鐵) 札 1—4 山本(鐵) 札

△準決勝 中里(鐵) 札 1—4 山本(鐵) 札  
△決勝 中里(鐵) 札 1—4 山本(鐵) 札

△準決勝 中里(鐵) 札 1—4 山本(鐵) 札  
△決勝 中里(鐵) 札 1—4 山本(鐵) 札

△準決勝 中里(鐵) 札 1—4 山本(鐵) 札  
△決勝 中里(鐵) 札 1—4 山本(鐵) 札

△準決勝 中里(鐵) 札 1—4 山本(鐵) 札  
△決勝 中里(鐵) 札 1—4 山本(鐵) 札

△準決勝 中里(鐵) 札 1—4 山本(鐵) 札  
△決勝 中里(鐵) 札 1—4 山本(鐵) 札

△準決勝 中里(鐵) 札 1—4 山本(鐵) 札  
△決勝 中里(鐵) 札 1—4 山本(鐵) 札

雨のためタイムとなり、その後降雨  
しなくなり到底試合進行の見込ないの  
で遂に一時四十二分に到り札幌二點リ  
ドしたまゝ本日の試合中止となり、十七  
日改めて第一回より開始することになつ  
た。明ければ十七日朝の雨はカラリと晴  
れて快晴に恵まれ兩軍再び相見えた。試  
合は兩軍よく打ちよく守り白熱戦を演じ  
たが、第九回に入るや大連凡退の後札幌  
二死後齋藤の中堅二塁打で決勝の一點を  
挙げて遂に十對九で凱歌は高く札幌軍に  
上つた。

Table with 10 columns: 過失死, 三振, 盜塁, 安打, 打點, 得点, 連打, 大連, 小樽, 鐵俱. Rows show player statistics for various teams.

山本(鐵) 札 4  
4 1 4 8 4  
2 4 2 6 2  
1 釣 清水 (鐵) 札

第九回全道軟式庭球選手權大會  
本軟球聯盟北海道支部主催の同大會は日  
治神宮庭球大會豫選會を兼ね九月十三日  
小樽市設コートに於て開催、参加チーム  
四十三。準決勝戦以後の戦績左の通り

△準決勝 杉(鐵) 札 4—1 布 末 淡  
中里(鐵) 札 4—1 今 布 末 淡

△準決勝 杉(鐵) 札 4—1 布 末 淡  
中里(鐵) 札 4—1 今 布 末 淡

△準決勝 杉(鐵) 札 4—1 布 末 淡  
中里(鐵) 札 4—1 今 布 末 淡

△準決勝 杉(鐵) 札 4—1 布 末 淡  
中里(鐵) 札 4—1 今 布 末 淡

△準決勝 杉(鐵) 札 4—1 布 末 淡  
中里(鐵) 札 4—1 今 布 末 淡

△準決勝 杉(鐵) 札 4—1 布 末 淡  
中里(鐵) 札 4—1 今 布 末 淡

△準決勝 杉(鐵) 札 4—1 布 末 淡  
中里(鐵) 札 4—1 今 布 末 淡

△準決勝 杉(鐵) 札 4—1 布 末 淡  
中里(鐵) 札 4—1 今 布 末 淡

△準決勝 杉(鐵) 札 4—1 布 末 淡  
中里(鐵) 札 4—1 今 布 末 淡

△準決勝 杉(鐵) 札 4—1 布 末 淡  
中里(鐵) 札 4—1 今 布 末 淡

△準決勝 杉(鐵) 札 4—1 布 末 淡  
中里(鐵) 札 4—1 今 布 末 淡

△準決勝 杉(鐵) 札 4—1 布 末 淡  
中里(鐵) 札 4—1 今 布 末 淡







第七回札幌官廳聯盟庭球選手権大會

同大會は九月二十日札幌鐵道監督局コ...

第三回戦

菊地(選) 4-2 佐藤(道)
清川(鐵) 4-0 山崎(鐵)

決勝戦

清水(鐵) 5-3 菊地(選)

道廳對小樽庭球協會庭球試合 十月一日小樽市設コートに於て舉行したが...

第一回札幌對抗女子庭球試合 小樽庭球協會主催の同試合は八月三十日午前...

九時より小樽市設コートに於て舉行され...

六-4にて札幌の勝ち時に午前十一時...

札幌 中村 3-0 小樽 山本
伊藤 中村 3-0 山形 石川
相賀 能登谷 3-1 鍛冶 杉坂

札幌中島コートで舉行されたが出場チ...

準決勝戦 野木 4-2 大森
能登谷 4-2 相賀

第九回女子全道庭球大會 日本軟球...

陸上競技 萬米決勝 1 工藤(空知)三十四分五十...

一九三〇年小樽新聞社記録章授與本...

新聞社は昭和二年のシーズンより新記録...

五千米 一五四一秒四 同 人 知 胖

四百米 五二秒六 天近 豐藏 札鐵)

四百米リレー 一分三二秒四 札鐵チ...

八百米 二分二秒二 小林勇助(空知)

四百米 五二秒六 高山正利(札鐵)

砲丸投 一米七九 山本忠治(札鐵)

圓盤投 三米三七 富盛富太郎(室蘭)

以上八種目十名の各選手に對し審査の結...

札幌陸上競技聯盟設立 四月二十九日...

役員は左の通り (會長) 橋本正治、(副會長) 岡崎不二...

高野重一 以上六名 尙これが發會式記念マラソン競技を午...

後開催、参加者八十餘名、結果左の通り...

1 三谷幸次郎(青)二九分三秒三 三谷龍...

5 山本助治(成)6 佐藤作吉(少)7 原田...

全道聯合青年團陸上競技大會並第五回...

神宮豫選會 八月二日小樽公園グラウ...

左の通り。 砲丸投決勝 1 阿部(札幌)十二米四十...

2 龜田(函館)3 齋藤(石狩)△走幅跳...

11 青年團新記録)3 野上(札幌)△圓...

5 2 阿部(札幌)3 齋藤(石狩)△五千米...

3 大野(釧路)△八百米決勝 1 元木(空...



△二〇〇米決勝 (女子) 1 中村 (北海高女) 3 〇秒五 2 藤原 (大谷高女) 3 岡 (北海高女)

△一五〇〇米決勝 1 鎌田 (砂川) 四分二〇秒八、2 元木 (砂川) 3 大槻 (夕張)

△走巾跳決勝 (男子) 1 佐々木 (北中) 六米五五、五 2 木村 (琴似) 3 小塚 (砂川)

△走巾跳決勝 (女子) 1 西田 (札幌高女) 四米七七、二 2 齋藤 (北海高女) 3 坂本 (札幌高女)

△砲丸投決勝 (男子) 1 阿部 (北中) 十二米六九 2 齋藤 (道廳) 3 岡川 (札商)

△砲丸投決勝 (女子) 1 城川 (大谷高女) 九米一五 (新記録) 2 高田 (大谷高女)

△圓盤投決勝 (男子) 1 阿部 (札幌) 三五米、三七 2 富盛 (室蘭) 3 桑山 (北大)

△圓盤投決勝 (女子) 1 高田 (大谷高女) 二二米三八 2 城川 (北海高女)

△五千米競歩決勝 1 相内 (小樽) 三四分九秒六、2 花野 (札幌) 3 高野 (道廳) 4 マラソン 1 千葉 (小樽) 二時九分二秒

△馬場 (樽商) 二時三十分十七秒 3 馬場 (札幌) 二時十五分五秒

△四百米競走決勝 1 札幌チム (川崎古澤、天近、赤沼) 四五四秒二、2 札幌 (南部、中川、木村、佐々木、3 札商 (大西、栗林、米、西條))

△五〇米決勝 (女子) 1 武田 (大谷高女) 七秒一、2 齋藤 (北海高女) 3 野村 (札幌高女)

△八〇〇米決勝 1 天近 (札幌) 二分三秒 2 元木 (砂川) 3 後藤 (美瑛)

△走高跳決勝 1 室谷 (小樽) 一米七七 2 齋藤 (札幌) 3 五十嵐 (北大)

△走高跳決勝 (女子) 1 西田 (札幌高女) 一米四〇 (新記録) 2 大津 (北海高女) 一米三五 (新記録)

△二〇〇米競走決勝 (女子) 札幌高女チム (若杉、青木、高橋、野村) 二十八秒九 (新記録) 2 HOAチム (武田、藤原、中村、岡)

△槍投決勝 1 伊藤 (道廳) 五五米二〇 (新記録) 2 林 (妹背牛) 3 八木 (夕張)

△三段跳決勝 1 茅野 (小樽) 一三米四七 2 金山 (札幌) 3 佐藤 (小樽)

△五千米決勝 1 工藤 (道廳) 十六分二〇秒六 2 大槻 (夕張) 3 兵藤 (夕張)

△二〇〇米障礙決勝 1 中塚 (札幌) 二十八米五二 吉田 (北大)

△八〇米障礙決勝 (女子) 1 齋藤 (北海高女) 一五秒六

△四〇〇米決勝 1 天近 (札幌) 五二秒六 2 伊藤 (札幌) 3 三上 (札幌)

△一一〇米障礙決勝 1 高橋 (道廳) 十七

秒二 (參考タイム) 2 栗林 (札幌) 3 五十嵐 (北大)

△三段跳決勝 (女子) 1 井上 (札幌高女) 九米八六 2 坂本 (札幌高女) 3 中村 (小樽高女) 4 鐵槍投決勝 1 村井 (北大) 四〇米一四 (新記録) 2 中村 (道廳) 3 富盛 (室蘭)

△四〇〇米競走決勝 (女子) 1 HOAチム (中村、岡、武田、藤原) 五四秒 (新記録) 2 札幌高女チム (平城、井上、西岡、野村)

△棒高跳決勝 1 村井 (北大) 三米三五、2 川口 (札幌) 三米二五 3 岩淵 (札幌)

△八百米競走決勝 (中等學校) 1 札幌チム (玉水、坂本、栗林、執行) 一分三八秒二 2 札幌商業チム (大西、橋、栗林、西條)

△一六〇〇米競走 1 札幌チム (三浦、伊藤、三上、新木) 三分五三秒八

獨定の結果興味少なし

第六回札幌市民陸上競技大會 十月十七日札幌一中グラウンドに於て開催。決勝記録左の通り

△一般百米決勝 1 前田秀雄 (札幌) 十秒六 2 石橋利男 (同) 熊野昌清 (同) 和田誠 (同)

△女子一部六十米決勝 1 田村ヒデ (札幌) 九秒四 2 岩本キヨエ (北海製綱) 3 佐藤シゲ

△高男百米決勝 1 橋本 (十四秒) 2 伊藤

1 茂木十四秒二 2 沼館

△尋男百米決勝 1 酒井 (西) 十五秒三 2 南源二郎 1 石田十五秒五 藤島東北 1 谷口十五秒一 2 手取 1 沼倉十五秒六 2 寺田 1 安部 (山鼻) 十五秒三 2 加治 1 宮田 (西) 十五秒一 2 弦木 (西) 1 梶浦 (西) 十五秒七 2 石浦 (北九) 1 佐藤 (西) 十四秒五 2 小松 (東北) 1 名取川 (東北) 十五米四 2 木幡 (西) 1 松橋十五秒二 家次 (東北) 十五秒一 杉山 (東北) 十六秒二 金谷 (豊平) 1 谷内 (西) 十四秒四 2 石田 (北九)

△一般四百米決勝 1 高田鐵重 (道廳) 五九秒二 2 土橋惠一郎 3 石橋利男 (札幌)

△二十五歳以上四百米決勝 1 稻垣元與 一分十秒八

△學生千五百米決勝 1 鈴木實 (札幌) 五分〇秒四 2 岩田信雄 (札幌)

△商店訪問マラソン

△組1 工藤肝 (道廳) 四十二秒二 (新記録) 2 瀬戸義雄 (札幌) 3 三谷龍吉 4 山本助治 札幌 5 村上正夫 (札幌) 6 越後 旺路

△組1 鈴木喜三 (北中) 2 宮崎重雄 3 長澤清次郎 4 佐藤泰雄 (北中) 5 小田島清 6 津田金太郎 7 前川健造 8 石川光男 9 森徳一 10 足立伊佐武

△女子一部百米決勝 1 岩木キヨエ (北海製綱) 十四秒五 2 田

村ヒデ (札幌) 3 沖節惠 (同)

△女子二百米決勝 1 大澤 (豊平) 十六秒八 2 富加美 (西) 1 松井 (東北) 十六秒五 2 田浦 (西) 1 廣島 (山鼻) 十七秒二 2 木村 (西) 1 阿部 (豊平) 十六秒四 2 石川キミ 1 飯山 (西) 十六秒四 2 松崎 (山鼻) 1 鈴木 (山鼻) 十六秒二 鈴木 (豊平) 1 川内 十六秒七 2 高野 (豊平) 1 寺島 (西) 1 松本 (豊平) 1 楠本 (東北) 十五秒二 村上正子 1 内山ノブ 十七秒二 出村

△一般A千五百米決勝 1 工藤肝 (道廳) 四分四十五秒五分 2 瀬戸義雄 (札幌) 3 村上正夫 (札幌)

△一般B千五百米決勝

1 宮崎四分五十四秒一 2 西道 3 南

△尋男六十米決勝 1 堀内 (山鼻) 九秒八 2 石浦 (北九) 1 谷内 (西) 八秒七 2 谷口 (山鼻) 1 酒井光雄 九秒三 2 岩永 1 佐藤 (西) 八秒八 2 清水博司 1 南渡次郎 九秒二 2 家次 (東北) 1 清水 (北九) 八秒八 2 手取辰雄 1 酒井 (北九) 九秒二 越山 (東北) 1 名取川 (東北) 九秒五 2 加治 (西) 1 安部 (山鼻) 九秒二 2 小澤良助 1 木幡 (西) 九秒四 2 中村 (東北) 1 長谷川 (山鼻) 九秒九 2 杉山 1 石田 (北九) 九秒一 2 濱野 (山鼻)

△學生四百米決勝 1 伊藤 (札幌) 五七秒二 2 三上 (札幌) 3 坂本 (一中)

△B一般四百米決勝 1 竹原隆五 八秒六 2 木下元春 3 門田豊

△高男八百リレ1決勝 1 高組 (橋本、矢野、伊藤、沼館) 五七秒二

△女子二百リレ1決勝 1 西創組 (富加美、村上田浦木村) 一分三秒二 東北組 楠本、須藤、松井、仁禮) 一分四秒

△女子一部四百リレ1決勝 1 沖組 (沖西崎、小山、田村)

△尋男四百リレ1決勝 1 西創組 (谷内、荒木、酒井、佐藤) 五十九秒

△一般F百米決勝 1 阿部留治 十二秒五 2 鳥山 3 山口

△學生百米決勝 1 執行 (一中) 十一秒八 2 橋本 (北中) 3 佐々木 (北中)

△學生千六百リレ1決勝 1 札幌組 (細川、伊東、中島、三上)

△一般八百リレ1決勝 1 札幌B組 (熊野、石橋、木村、高田) 2 札幌A組 (前田、齋藤、渡邊、島山)

△一般走高跳 1 松山 一米五八 2 西澤 3 佐藤

△高男走高跳 1 茂木 一米四〇 2 青木 3 山本

△尋男走高跳 1 田中 (豊平) 一米二二 2 西村 (北九) 一米二〇 2 加藤 (西) 一米二〇 3 川崎 (北九) 一米一五

△尋女走高跳 1 菊地 (豊平) 一米二一 2 竹内 (東北) 一米二一 3 大澤久美 一米一五、村田 (西創) 一米一五

△一般B走巾跳 1 西澤 五米七三 2 松山 五米六七 3 角田 五米六一



△學生走中跳 1 佐々木(北中)六米五五  
 2 富田(札幌)3 橋本(北中)  
 △一般A走中跳 1 前田(札幌)六米一九  
 2 土橋惠一(和)3 和田誠  
 △高男走中跳 1 橋本(一高)五米〇九  
 青木(一高)3 伊藤(同)  
 △一般A砲丸投 1 大瀧一米三三  
 2 熊野  
 △一般B砲丸投 1 中尾十二米四二  
 2 佐川十米二八  
 3 山田  
 △學生砲丸投 1 阿部功(北中)十四米三  
 五 2 岡川(札幌)一二米三〇  
 3 菅井(札幌)  
**第一回小樽市民競技大會** 小樽體育  
 協會主催同大會並に鹽谷往復十二哩マラ  
 ソンは五月十七日小樽公園に於て舉行、  
 決勝記録左の通り  
 △百米決勝(少年A) 1 千見寺十四秒二  
 2 工藤三 佐々木△百米決勝(少年B) 1 川  
 向十六秒六 2 盛岡3 及川△百米決勝  
 (少年女児) 1 千葉十八秒三 2 前田3 齋  
 藤4 高尾△百米決勝(成年A) 1 谷十二  
 秒八 2 富樫3 石田△百米決勝(成年B)  
 1 河野十三秒八 2 野口3 仲澤△百米決  
 勝(成年C) 1 小林十三秒二 湯泉3 加藤  
 △百米決勝(壯年) 1 今野十四秒六 獨走  
 △百米決勝(學生A) 1 奥村十三秒二 相  
 馬3 田澤△百米決勝(學生B) 1 竹内十  
 三秒六 2 鈴木3 品田△五千米決勝(少  
 年) 1 増村△五千米決勝(成年) 1 六平  
 2 伊藤△五千米決勝(學生) 1 鈴木十七

分二五秒五分の二 2 關口3 六平△四百  
 米決勝(少年) 1 佐々木一分十秒四分の  
 五△四百米決勝(成年A) 小林五八秒五  
 分の四 2 谷3 比良△四百米決勝(成年  
 B) 1 長坂五十七秒五分の三 2 中川3  
 原田△四百米決勝(壯年) 1 今野一分七  
 秒 2 光森△四百米決勝(學生A) 1 相馬  
 五九秒五分の二 2 久米3 田澤△四百米  
 決勝(學生B) 1 本間一分一秒二 落合2  
 得田△千五百米(少年) 1 増村五分五一  
 秒五分の四△千五百米(成年) 1 六平五  
 分四分五分の二 2 比良3 野呂△千五百  
 米(壯年) 1 光森五分三秒四分の三△  
 千五百米(學生A) 1 久米五分七秒五分  
 の二 2 鈴木3 平野△千五百米(學生B)  
 1 關口四分五秒七分の二 2 東3 菅原  
 △二百米競走(女児) 1 若竹小學校三十  
 五秒五分の四 獨走△四百米競走(尋男)  
 1 若竹小學校一分七秒八 八百米競走(高  
 男児) 1 第一校A二分三秒五分の四  
 2 第二校A3 第二校B△八百米競走  
 (成年) 1 稻穂チーム(比良長坂油谷石  
 田)一分四九秒二 綠チーム(茅野齋藤加  
 藤大野)3 鐵道チーム(石田宮野石田湯  
 泉)△メドレリ(學生) 1 樽商チ  
 ーム(竹内相馬鈴木竹内) 2 北商チ  
 ーム(本間奥村濱田竹内) 3 水産チ  
 ーム(鈴木藤田村田菊地) △走中跳(少年) 1  
 工藤五米〇五 2 走中跳(成年A) 1 茅野  
 六米二二 2 村木3 渡邊△走中跳(成年

B) 1 齋藤五米九八 2 長坂3 佐藤△走  
 中跳(學生) 1 竹内五米九〇 2 木藤3 間  
 所△砲丸投決勝(成年) 1 及川十米二九  
 2 千見寺△砲丸投(學生) 1 佐藤十米五  
 七 2 高森3 蛭谷△走高跳(成年) 1 齋藤  
 一米五十二 2 茅野3 下口△走高跳(學生)  
 1 同所一米五十二 2 寺坂△鹽谷往復マ  
 ソン(十二哩) 1 花野(札幌)一時八分十五  
 秒 2 新井(小樽) 3 山田(稻青) 4 工藤  
 (札幌) 5 瀬戸(札幌)  
**第一回全札幌陸上競技選手權大會** 札  
 幌陸上競技聯盟主催の同大會は六月二十  
 八日北大トラツクに於て開催、参加選手  
 男子百四名女子七十八名、決勝戦績左の  
 通り

男子トラツク

△千五百米決勝 1 奥田(北大)四分二十  
 九秒二 2 加藤(北中)3 三谷幸(無)4 鈴  
 木(札幌)△十哩短縮マラソン 1 瀬戸  
 (札幌)五十八分二十秒 2 花野(無)3 三  
 谷(無)4 鈴木(北中)△四百米競走決勝  
 1 北大A組四十六秒四 2 札幌組△八百  
 米決勝 1 倉持(北大)二分十一秒二  
 高田(道廳)3 鈴木(北大)4 加藤(北中)  
 △高障碍決勝 1 長坂(札幌)十七秒二  
 2 久野(札幌)3 五十嵐(北大)4 齋藤  
 (札幌)△百米決勝 1 川崎(札幌)十一  
 秒 2 前田(札幌)3 南部(札幌) 4 奥村

(北大)△四百米決勝 1 富山(札幌)五  
 十三秒二 2 村上(道廳)3 西川(道廳)4  
 遊座(北大)△五千米決勝 1 佐藤(北  
 中)十七分二十五秒 2 花野(無)3 瀬戸  
 (札幌)4 鈴木(札幌)△二百米決勝 1 南  
 部(札幌)二十二秒八(本道新記録)2 川  
 崎(札幌)3 阿部(無)△千六百米競走  
 1 道廳チーム(西川、石橋、松本、村  
 上)三分四十四秒二 2 豫科チーム  
 △五種競技 1 石橋(道廳)二、八一〇點  
 〇八二五 2 長坂(札幌)二六〇五點〇二  
 〇三 吉田(北大)二一三九點五〇五

男子フイールド

△走高飛 1 室谷(無)一米七五 2 富田(札  
 師)3 五十嵐(北大)△三段跳決勝 1 木  
 村(北大)十三米五五 2 野上(道廳)3 猿  
 渡(北大)△走中跳決勝 1 木村(北大)  
 六米六一 2 富田(札幌)3 野上(道廳)△  
 砲丸振決勝 1 阿部(札幌)十二米一四  
 2 齋藤(道廳)3 吉田(北大)△槍投決勝  
 1 杉野(北大)四六米八三 2 和田(札  
 師)3 玉水(一中)△鐵槌投決勝 1 村  
 井(北大)三四米六三(本道新記録)2  
 中村(道廳)3 阿部(札幌)△圓盤投決勝  
 1 桑山(北大)三四米〇七 2 齋藤(道廳)  
 3 中村(道廳)△棒高跳 1 村井(北大)  
 三米五七 2 桑山(北大)3 森田(北大)

女子フイールド

女子トラツク

△五十米決勝 1 野村(廳立)七秒四 2 齋  
 藤(北海)3 田村(無)△百米決勝 1 岡  
 (北海)十四秒三 2 中村(北海)3 高橋  
 (廳立)△二百米競走決勝 1 北海A組  
 二十八秒二 2 廳立A組3 北海B組△二  
 百米決勝 1 平城(廳立)三十一秒七 2  
 木村(廳立)3 齋藤(北海)△四百米競走  
 決勝 1 北海A組五十八秒四 2 廳立A  
 組3 北海B組  
 △女子走中跳決勝 1 齋藤(北海)四米三  
 六五 2 北川(北海)3 坂本(廳立)△女子  
 走高跳決勝 1 西田(廳立)一米四〇 2  
 大津(北海)3 田中(北海)△女子砲丸投  
 決勝 1 城川(北海)九米三七(日本新記  
 録) 2 小西(北海)3 鈴木(廳立)△三段  
 決勝 1 坂本(廳立) 九米一二五 2 大津  
 (北海)3 北川(北海)  
**第五回全小樽陸上競技大會** 稻穂青  
 年團主催の同大會は六月二十一日花園グ  
 ラウンドに於て舉行、参加團體實業チ  
 ム八團體、中等學校は三校で、決勝記録  
 左の通り  
 ○圓盤投 △實業1 石田(築)二九米五七  
 2 三上(局)3 富樫(築)△學生1 高田(中)  
 中)三一米九七(新記録) 2 板谷(水)  
 田澤(中)  
 ○五千米 △實業1 山田(最上)一八分四  
 秒 2 土井(最上)3 大塚(農)△學生1 鈴

木(商)一七分〇秒一(新記録) 2 關戸(商)3 八島(中)  
 ○八百米 △實業1 原田(築)二分一五秒  
 一 2 金子(築)3 大塚(農)△學生1 關戸  
 (商)二分一六秒(新記録) 2 鈴木(商)3  
 菅原(商)  
 ○二百米決勝 △實業團1 石田(築)二五  
 秒五 2 富樫(局)3 及川(築)△學生1 相  
 馬(商)二五秒二 2 竹内(商)3 菊地(水)  
 △走高跳 △實業1 加藤(築)一米六〇 2  
 及川(築)3 齋藤(藤山)△學生1 間所  
 (中)一米六〇 2 湯澤(水)3 高田(中)  
 ○四百米決勝 △實業團1 原田(築)五  
 十七秒二 2 三上(局)3 金子(築)△學  
 生1 相馬(商)五十九秒 2 田澤(中)3 落  
 合(水)  
 ○砲丸投決勝 △實業團1 石田(築)十  
 一米五六 2 澤田(築港)3 藤井(局)△學  
 生1 高田(中)十二米五四(大會新記録)  
 2 櫛引(水)3 白石(水)  
 ○走中跳決勝 △實業團1 佐藤(丸井)・  
 六米〇七五(大會新記録) 2 石田(築港)  
 3 齋藤(局)△學生1 竹内(商)六米一四  
 五(大會新記録) 2 湯澤(水)3 間所(中)  
 ○千五百米決勝 △實業團1 六平(三菱)  
 四分四十一秒四 2 大塚(農檢)3 山田  
 (最上)△學生1 鈴木(商)四分三十三秒  
 八(大會新記録) 2 關戸(商)3 佐々木  
 (商)  
 ○百米決勝 △實業團1 黒田(局)十二秒



二石田(築港)3小林(丸井)△學生1相馬(商)十二秒(大會新記録)2竹内(商)3落合(水)

○三段跳 △實業1佐藤(今井)一二米(新記録)2益子(藤山)3秋元(築港)△學生1竹内(樽商)一二米二五二高田(樽中)3間所(樽中)

○槍投 △實業1木村(局)四一米八〇2佐藤(今井)3田中(局)△學生 1間所(中)三九米六〇2中川(水)3栗山(商)○八百米競走 △實業團1製罐(永井中里)今野若林)一分四五秒四(大會新記録)2築港3郵便局△學生1樽商(納石田)相馬竹内)一分四四秒七(大會新記録)2水産(落合和島石川菊地)斯くて採點の結果

實業團 一等築港八七點、二等郵便局二六點、三等今井廿點

學生團 一等樽商八〇點二等樽中五六點五分、三等水産三二點五分

小樽聯合青年團第九回陸上競技大會 七月十二日公園グラウンドに於て舉行、決勝記録左の通り

△百米競選 A1齋藤(堺)一二秒二2牛田(潮)3高橋(緑)B1小林(堺)一一秒九2谷(堺)3工藤(潮)

△八百米決勝 1北良(稻)二分一四秒五分三(本大會新記録)2佐藤(手)

△走高跳決勝 1齋藤(堺)2渡邊

△四百米決勝 1佐藤(手)五七秒2谷

(堺)3比良(稻)

△圓盤投決勝 1三上(量)三〇米七七2川淵(堺)3石田(稻)

△百米決勝 1工藤(潮)一一秒九2齋藤(堺)3小林(堺)

△三段跳決勝 1佐藤(稻)一二米九〇(大會新記録)2松尾(手)3渡邊(堺)

△マラソン 1新井(奥)三九分五四秒六2山田(稻)四一分三四秒3小松(三ツ目)

△砲丸決勝 1石田(稻)一二米一二2及川(手)3油谷(稻)

△走中決勝 1齋藤(堺)六米二九(大會新記録)2佐藤(稻)3渡邊(堺)

△千五百決勝 1山田(稻)四分四秒六2田邊(稻)3小松(三ツ目)

△二百決勝 1小林(堺)二五秒一2齋藤(堺)3谷(堺)

△槍投決勝 1金田(綠)四三米三七2木村(量)3佐藤(稻)

△對抗リレー決勝 1手宮(若林、永井那須、松尾、佐藤、高野、近藤、吉田仲尾、近藤)三分一三秒2潮見臺3稻總

△千六百米リレー決勝 1手宮(佐藤、永井、高野、松尾)四分〇秒二2綠、かくて一部は終了したが二部競技は食菓、暗算、支度、鬼跳、二人三脚、障物、制限、抽籤、盲啞、文字合せ、團體リレーの十一種目の採點の結果

1潮見臺三十二點2手宮二十九點3堺二十六點4量德十二點5綠九點

にて潮見臺の優勝

中部北海道陸上競技選手権大會 旭川體育協會主催の第三回同大會は六月十四日旭川常盤公園グラウンドに於て舉行砂川、瀧川、名寄、富良野、札幌其他各地から集つた者百五十餘名。決勝戦績左の通り

ト ラ ッ ク

千五百米決勝 1後藤(美唄)四分二十七秒五2鎌田(砂川)3竹内(砂川)

八百米リレー決勝 1札幌チーム一分三十七秒四2砂川チーム3スバルチーム(旭川)

五千米決勝 1後藤(美唄)十六分四十八秒三上(中富良野)3竹内(砂川)

百米決勝 1赤沼(千歳)十一秒七2川崎(札幌)3堤(旭師)

▽ハイハードル競選 A組1長坂(札幌)十七秒八2鈴木(旭師)B組1駒木根(札幌)十八秒五3山本(旭師)

二百米決勝 1山本(札幌)二十三秒八2堤(旭師)3佐々木(札幌)

なほ山本君は従来の本大會新記録赤沼君の二十四秒三を破つた

ローハードル決勝 1長坂(札幌)二十七秒八2鈴木(旭師)3永吉(旭師)

四百米決勝 1葛西(砂川)五十二秒五2

天近(札幌)3森本(旭川)

なほ葛西君は本大會記録五十五秒三を破つた

八百米決勝 1元木(砂川)二分九秒七(本大會新記録)2後藤(美瑛)3鎌田(旭川)

ハイハードル決勝 1長坂(札幌)十七秒九

フ イールド

槍投決勝 1林(妹背牛)四十七米2木村3龜谷(砂川)

砲丸投決勝 1新岡(短期現役)十二米九十六2成田(旭師)3齋藤(旭師)

走高飛決勝 1山本(札幌)新岡(短期現役)共に一米七〇を越ゆるも一米七十

五で落ちる3岡田(旭川)小島(旭師)

圓盤投決勝 1山本(札幌)三十五米〇八〇(本大會新記録)2堤(旭師)3新岡(短現)

棒高飛決勝 1小林(旭師)三米一五(本大會新記録)2近藤(音江)3駒根(札幌)

千六百リレー決勝 1砂川チーム三分四十三秒九(葛西、元木、佐々木、西)(本大會新記録)2札幌チーム3旭師チ

走中飛決勝 1川崎(札幌)六米二八2西尾(瀧中)3沼野(中富良野)

第五回三官廳對抗陸上競技大會 六

月七日北大トラックに於て舉行。決勝記録左の通り

百米 1川崎(鐵)十一秒六3三浦(道)3古澤(鐵)4場田(遞)1鐵7道3)

千五百米 1後藤(遞)一分三十九秒八2山本(助)(鐵)3瀬戸(遞)

砲丸投(十六封度)1阿部(功)(遞)十二米〇八八2齋藤(康)(道)3伊藤(道)

百十米障礙 1長坂(鐵)十七秒二2高橋(道)3弓田(道)

三段跳 1今野(鐵)十三米一八五2長坂(鐵)十三米九五3野上(道)十二米九五

圓盤投 1阿部(功)(遞)三十五米〇五五2細木3山本(忠)(鐵)

八百米競走 1鐵道チーム(川崎、古澤、照井、島山)一分三十六秒二2道廳チ

ーム(三浦、石橋、松本、村上)3遞信

チーム(宮下、前田、朝見、南部)(遞

6鐵5道3)

五千米 1瀬戸(遞)十七分二十二秒四2後藤(遞)3高橋(遞)

四百米 1石橋(道)五十三秒二2島山(鐵)3村上(道)

鐵槌投 1阿部(遞)三十九米五七(大會新記録)2伊藤(道)三十八米四三(大會新記録)3齋藤(康)(道)

走高跳 1山本(鐵)一米六八A2辻(道)3久野(鐵)

二百米 1石場(道)二十三秒(大會新記録)2古澤(鐵)3南部(遞)

棒高跳 1德光(遞)同細木(道)二米九〇

3駒木根(鐵)

八百米 1天近(鐵)二分十秒2後藤(遞)江川(遞)

槍投 1伊藤(道)五十六米九三(大會新記録)2長坂(鐵)3石橋(道)

走中跳 1野上(道)六米一六2古澤(鐵)3前田(遞)

千六百リレー 1道廳チーム(高田、松本、石橋、村上)三分四十秒二(大會新記録)2鐵道チーム(伊藤、山本、島山、天近)3遞信チーム(朝見、江川、渡邊、南部)かくて六十七點六分の一を以て、道廳優勝した。得點左の通り

1	2	3	7	6	5
1	2	0	4	7	6
4	7	6	5	3	1
5	3	3	1	6	7
6	2	4	3	0	7
6	4	3	0	7	6
1	3	3	5	1	4
2	4	2	5	1	4
5	1	4	0	1	3
4	0	1	3	2	4
2	5	1	3	2	4
5	1	3	2	4	5

米米投得跳投走米米投跳米跳米

百九米段盤米千百槌高百高百

百千砲百三圓八五四鐵走二棒八



第一回全北海道女子陸上競技選手権大会

札幌陸上競技聯盟主催の同大会は十月三日北大トラツクに於て舉行されたが決勝記録左の通り。

- 砲丸投決勝(一部) 1 城川ヒサ子(北海高女)九米六十三(日本新記録九米十四を破る大記録) 2 高田(HOA) 3 中山(札幌)
三段跳決勝(一部) 1 原多美子(帯廣姉妹)九米八六〇(本道新記録) 2 井上(札幌) 3 後木(HOA)
籠球投決勝(一部) 1 成田孝子(札幌廳立)二十四米四四一(日本新記録) 2 蜂屋キミ(釧路第四) 3 井上利子(札幌女)
走高跳決勝(一部) 1 西田順子(札幌)一米四一 2 大津八重子(北海高女) 3 原多美子(帯廣姉妹)
走中跳決勝(一部) 1 齋藤田鶴子(HOA) 2 四米五九二 西田順子(札幌廳立高女) 3 中村勝子(HOA)
フイールド(一部)
籠球投決勝(二部) 1 鈴木ナオ(琴似校)十七米二九二 岡村シヅ子(旭川日章) 3 渡邊田鶴子(旭川日章)
走高跳決勝(二部) 1 藤森シヅエ(旭川日章)一米十五 2 大澤久美(豊平) 3 大場愛子(琴似)

トラツク(一部)

- 五十米決勝(一部)
出場選手第一コースから順次青木、野村、武田、横山、作田、田村、山下、藤原、若杉
1 野村久(札幌廳立)七秒(本道新記録)
2 武田照(HOA) 差胸一枚 3 藤原安(HOA)
二百米決勝(一部) 1 中村勝子(北海高女)二十九秒二(本道新記録) 2 太田定子(旭川附屬) 3 平城静(札幌廳立)
二百米連続決勝(一部) 1 札幌廳立高女(井上、平城、高橋、若林)二十七秒三(新記録) 2 HOA(中村、武田、岡、藤原)
豫選の時は二十七秒フラット 3 HOA友(後木、三坂、高井、稻垣)
百米決勝(一部) 1 野村久(札幌廳立高女)十三秒六(本道新記録) 2 武田照子(HOA) 3 高橋順子(札幌廳立)
四百米連続決勝(一部) 1 HOA孝組(中村、武田、岡、藤原) 五十四秒六 2 HOA友組(後木、三坂、高井、稻垣) 3 旭川附屬組(太田、駒井、川原、關根)
トラツク(二部)
五十米決勝(二部) 1 楠本フテ子(東北)七米五二 富加見愛子(西創成) 3 伊藤ヒテ子(岩見澤中央)

- 百米決勝(二部) 1 藤森シヅエ(旭川日章)十四秒七 2 大澤久美(豊平) 3 楠本フテ(東北校)
二百米連続決勝(二部) 1 旭川日章校(岡村、渡邊、藤森、渡邊)二十九秒四 2 東北校(楠本、松井、仁禮、須藤) 3 岩見澤中央校(千葉、前野、伊藤、田町)
第六回北大豫科對小樽高商定期陸上競技戦
六月十三日北大トラツクに於て舉行されたが三十六點三分の二對二十點三分の一を以て豫科軍大勝利した。これが高商は六敗零勝の憂目に遇つた譯である
△百米 1 森田榮(豫)十一秒八 2 佐藤(豫) 3 遊佐(豫)
△走高跳 1 室谷(高)一米六〇 2 森田弘(豫) 3 石崎(豫)
△圓盤投 1 桑山(豫)三十二米四〇 2 野口(高) 3 木村(豫)
△走中跳 1 室谷(高)六米〇二 2 木藤(高) 3 森田弘(豫)
△千五百米 1 平野(高)四分三十九秒六 2 千田(豫) 3 眞壁(高)
△ハイドル(低) 1 遊佐(豫)二十八秒八 2 得田(高) 3 小田(高)
△槍投 1 桑山(豫)四十三米六五 2 猿渡(豫) 3 武田(豫)
△四百米 1 鈴木(豫)五七秒二 2 遊佐(豫) 3 上野(高)
△棒高跳 1 桑山(豫)二米九〇 A 2 村岡(高) 3 森田(豫)木村(豫)(高小刀)

△八百米連続走 豫科チーム一分四三秒八

- 商 0 3 2 5 4 3 0 1 2 3 0
豫 6 3 4 1 2 3 6 5 3 6 3
米跳投米ル投米跳走 36.6 20.3
0 高盤巾 0 F 0 高繼
0 走圓走 1 ハ槍 4 棒 8 0
1 走圓走 1 ハ槍 4 棒 8 0
第四回全札幌市内小學校對抗陸上競技大会
北海中學校競技部主催の同大会は九月廿四日北中校庭に於て舉行されたが、豊平校十六點を以て優勝した。二位は東北校と西創成校の各十一點五分。記録左の通り

女子の部(尋常科)

- △百米突 1 大澤(豊平)十五秒(大會新記録) 2 楠本(東北) 3 富力見(西創成)
△五十米突 1 楠本(東北)七秒四(大會新記録) 2 眞下(北九) 3 田中(豊平)
△二百米連続走 1 豊平チーム三十一秒一 2 東北組 3 西創成組
△走高跳 1 菊地(豊平)一米一九 A(大會新記録) 2 仁禮(東北) 3 村田(西創成)
男子の部(尋常科)
△走中跳 1 家次(東北)四米二五(大會新記録) 2 川崎(北九) 3 金澤(北九)

△百米突 1 谷間(西創成)十四秒二 佐藤(西創成) 3 田中(豊平)

- △二百米 1 佐藤(西創成)三十秒四 2 南(豊平) 3 坂井(中央)
△八百米連続走 1 豊平チーム 2 北光組 3 東北組
第十回小樽少年陸上競技大会
小樽市教育會主催の同大会は九月二十七日公園グラウンドに於て舉行参加校十。記録左の通り
△高男一〇〇米決勝 1 神田(第一)一三秒六 2 出島(第二) 3 阿曾(第二)
△高女一〇〇米決勝 1 五十嵐(奥澤)一七秒二 烏山(奥澤)
△高男一〇〇米選選 A 1 加藤(奥澤) 2 大竹(稻穂) B 1 本内(奥澤) 2 遠藤(手宮) C 1 川間(若竹) 2 八木橋(色内)
△高女一〇〇米選選 A 近藤(稻穂) 2 組谷(手宮) B 1 久乘(緑) 2 遠藤(手宮) C 1 狩野(若竹) 2 小野(色内)
△走中跳決勝 △高男一港(第二)四米九〇 2 管(第一) 3 戸島(第二) △高女一田宮(奥澤)三米一三 2 五十嵐(奥澤) △高男一金(色内)四米六五 2 中曾(稻穂) 3 藤田(稻穂) △高女一伊藤(緑)三米七七 2 佐久間(奥澤) 3 渡邊(緑)
△二百米決勝 △高男一神田(第一)二七秒二 2 田中(第一) 3 中野(第二) △高女一田宮(奥澤)三三秒四 2 中谷(奥澤) △二百米豫選 △高男一川向(若竹) 2

- 梅田(奥澤) B 1 橋本(花内) 2 中達(堺) C 1 八本橋(色内) 2 安田(稻穂) △高女 A 1 近藤(稻穂) 2 清岡(手宮) B 1 小野(色内) 2 伊藤(緑) C 1 山口(稻穂) 2 加藤(手宮)
△三段飛決勝 △高男一阿曾(第二)九米八九 2 港(第二) △高男一中達(堺)九米四四 2 橋本(色内) 3 中曾(稻穂)
△四百米連続走豫選 △高男 A 線一分五秒 2 堺 B 1 色内五九秒四 2 奥澤 △高女 A 1 若竹一分五秒 2 手宮西 B 1 手宮一分七秒四 2 線
△四百米決勝 △高男一平取(第一)一分八秒五分 2 清水第二 3 前川(第二)
△綱引決勝 優勝校色内
△百米決勝 △高男 1 本内(奥澤)十三秒七 2 川向(若竹) 3 加藤(奥澤) △高女 1 近藤(稻穂) 1 四秒九 2 小野(色内) 3 細谷(手宮)
△走高跳決勝 △高男一和田(第一)一米三五 2 出島(第二) 3 管(第一) △高女一金(色内)一米四〇 2 鈴木(緑) 3 佐野(奥澤)
△二百米決勝 △高男一橋本(色内)二八秒八 2 中達(堺) 3 川向(若竹) △高女一小野(色内)三二秒二 近藤(稻穂) 3 清岡(手宮西)
△中等學校メドレーリレー決勝 1 廳商 A 組四分一八秒五分の四 2 廳商 B 組 △四百米連続走決勝 △高男一色内一分一



秒五分三二 奥澤3 緑△尋女1 若竹一分六秒五分一 手宮△高女1 奥澤一分一四秒四  
 △八百米繼走決勝 高男1 第二(阿曾、出島、田中、港) 一分五十九秒五分の二  
 2 第一  
**第四回札幌郡部小學校對抗陸上競技大會**  
 六月十四日琴似校運動場に於て新琴似校、上手稻校、札幌村第二校の四校チーム参加して舉行、記録左の如く琴似校七十五點、上手稻校四十點、札幌村第二校二十九點、新琴似校二十四點を以て琴似校優勝した。  
 △五十米(尋女) 1 伊藤(琴) 2 河村(琴) 3 及川(上)  
 △五十米(高女) 1 辻(札) 2 加藤(札) 3 越智(新)  
 △百米(高男) 1 加藤(上) 2 渡邊勝(札) 3 渡邊(札)  
 △百米(尋女) 1 河村(琴) 2 大町(琴) 3 吉倉(上)  
 △百米(高女) 1 鈴木(琴) 2 辻(札) 3 大向(琴)  
 △二百米(尋男) 1 佐藤(上) 2 橋場(上) 3 高橋(琴)  
 △四百米(高男) 1 加藤(上) 2 坪野(札) 3 渡邊(札)  
 △三段跳(高男) 1 渡邊(札) 2 漆崎(上) 3 坪野(札)  
 △走巾跳(尋女) 1 大場愛子(琴) 三米九

一 2 鈴木ナチ(琴) 三米八五 3 郡(新) 三米六七  
 ○以上三名は日本新記録である  
 △巾走(尋男) 1 五十嵐(琴) 2 橋場(上) 3 小野(上)  
 △ボール投(高女) 1 坪井(新) 2 廣地(新) 3 山崎(札)  
 △ボール投(尋女) 1 鈴木(琴) 2 大場(琴) 3 郡(新)  
 △砲丸投(高男) 1 渡邊(札) 十米一九 2 加藤(上) 3 渡邊(札)  
 △走高跳(高女) 1 庄司(琴) 2 金井(琴) 3 中川、辻(札)  
 △四百米繼走 1 琴似校 2 新琴似校 3 上手稻校  
 △四百米續走(尋五女) 1 琴似校 2 新琴似校 3 上手稻校  
 △八百米校繼走(尋五男) 1 琴似校 2 新琴似校  
 △四百米繼走(高女) 1 琴似校 2 新琴似校  
 △八百米尋男リレー 1 上手稻校 2 琴似校 3 新琴似校  
 △千六百米高男リレー 1 札幌村第二校 2 琴似校 3 上手稻校  
**小樽驛傳マラソン** 小樽體育協會主催の同マラソンは十月四日札幌驛前スタート輕川中繼小樽公園到着の道程にて舉行された。記録左の通り  
 一般 1 小樽實業青年俱樂部(新井、千

葉、山田、小松) 二時二五分三七秒(新記録) 2 札幌青年(三谷、龍、瀬戸、花野、工藤) 二時三〇分五秒(新記録) 3 美唄三菱鐵業 鮎澤(竹) 鮎澤(熊) 米倉天坂) 二時四一分  
 學生 1 樽商A(畑、關戸、佐々木、鈴木) 二時三二分八秒(新記録) 2 樽中(野澤、八島、新岡、加野) 二時四一分八秒 3 札一中(杉本、上島、高崎、小川) 二時四六分二三秒  
**千葉マラソンの記録** 青森、東京間四百六十哩長距離競走で五月六日青森を出発して以来十一日間一着の王座を續けて全國のファンを驚かした小樽の千葉選手は最終十二日目のコースで胃を痛め苦惱と戦ひつゝも決死の力走を續けて一着の桶選手を追つたが遂に及ばず惜しくも到着は二着に落ちたが累計時間では五十五時間廿六分一秒といふ驚異的記録を残して優勝した。成績左の如くである。  
 △一等 千葉彦右衛門(北海道) 總計五十五時間二十六分〇一秒△二等 松本(東京) 總計五十六時間五十八分二一秒△三等 楠(香川) 總計六十時間二十分三秒  
**明大對全北海道陸上競技戦** 八月九日小樽花園グラウンドに於て舉行されたが明大軍は終始優勢を示し遂に明大軍五十九點、道軍四十九點を以て明大軍大勝△百米決勝 1 切東(明) 一秒三二宮野

(明) 3 堤(道) 道 1  
 △千五百米決勝 1 權(明) 四分一五秒五分の二、2 富江(明) 3 後藤(道) 道 1  
 △砲丸投決勝 1 阿部(道) 一二米五八、2 中島(明) 一二米四七、3 高野(明) 一一米八四  
 明 3 道 3  
 △百十米障碍決勝 1 長坂(道) 一六秒六 2 陸口(明) 3 石川(明) 道 3  
 △走幅跳決勝 1 木村(道) 六米六〇、2 切東(明) 六米二九、3 前川(明) 六米一三  
 明 3 道 3  
 △五千米決勝 1 工藤(道) 一五五五六秒五分の二、2 權(明) 3 片淵(明) 道 3  
 △圓盤投決勝 1 長尾(明) 三七米七六、2 富盛(道) 三七米二五、3 阿部(道) 三六米七九  
 明 3 道 3  
 △八百米繼走 1 明大(宮野、猪狩、園、切東) 一分三一秒五分の四(本道新記録) 2 道軍(南部、畠山、堤、川崎) 道 0  
 △八百米決勝 1 富江(明) 二分一秒五分の三(本道新記録) 2 天近(道) 3 陸口(明) 道 3

△棒高跳決勝 1 村井(道) 三米七〇、2 金森(明) 3 石川(明) 道 2  
 △二百米決勝 1 切東(明) 二二秒九、2 畠山(道) 3 南部(道) 道 3  
 △走高跳決勝 1 室谷(道) 一七米七五、2 山本(道) 3 柄澤(明) 道 5  
 △四百米決勝 1 葛西(道) 五一秒五分の二、2 猪狩(明) 3 天近(道) 道 4  
 △鐵槌投決勝 1 古山(明) 四五米八九、2 長尾(明) 3 村井(道) 道 1  
 △一萬米決勝 1 工藤(道) 三三分二八秒五分の三、2 權(明) 3 千葉(道) 道 4  
 △三段跳決勝 1 菅(明) 一三米八九 2 木村(道) 3 今野(道) 道 3  
 △二百米障碍決勝 1 切東(明) 二六秒三 2 長坂(道) 3 陸口(明) 道 2  
 △槍投決勝 1 伊藤(道) 五四米八八、2 八木(道) 3 前川(明) 道 5  
 △千六百米繼走決勝 1 明大(關、猪狩、陸口、富江) 三分三〇秒五分の四 2 道

軍 明 3 道 0  
 總得點 明 3 道 0  
**明大 五九 道軍 四九**  
**第一回健康保險被保險者陸上競技大會**  
 道廳警察部主催の同大會は九月六日北大トラックに於て舉行。参加者は膽振、後志、空知、札幌、室蘭、小樽の四支應二市管内七十五團體八百餘名の男女。記録左の通り  
 △八百米決勝(男子) 1 北海製網 一分四十八秒六 2 札幌俱 3 製酪聯合  
 △百米決勝(青年) 1 阿部(北海石版) 十二秒六 2 高木(札師) 3 角田(北製網)  
 △四百米決勝(壯年) 1 木下(北製製) 五八秒二 2 泉(北製酪) 3 小田島(北製網)  
 △二百米決勝(壯年) 1 盛(金井印) 2 品田(日粉) 3 阿部(古谷)  
 △二百米決勝(青年) 1 阿部(北石) 二五秒三 2 村田(金井印) 3 門田(日乳) (壯年) 1 木下(今田工場) 二六秒四 2 盛(金井印) 3 新井(北都)  
 △四百米決勝(青年) 1 北島(小樽金井印) 一分四秒八 2 横谷(北石) 3 渡邊(拓模) (女子) 1 岩本(北製網) 三秒八 2 兒玉(同) 3 大野(同)  
 △五十米決勝(女子) 1 佐藤(北製網) 八秒八 2 清水(北都) 3 大野(北製網)



△百米決勝(女子) 1岩木(北製綱)十六秒三二佐藤(同)三清水(北都)  
 △四百米競走(女子) 1北海製綱一分六秒八二古谷三北都  
 △千五百米決勝(壯年) 1小田島(北製綱)五分五秒二對馬(タイムス)三石黒(北製綱)  
 △千五百米決勝(青年) 前川(龜谷)五分十一秒六二糸長(高橋鐵)三植島(木下綿)

フイールド

△砲丸投決勝 1村本(高橋鐵)一〇、四七米二堀川(植田木)三村田(伊藤組)  
 △走巾決勝 1角田(北製綱)五、四〇米  
 △高橋(駒製綿)三上村(北製綱)  
 △走高決勝 1高橋(駒製綿)一、五一米  
 △山形(北製綱)三工藤(宮前鐵工)

蹴球

第十一回北大豫科對小樽高商ラグビー  
 戦一回から十回迄の兩軍の戦績は高商軍十戦全敗の有様で、豫科軍常勝の榮譽を獨り佔にして来た。高商の勝たればならぬ第十一回は昭和五年十月十一日小樽公園グラウンドに開かれたが、高商軍依然として振はず遂に豫科軍の大捷に歸じ十一戦とも茲に終局を告げた。  
 豫科15(前半三——〇〇) 〇高商  
 後半12(〇〇——) 〇高商

東北北大對北大ラグビー戦 第二回定期ラグビー戦は六年九月十三日北大グラウンドに於て舉行。左の戦績で北大勝つ。  
 北大22(前半11——6) 12東北大  
 東北北大對小樽高商ラグビー戦 九月十四日北大フイールドで舉行、左の記録で東北大捷つ。  
 東北大9(前半3——0) 〇高商

七人制ラグビー第一回大會

初の試みであるセブンアサイド(七人制)ラグビー第一回大會は札幌ラ式蹴球協會主催の下に十月十七、十八の兩日に亘つて北大グラウンドに於て舉行。戦績左の如く北大本科A優勝した。  
 △準決勝  
 小樽高商A 18(5——13) 〇札商  
 北大本科A 13(10——3) 8北大本科B

△決勝  
 科A 9(6——3) 8小樽高商A  
 科B 9(6——3) 8小樽高商B

十一時半から井上氏審判の下に開始されたが九対八で北大本科組辛勝す  
 北大本科對小樽高商ラグビー戦 五月三十日北大フイールドで舉行されたが北大斷然強く三五對零で北大大勝。  
 北大豫科對北大中ラグビー戦 六月六日北大競技場に於て舉行、戦績左の通り

豫科35(前半20——0) 〇北中  
 向兩軍秋の戦は十月二十四日同所に於て舉行されたが、十五對三で北中再敗。  
 北大豫科對東北學院ラグビー戦 十月三日北大フイールドで舉行されたが、七十二對零を以て豫科軍大勝した。  
 北大本科對豫科ラグビー戦 は六月十三日北大グラウンドに於て舉行、左の戦績で本科大勝した。  
 本 科21(後半12——0) 〇豫科  
 向兩軍十月三日の戦績は左の如く、依然本科軍の勝に歸した。  
 北大豫科對札商ラグビー戦 六月七日北大フイールドに舉行二十五對零で札商大敗した。  
 北大對中央大學ラグビー戦 は六月七日北大フイールドに舉行一對零で中央大學勝つ。  
 北大對札師ラグビー戦 五月二日北大フイールドに舉行四十五對三で札師惨敗  
 第二回札幌中等學校蹴球大會 大毎主催全國中等學校蹴球大會札幌豫選を兼ねた同大會は十月廿四、五の兩日札二中フイールドに於て舉行されたが左の戦績で札師優勝した。  
 第一回戦

大グラウンドで舉行。二十五對零で札師大敗した。  
 北大對中央大學A式蹴球戦 六月七日北大グラウンドに於て舉行されたが零對零で引分けとなる。  
 室蘭蹴球大會 十月二十五日室蘭中等學校グラウンドで催されたが戦績左の通り  
 室蘭中學A 5——0茶津寮B  
 茶津寮A 4——1室蘭商業  
 茶津寮A 5——1ラツキースター  
 茶津寮A 6——1室蘭中學B  
 室蘭中學A 4——1茶津寮A

準決勝  
 一中2(200——200) 二二中  
 抽籤の結果一中勝つ

決勝戦  
 札師1(01——00) 〇一中  
 札師2(11——00) 1樽商

決勝戦  
 札師1(01——00) 〇一中  
 札師2(11——00) 1樽商

決勝戦  
 札師1(01——00) 〇一中  
 札師2(11——00) 1樽商

決勝戦  
 札師1(01——00) 〇一中  
 札師2(11——00) 1樽商

決勝戦  
 札師1(01——00) 〇一中  
 札師2(11——00) 1樽商

決勝戦  
 札師1(01——00) 〇一中  
 札師2(11——00) 1樽商

決勝戦  
 札師1(01——00) 〇一中  
 札師2(11——00) 1樽商

札師對秋田工業ラグビー戦 全國中等學校ラグビー戦東北、北海道代表決勝の兩軍對戦成績は左の如く秋田軍大勝  
 秋田工業27——3札師

北大對道廳ラグビー戦 四月廿五日北大フイールドに於て舉行されたが三對零で道廳軍敗れた。  
 北大對小樽製糖ラグビー戦 五月十七日小樽花園グラウンドに於て舉行、左の戦績で北中惨敗  
 製糖18(後半12——0) 〇北中  
 札幌OB對道廳ラグビー戦 六月二十一日北大フイールドで舉行、製糖勝  
 製糖12(後半12——3) 6札OB  
 札幌OB對小樽高商ラグビー戦 五月二十九日北大球場で舉行、道廳軍惜敗  
 道廳3(後半0——5) 5札OB  
 札幌OB對小樽高商ラグビー戦 五月十七日小樽花園グラウンドで舉行、引分となる  
 小樽高商6(後半6——3) 6札OB  
 向兩軍九月六日北大フイールドに於て舉行戦績は左の如く高商軍の勝に歸した。  
 高商25(後半17——8) 24札幌OB  
 札鐵對道廳ラグビー戦 十月四日北

第四回札幌中等學校蹴球リーグ戦 五月九、十の兩日札幌二中コトリに舉行されたが札師四度優勝した。戦績左の通り  
 中 7——9北  
 商 12——23一  
 師 33——7札  
 中 18——9二  
 商 34——8札  
 中 22——4二  
 商 13——6北  
 中 25——3二  
 中 10——16札  
 中 34——16二  
 師 39——3札  
 中 39——23二  
 中 25——16札

第四回札幌中等學校蹴球リーグ戦 五月九、十の兩日札幌二中コトリに舉行されたが札師四度優勝した。戦績左の通り  
 中 7——9北  
 商 12——23一  
 師 33——7札  
 中 18——9二  
 商 34——8札  
 中 22——4二  
 商 13——6北  
 中 25——3二  
 中 10——16札  
 中 34——16二  
 師 39——3札  
 中 39——23二  
 中 25——16札

第四回札幌中等學校蹴球リーグ戦 五月九、十の兩日札幌二中コトリに舉行されたが札師四度優勝した。戦績左の通り  
 中 7——9北  
 商 12——23一  
 師 33——7札  
 中 18——9二  
 商 34——8札  
 中 22——4二  
 商 13——6北  
 中 25——3二  
 中 10——16札  
 中 34——16二  
 師 39——3札  
 中 39——23二  
 中 25——16札

第四回札幌中等學校蹴球リーグ戦 五月九、十の兩日札幌二中コトリに舉行されたが札師四度優勝した。戦績左の通り  
 中 7——9北  
 商 12——23一  
 師 33——7札  
 中 18——9二  
 商 34——8札  
 中 22——4二  
 商 13——6北  
 中 25——3二  
 中 10——16札  
 中 34——16二  
 師 39——3札  
 中 39——23二  
 中 25——16札

第四回札幌中等學校蹴球リーグ戦 五月九、十の兩日札幌二中コトリに舉行されたが札師四度優勝した。戦績左の通り  
 中 7——9北  
 商 12——23一  
 師 33——7札  
 中 18——9二  
 商 34——8札  
 中 22——4二  
 商 13——6北  
 中 25——3二  
 中 10——16札  
 中 34——16二  
 師 39——3札  
 中 39——23二  
 中 25——16札











勝 録函ゴルフBクラス マンスリート  
 町太郎一博士優勝。九月二十日に行は、北大  
 者廿一名、接戦の結果北大里正義博士優  
 勝十月廿五日には安藤信彦氏高橋喜藏氏  
 共にマイナス六で同点となり更に九ホ  
 ルマツチをプレーオフして安藤氏優勝し  
 た。

卓球

小樽卓球協会カップ争覇戦 小樽卓  
 球協会主催第五回協会カップ争覇卓球大  
 会は二月十五日稲穂男子校にて開催、参  
 加団体は高商A、B、農検、北海製罐、第  
 一銀行、オリオン、専賣局、選友、湯淺  
 の八チームにて、結果農検優勝した。  
 △準決勝戦  
 選友 2-1-0 オリオン  
 農検 2-1-1 製罐  
 △三、四等決勝戦  
 製罐 2-1-0 オリオン  
 △決勝戦  
 (農検) 2-1-1 (選友)  
 福野 2-1-2 近藤  
 今野 3-1-1 須田  
 玉垣 3-1-0 服部  
 札幌実業卓球大会 北海道卓球協会主  
 催札幌実業卓球選手権大会は二月二十二  
 日市立体育所で舉行、札幌の清水氏優勝

五島 3  
 10 8 12 10 8  
 6 10 10 7 10  
 2 井澤

札幌對抗卓球大会 四月二十九日札  
 幌市立体育所に於て行はれたが、男子部  
 女子部OB三部共に札幌軍の大勝に歸し

高橋	入島	能登	原田	蛭田	千本	橋本	女部	銭地	櫻井	平賀	中山	高松	清水	坂目	早川	布目	黒川	札男	
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
佐藤	木村	内山	吉岡	大島	村住	村住	高野	今野	近藤	眞壁	水野	吉田	足立	刀立	尾張	尾張	尾張	尾張	尾張

準決勝 小野 1-1-3 櫻井  
 ◎清水 10 8 10 10  
 6 10 6 5  
 櫻井

全札幌オールポイス卓球大会 北  
 海道卓球協会主催の同大会は三月一日札  
 幌市立体育所で舉行、遂に札幌の黒川氏  
 苗穂小学校の宮田氏を破つて優勝した。

第三回全道女子卓球選手権大会 北  
 海道卓球協会主催の同大会は四月十九日  
 札幌女子高等小学校コートを於て開催、  
 出場選手五十三名。結局蛭田トシ子嬢  
 (札市高友)が優勝した。

◎原 10 10 7 10  
 6 6 10 5  
 内山

前村 5 10 10 10 5  
 10 12 5 7 10  
 蛭田◎

神宮卓球全道選 第二回池上カッ  
 プ全道卓球大会は第五回明治神宮卓球競  
 技選手権を兼ね十月四日札幌市立体育所  
 で舉行、左の如く決勝戦で函館の佐野氏  
 が札幌の長谷川氏を3-1-0のストレ  
 トで破り池上カッを獲得し尙晴  
 れの明治神宮卓球競技北海道代表選手  
 は左の如く決定した。

準決勝戦以下の戦績

決勝戦  
 ◎佐野 3 20 10 10  
 18 5 8  
 0 工藤

井澤 0 8 4 5 20 10 10  
 10 10 10 18 5 8  
 3 長谷川◎

◎佐野 3 10 10 10  
 1 6 4  
 0 長谷川

△代表選手三名、札幌地方選長谷川(札商)工藤(札幌)、函館地方選佐野(農検)

神宮卓球女子部全道選 第五回明

決勝戦  
 ◎蛭田 10 7 10 8 10  
 8 10 6 10 7  
 原

第六回全道団体卓球選手権大会 札  
 幌市立体育所に於て開催、参加者十三  
 名。結果札幌チム優勝した。

工藤 3 10 10 10  
 7 1 3  
 0 横田

黒川 2 6 10 5 10 6  
 10 7 10 8 10  
 3 早坂

清水 3 10 10 14  
 8 7 12  
 0 村山

高松 3 10 10 14 7  
 5 8 11 10  
 1 田村

治神宮卓球競技女子部北海道選は十  
 月十一日札幌市立体育所で舉行。小樽市  
 内山光子嬢優勝し、次位者札幌高橋光  
 嬢の神宮競技に参加権を獲得した。

準決勝戦以下の戦績

決勝戦  
 ◎内山 3 10 12 10 8  
 4 1 9 7 10  
 高橋

◎内山 3 14 16 10 5 5  
 11 13 6 10 10  
 2 能登谷

千田 2 8 11 6  
 10 14 10  
 3 高橋◎

△優勝 内山 小樽  
 △二等 高橋 札幌  
 △三等 能登谷 札幌  
 △女子部代表二選手 木村(函館)、内山(小樽)、高橋(札幌)

全小樽OB卓球選手権大会 小樽卓  
 球協会主催の同競技は十月十五日會議所  
 コートに於て開催、参加人員卅餘名、次  
 の記録で猪股氏優勝



管原 2

12	10	10	12	14
14	8	12	14	12

3 小町

猪股 3

10	5	10	10	10
5	10	12	8	7

2 吉原

猪股 3

10	10	10
8	5	8

0 小町

△優勝猪股喜子輔(卅歳)二等小町直次郎(三一歳)三等菅原信(三六歳)同吉原勇(三〇歳)

全道中等學校卓球大會 北海道卓球協會主催第八回同大會は十一月十五日札幌市立體育所コートに以て舉行、参加校十一、結局團體では函館商業校、個人戦では田村(函商)君優勝した。

北川 0

14	9	3
16	12	10

3 田村◎

札師 2 | 4 札商

札工 0 | 4 函商

札商 2 | 4 函商

◎佐藤 3

12	10	10
10	4	5

0 吉田

◎長谷川 3

10	12	10	8
11	10	6	10

1 山藤

北川 0

6	3	4
10	10	10

3 田村◎

佐藤 0

8	8	12
10	10	14

3 吉田◎

長谷川 2

8	8	8	12	10
10	10	10	9	5

3 山藤◎

◎工藤 3 (鐵教)

10	7	10	6	10
4	10	5	10	6

2 村上 (名中)

◎田村 3 (函商)

10	7	10	10
3	10	4	3

1 工藤 (鐵教)

第五回全日本學生スキー大會 昭和七年一月十六、十七日の兩日札幌神社外苑宮の森スキー場に於て開催、参加チームはオール日本學生の精銳、昨シーズンに覇業成就の早稻田大學を一指に明治、法政、立教、日本の東京各私立大學に、日本商科醫專、小樽高商と地元北海道帝大の八校チーム番外争覇挑戦の弘前、山形の兩校の十チーム、選手九十名に及んだ。結果次の如し

△十八軒競走

一着 宮村 六郎(北大) 一時間四十七分十三秒

二着 奥井 由雄(北大) 一時間五十三分四十五秒

三着 木越 定彦(明大) 一時間五十三分四十九秒

四着 木村 顯三(明大) 一時間五十五分二十秒

五着 若月 利治(高商) 一時間五十七分五十五秒

六着 栗山 一 一時間五十八分〇七秒

各校得點北大十二、明大七、高商一、早大一

△五十キロ耐久レース

一着 黒田 郭(北大) 四時間廿八分廿六秒

二着 清水 麟(早大) 四時間卅四分廿二秒

三着 藤澤 佐一(早大) 四時間卅四分卅五秒

四着 緒方 七郎(明大) 四時間卅五分十二秒

五着 宇田 正(早大) 四時間四十二分五十五秒

六着 山口 賢太郎(法政) 四時間五十三分十一秒

各校得點北大七、早大十一、明大三、法政一

△複合競技

1 宮村六郎(北大) 二九八・九點

2 奥井由雄(北大) 二七〇・九點

3 四ッ谷勇(高商) 二六四・六點

4 山田四郎(北大) 二五四・一點

5 若月利治(高商) 二三九・八點

9 新井昌典(法政) 二三一・〇點

最長不倒 は四二米五〇の四ッ谷君

△純シヤムプ

1 山田四郎(北大) 一四五・八

2 奥山欣一(早大) 一三九・〇

3 伊黒正次(北大) 一三八・九

4 竹内見春(法大) 一二九・四

5 出野久満治(早大) 一二七・二

6 五十嵐勝造(北大) 一二三・六

7 影井 薫(高商) 一一二・〇

8 栗山 巖(早大) 一一九・八

9 四ッ谷勇(高商) 一一六・〇

最長不倒 は四四米五〇の四ッ谷君

△三十軒リレー

1 早大 二時間四十五分二十九秒

2 北大 二時間五十一分二分

3 明大 三時間二十七秒

4 法政 三時間六分三十七秒

5 高商 三時間九分二十秒

6 日大 三時間十九分四十七秒

△各校總得點表

北大 早明高法日日立 12 1 7 2 0 0 0 0

早大 11 3 0 1 0 0 0 0

北大 7 11 3 0 1 0 0 0

法政 15 0 0 6 1 0 0 0

高商 12 7 0 0 3 0 0 0

日大 5 7 4 2 3 1 0 0

計(續)(シ)(複)(50)(18)

51 26 14 10 8 1 0 0

かくて秩父宮杯は三シーズン目に報復優勝した北大チームの獲得する所となつた。

小樽スキー大會 第十回全日本スキー選手権第六回明治神宮體育大會スキー小樽選會兼第九回全小樽スキー選手権大會は昭和七年一月十六、十七日の兩日小樽スキー俱樂部主催の下に小樽天狗山麓に於て開催、成績左の如し

△四十キロレース

1 山田 實(長橋) 四時九分三五秒

2 箕輪正治(瀧陵) 四時一四分二三秒

3 小池高行(札商) 四時二〇分四〇秒

△十八軒競走

青年組

1 足立正雄(製罐) 一時三十七分一秒

2 油谷圭三郎(炭鑛汽船) 一時四一分

3 小野寺將(札鐵) 一時四二分五一秒

4 秋野武夫(潮陵) 一時四四分五秒

5 福丸榮治(炭鑛汽船) 一時四九分四八秒

6 石村與三(潮陵) 一時六分二七秒

(複合競技に出場選手十八軒得點)

1 油各圭二郎(炭鑛) 一六〇點

2 秋野武夫(潮陵) 一四六點

3 石村與三(同) 一一七點

4 龍田不二夫(北大OK) 一〇九點

5 杉村鳳次郎(石狩支廳) 一〇六點

幼年組

1 澤本長一(樽商) 一時三三分三六秒

2 半田正雄(樽商) 一時三六分四九秒

3 佐藤正一(札商) 一時三六分五八秒

4 寺島 廣(樽商) 一時三十八分三二秒

5 箕輪正治(樽中) 一時三十八分四一秒

(複合競技に出場選手十八軒得點)

1 澤本長一(樽商) 一六〇點

2 藤山嘉造(北商) 一二八

3 井後義雄(樽中) 一二六

4 毛内 章(北中) 一一七

5 伊藤哲夫(北商) 一〇六

6 上野權三(樽商) 八六



7 高田峻次(樽中) 八〇  
 壯年組  
 1 葛西儀四郎(札鐵) 一時間十二分四十四秒  
 △十八軒レース全小樽大會中等學校對抗の優勝者得點左の如し

1 澤木長一(樽商)  
 2 半田正雄(樽商)  
 3 寺島 廣(樽商)  
 4 箕輪榛名(樽中)  
 5 藤山嘉造(北商)  
 6 井後義雄(樽中)  
 得點 樽商十六點、樽中四點、北商二點

△シヤムプ競技  
 中等學校對抗  
 決定點

1 瀧田峻治(樽中) 二五米  
 2 宮島 巖(樽中) 二四米  
 3 井後義雄(樽中) 二三米  
 4 古川正信(樽商) 二四米  
 5 淺木武雄(樽中) 二四米  
 6 志賀 仁(樽商) 二五米  
 得點 樽中十八點、樽商四點  
 幼年組 飛距離 決定點

1 龍田峻治(樽中) 二五米  
 2 宮島 巖(樽中) 二四米  
 3 井後義雄(樽中) 二三米  
 4 古川正信(樽商) 二四米  
 5 小原典次郎(北) 二五米  
 6 淺木武雄(樽中) 二四米  
 最長不倒 龍田峻治(樽中) 二五米  
 成年組 飛距離 決定點

1 濱 謙二(札俱) 二四米  
 2 油谷圭二郎(炭) 二四米  
 3 秋野武夫(潮陵) 二四米  
 4 西 信行(潮陵) 二四米  
 5 杉 次郎(支應) 二四米  
 6 河原武雄(札鐵) 二四米  
 最長不倒 濱 謙二 二四米  
 △三十二軒レース  
 一着 樽商(半田、關戸、大浦、澤本) 三時〇二分四九秒

二着 三菱(森、村田、六平、本間)  
 三着 潮陵(西村、安立、箕輪、秋野)  
 實業團レース  
 一着 三菱(森、村田、六平、本間) 三時一十七分五一秒  
 二着 炭礦汽船(坂本、福丸、中村、油谷) 三時一十七分五八秒  
 學校レース  
 一着 樽商(三時〇二分四九秒)  
 二着 北商(高橋、藤山、坪川、稻葉) 得點 樽商(十五點)、北商(十點)

幼年組 決定點  
 1 澤本 長一(樽商) 二九八  
 2 井後 義雄(樽中) 二六〇  
 3 藤山 嘉造(北商) 二三八  
 4 毛内 章(北中) 二三四  
 5 伊藤 哲夫(北商) 二三二  
 6 龍田 峻次(樽中) 二一八  
 最長不倒距離 二五米五〇 龍田  
 成年組  
 1 油谷圭二郎(炭鐵汽船) 二九七  
 2 秋野武夫(潮陵) 二六六  
 3 西村與三(潮陵) 二三八  
 4 杉村鳳次郎(支應) 二三五  
 5 龍田不雄(北中) 二二七  
 最長不倒距離 二四米半 濱、油谷  
 △神宮豫選シヤブ通過者は次の如し

△成年組  
 1 濱 謙二(札俱)  
 2 油谷圭二郎(炭鐵)  
 3 河原武雄(札鐵)  
 4 上野 權二(札商)  
 5 毛内 章(北中)  
 △幼年組  
 1 古川 正信(樽商)  
 2 小島 謹也(札商)  
 3 志賀 仁(樽商)  
 4 葛西 忠雄(水産)  
 5 伊藤 哲夫(北商)  
 6 大橋 彦亮(樽商)  
 △全小樽中等學校對抗各校得點、廳商再勝した。  
 十八軒レース  
 樽商十六點、樽中四點、北商二點  
 シヤムプ  
 樽中十八點、樽商四點、北商二點  
 樽商十五點、北商十點、樽中二點  
 樽得點  
 樽商三十五點、樽中二十五點、北商十二點  
 △四十軒降ぎ技  
 一着 木村 淨(樽中) 十二分四七秒  
 二着 加藤友三郎(樽俱) 十三分二五秒  
 三着 加藤 忠彦(札聯) 十三分五二秒  
 四着 渡邊 得次(樽俱) 十七分三七秒  
 第九回北海道スキー選手權大會  
 山岳會主催の同大會兼全日本並明治神宮大

會豫選會は昭和七年一月二十三、二十四日の兩日札幌郊外大會シヤンチェを中心として舉行、成績左の如し  
 △耐久レース  
 1 宮村 六郎(北大) 三時間十八分五十八秒  
 2 箕輪 正治(潮陵) 三時間二十二分四秒  
 3 駒井 三郎(三菱美唄) 三時間二十七分三十五秒  
 4 鮎澤 熊一(三菱美唄) 三時間三十三分二十九秒  
 5 奥井 由雄(北大) 三時間三十八分五十二秒  
 6 淺野 百治(美唄) 三時間四十一分五十八秒  
 7 米倉 初男(美唄) 三時間四十三分三十四秒  
 8 齋藤 幸治(札商) 三時間四十四分四秒  
 9 小野寺 將(札鐵) 三時間四十八分二十五秒  
 10 花田傳三郎(北大) 三時間五十一分十七秒  
 △複合競技得點 複合競技の長距離レースの得點左の如し  
 △幼年組  
 伊藤 年(北商) 一一三點  
 澤本 年(樽商) 一一二點  
 四ッ谷 年(高商) 一一一點

志村 山木(北中) 一五一點  
 藤島 木(北商) 一四五點  
 鈴島 木(札鐵) 九三點  
 上野 島(札中) 九〇點  
 坪川 野(北商) 一一〇點  
 瀧内 田(樽中) 一一〇點  
 毛内 田(北中) 一五三點  
 成谷 年(炭鐵) 一三六點  
 油谷 年(潮陵) 一三五點  
 秋野 年(潮陵) 一三五點  
 龍田 年(北中) 一四四點  
 齋藤 年(北大) 一六〇點  
 長田 年(北大) 一五〇點  
 高田 年(高商) 一五四點  
 若月 年(高商) 一二六點  
 加藤 年(高商) 一二六點  
 壯年組  
 芳賀 年(三角山) 一六〇點  
 △十八軒レース  
 幼年組  
 1 關戸 力(樽商) 一時間三十四分十三秒  
 2 大浦 忠治(樽商) 一時間三十五分二十四秒  
 3 坪川 武重(北商) 一時間三十六分五秒  
 4 市橋初三郎(三菱美唄) 一時間三十八分十二秒



- 5 上島 宏(札一中) 一時間二十八分二十五秒
- 6 毛内 章(北中) 一時間三十八分二十七秒
- 7 志村 誠一(北中) 一時間三十九分
- 8 佐藤 正一(札商) 一時間三十九分四十一秒
- 9 納村製炭治(大夕張) 一時間三十九分五十八秒
- 10 藤山 嘉造(北商) 一時間四十一分五秒
- 成年組
- 1 黒田 敦(北大) 一時間三十七分四十五秒
- 2 鹽出 鐵男(三菱美明) 一時間三十八分二十八秒
- 3 鷹田 清(ナシ) 一時間四十四分三十分
- 4 齋藤 治雄(夕張鏡) 一時間四十四分五十五秒
- 5 名雲 賢(高商) 一時間四十五分二十四秒
- 6 藤村長十郎(夕張鏡) 一時間四十五分四十三秒
- 7 安立 正雄(潮陵) 一時間四十九分五十七秒
- 8 佐藤 喬(札鐵) 一時間四十六分
- 10 高橋 與市(ナシ)

- 壯年組 一時間四十六分三十五秒
- 1 南 留三郎(札商教員) 一時間四十七分三十七秒
- 2 芳賀恒太郎(三角山) 一時間五十八分五十五秒
- 3 鹽澤 巳一(S, S, C) 二時間十七分十七秒
- △三十二杆リレー
- 一着 樽商 二時間四十八分五十七秒
- 二着 北商 二時間五十六分一〇秒
- 三着 札商A 二時間五十七分一三秒
- 四着 一中A 二時間五十八分二秒
- 五着 潮陵 三時間四分二秒
- 六着 札商B 三時間八分二六秒
- 七着 炭鏡 三時間一分五〇秒
- 八着 三角山 三時間二分二五秒
- △複合ジャムプ
- 成年組
- 一、若月 利治(高商) 二七二、六
- 二、黒田 敦(北大) 二六八、三
- 三、油谷圭二郎(炭鏡) 二六一、五
- 四、杉村鳳次郎(石狩支廳) 二二二、五
- 五、長田 光雄(北大OB) 二二〇、五
- 六、加藤 朝雄(高商) 一九二、六
- 七、高田 針雄(藝) 一七九、六
- 八、齋藤 龍三(北大) 一六三、八
- 最長不倒距離
- 四十九米長田光雄全道選手権は六位まで札幌豫選通過は三四以外

- 幼年組
- 一、四ッ谷 勇(高商) 二六四、五
- 二、志村 誠一(北中) 二五九、四
- 三、藤山 嘉造(北商) 二三四、八
- 四、伊藤 哲夫(北商) 二三四、〇
- 五、毛内 章(北中) 二二九、〇
- 六、上野 圭二(札商) 二〇三、七
- 七、鈴木 一郎(札鐵) 一八七、三
- 最長不倒距離
- 五十一米五十 四ッ谷勇(高商)
- (全道選手権は六位まで札幌豫選通過は四五三を除く)
- 複合ジャムプ飛躍距離 (×印は轉倒)
- 毛内(北中) 二五米 三七米
- 黒田(北大) 二五米 三四米
- 油谷(炭鏡汽船) 三〇・五 三五米
- 上野(札商) 二二米 二六・五
- 齋藤(北大林安) 二二米 二六
- 藤山(北商) 二〇米 二六
- 富田(藝) 一六米 二六
- 志村(北中) 二八米 三五・五
- 長田(北大OB) 三〇米 三二
- 鈴木(札鐵) 二二米 三七
- 若月(高商) 二六米 四四
- 四ッ谷(同) 三二米 四四
- 秋野(潮陵) 三二米 四四
- 杉村(石狩支廳) 二六・五 三八
- 伊藤(北商) 二八米 三八
- 加藤(高商) 二八米 三八
- △複合競技の入賞者

- △成年組
- 1 若月 利治(高商) 二七二、六
- 2 黒田 敦(北大) 二六八、三
- 3 油谷圭二郎(炭鏡) 二六一、五
- 4 杉村(石狩) 二二二、五
- 5 長田(北大OB) 二二〇、五
- 6 加藤(高商) 一九二、六
- 7 富田(藝) 一七九、六
- 8 齋藤(北大林) 一六三、八
- 幼年組
- 1 四ッ谷 勇(高商) 二六四、五
- 2 志村 誠一(北中) 二五九、四
- 3 藤山 嘉造(北商) 二三四、八
- 4 伊藤 哲夫(北商) 二三四、〇
- 5 毛内 章(北中) 二二九、〇
- 6 上野 圭二(札商) 二〇三、七
- 7 鈴木 一郎(札鐵) 一八七、三
- 尙伊藤、毛内は小樽豫選を通過してゐる
- 最長不倒は成年組では長田(北大OB)の三十九米幼年組では四ッ谷(高商)の四十四米である。
- △純ジャムプ競技
- 成年組
- 1 濱 謙二(SSC) 一四四、九
- 2 油谷圭二郎(炭鏡) 四八米、四八・五米
- 3 若月 利治(高商) 四八・五米、四〇米
- 四四米、四五米

- 4 長田 光男(北大OB) 一二〇、二
- 5 杉村鳳次郎(石狩) 一八二、三
- 6 村井 延雄(北大) 一八一、四
- 7 種村 茂(大倉) 一〇七、九
- 8 五十嵐吉二(札鐵) 一〇七、九
- 最長不倒距離五一・五米
- 四ッ谷 勇(高商)
- (全道選手権は六位まで札幌豫選通過は一、二位及四ッ谷除く)
- 幼年組
- 1 宮島 巖(樽中) 一二七、九
- 2 松山 茂忠(一中) 四二米、四四米
- 3 渡邊綱太郎(二中) 一一五、九
- 4 上野 桂二(札商) 一四、〇
- 5 伊藤 哲夫(北商) 三九米、三九米
- 6 森田 和吉(樽中) 一〇五、五
- 7 前田 宏(二中) 一〇〇、一
- 最長不倒距離四八・五米

- 森田和吉 (全道選手権は六位まで札幌豫選は一位を除く)
- △三十二キロリレー
- 1 樽商(半田、關戸、澤本、大浦) 二時間四十八分五十七秒
- 半田 四十三分二十七秒
- 關戸 四十一分四十三秒
- 澤本 四十四分六秒
- 大浦 三十九分四十一秒
- 2 北商(高橋、坪川、藤山、小林)
- 3 札商A 二時間五十九分十三秒
- 商は小樽豫選を通過したので推薦されたのは北商チームである。
- △一六キロリレー
- 1 札一中A組(一時四十分四十三秒)
- 杉本 辰次(二四分二四秒)
- 小川 愛策(二六分三一秒)
- 小林 健次(二四分四五秒)
- 上野 宏(二五分〇三秒)
- 2 北中(一時四十七分五十二秒)
- (相見、三浦、金野、錦戸)
- 3 札一中B組(一時五十四分五十五秒)
- 旭川スキー倶楽部主催の下に昭和七年二月七日旭川市外伊の澤のスキー場を中心として開催、参加者約二百名結果左の如し
- △十八キロリース



△一般 1 但野(妖星)一時間三三分五二秒  
 2 花田(空知鐵)一時間三九分六秒  
 3 福井(妖星)4 佐藤(名寄鐵)5 安味(名鐵)6 新田(旭川)

△學生 1 安味(名中)一時間三六分五三秒  
 2 平栗(旭師)一時間三七分三六秒  
 3 平塚(旭師)一時間三八分四二秒  
 4 田上弟(旭中)5 米(札商)6 田上兄(旭中)

△ジャムプ  
 1 丹野(留前中)一五三點七、2 高井(旭商)一四八、四三 船根(旭師)一四二、〇、4 齋藤(旭中)5 高橋(旭師)6 田邊(旭中)

△一般 1 荒井(旭通)一四三、八、2 前田(旭川)一四〇、五三 山崎(北建)一三九、五、4 田村(三井)5 吉田(旭鐵)6 石田(旭鐵)

△最長不倒 丹野(留前中)二十三米三三二キロリ

△一般  
 1 妖星(石山竹内高野福井)二時間二十九分一五秒  
 2 空知鐵(山田岸野松永吉成)

△學生  
 1 旭商(河原樹村久米林)二時間三十分一秒  
 2 旭中(神谷小松川西田上)

第九回全小樽小學校スキー大會 小樽スキー俱樂部主催の下に昭和七年二月十日

三、十四の兩日同市眞榮町小樽ジャンツエに於て舉行、總得點奧澤校四十六點(第一位)、綠校三十八點(第二位)、手宮校七點(第三位)の成績を以て終了、

第三回全道中等學校スキー大會 北海タイムズ社主催の下に昭和七年二月十日札幌神社外苑の宮の森スキー場で開催参加校十七校、結局總得點三十二點を以て札商優勝した。成績左の如し。

△長距離競走

1 毛内	章(北中)	一時三一分五一秒
2 關戸	力(樽商)	一時三二分八秒
3 佐藤	正(札商)	一時三三分三秒
4 上島	安(札一中)	一時三三分二〇秒
5 坪川	武重(北商)	一時三三分五秒
6 志村	誠(北中)	一時三三分五秒
7 相見	健二(北中)	一時三三分五秒
8 大浦	忠治(樽商)	一時三三分九秒
9 金野	正(北中)	一時三三分三〇秒
10 藤山	嘉造(北商)	一時三三分五二秒

△ジャムプ競技

1 龍田	峻次(小樽中學)	一三四、八點
2 小島	謙也(札幌商業)	一三四、二點
3 伊藤	哲夫(北海商業)	一三三、四點
4 白石	鶴造(小樽水産)	一二九、六點
5 松山	茂忠(札幌一中)	一二六、二點
6 淺木	武雄(小樽中學)	一一一、四點
7 上野	桂二(札幌商業)	一一〇、四點
8 長井	忠(札幌師範)	一一〇、四點
9 伊東	將夫(札幌師範)	一一七、七點

10 前田 榮一(北海商業) 一一五一點  
 尙最長不倒距離は五米五〇の札一中  
 松山君である。

△二キロリ

1 札	商	三時間一分四〇秒
2 札	商	三時間二分九秒
3 札	商	三時間五分七秒
4 札	中	三時間七分七秒
5 札	中	三時間九分三六秒
6 旭	中	三時間十七分五〇秒
7 旭	師	三時間十九分二九秒
8 旭	中	三時間十九分二九秒
9 旭	中	三時間十九分二九秒
10 札	中	三時間十九分二九秒

△各校得點表

21	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
各	札	旭	旭	名	北	北	北	北	札	札
校	二	中	中	商	師	中	中	中	商	商
得	得	得	得	得	得	得	得	得	得	得
點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
表	表	表	表	表	表	表	表	表	表	表
16	20	3	5	0	32	1	4	2	0	0
21	28	25	7	16	11	1	4	2	0	0
合計	21	28	25	7	16	11	1	4	2	0
走	9	6	8	0	0	7	3	5	0	0
繼	9	6	8	0	0	7	3	5	0	0
飛	0	0	9	5	7	16	6	0	0	0
距離	12	22	7	0	0	7	0	0	0	0

スケート

全國中等學校第二回氷上競技聯盟大會  
 昭和七年一月四日盛岡高松池に於て開催  
 札幌師範は本年もホツケイ第一位、スビ  
 ード第二位で再勝、戦績左の如し

△ホツケイ一回戦

札幌師範	3	1	0
京城	1	0	0
八月	1	0	0

△二回戦

札幌師範	8	1	1
盛農	6	0	0

△決勝戦

札幌師範	13	1	0
盛中	3	0	0

北海道氷上競技聯盟ホツケイ大會札幌  
 中等學校選會 昭和七年一月十六、  
 十七の兩日札幌中島リンクに於て開催、  
 札幌一中札幌を破つて優勝、戦績左の如し

△準決勝戦

札幌一中	6	3	2
前中	2	1	0
後中	2	1	0

△決勝戦

札幌師範	10	2	1
前中	2	1	0
後中	2	1	0
北	1	0	0

第五回全道氷上競技選手権大會 北  
 海道氷上競技聯盟主催の下に昭和七年一  
 月二十三、二十四の兩日札幌中島リンク  
 に於て開催、戦績左の如し

△五百米レース

一着	鈴木(苦)	五五秒二
二着	村(苦)	五五秒五
三着	中(苦)	五七秒四
四着	安(苦)	五七秒五
五着	伊藤(中等校聯盟)	五八秒二

△五千米レース

A 組	有岡(中等)	十分四十秒四
一着	安(保)	十分五十六秒二
二着	神(保)	十二分十一秒二
B 組	板谷(札幌)	十分五十二秒五
一着	佐々木(小樽)	十分五十二秒六
二着	村(苦)	十一分三秒八
C 組	田(中等)	十一分九秒六
一着	藤(同)	十一分十秒
二着	大西(苦)	十一分三十一秒六
三着	千五百米	選手権決勝
1 中	村(苦)	二分五九秒七
2 伊藤	藤(中等)	三分二秒七

3 佐々木(小樽)三分三秒六  
 4 有岡(中等)三分三秒九  
 5 工藤(苦)三分六秒四

△氷上ホツケイ

苦 俱 3	前中	1	1	0
	後中	0	1	0
北 大 2	前中	1	1	0
	後中	1	1	0
北 大 6	前中	3	1	3
	後中	2	1	0

△選手権決勝

小樽俱 3	1	1	1	1
小樽俱 6	3	3	0	0
二千米レース	3	3	0	0
1 苦工チーム	三分四一秒四	ナシ	ナシ	ナシ
2 札幌チーム	三分四一秒一	ナシ	ナシ	ナシ
3 札幌チーム	三分四一秒一	ナシ	ナシ	ナシ
4 札幌チーム	三分四一秒一	ナシ	ナシ	ナシ
5 札幌チーム	三分四一秒一	ナシ	ナシ	ナシ

△一萬米レース

A 組	全部本道新記録	I 中村(苦)	二一分一七秒六
1	有岡(中等聯盟)	二一分一七秒六	
2	安保(苦)	二一分一八秒九	
3	伊藤(中)	二一分一八秒九	
B 組	澤藤(中等聯盟)	二二分八秒四	



(本道新記録) 2伊藤(中等聯盟)二二分一六秒八(本道新記録) 3本田(中等聯盟)二二分三〇秒八(本道新記録) 4播磨(札幌)二三分四秒五吉田(中等聯盟)二三分五秒七

△スピード競技の國際規則による採點の結果左の如し  
第一位 中 村(苦) 二四五點六一〇  
第二位 安 保(苦) 二四九點五六五  
第三位 佐々(小樽) 二五〇點九一五  
第四位 有岡(中等) 二五二點六二〇  
第五位 板 谷(札) 二五二點三六二

△準決勝  
日光NCW 0-1-2 王子製紙  
王子 4 10-1-10 1日光NCW

札幌少年少女氷上大會 札幌市體育所主催の下に昭和七年一月三十一日札幌中島リンクで開催、参加者市内小學校兒童約四百名、優勝者左の如し  
△尋四男二百米レース  
1内藤(二九秒) 2山中 3國分  
1山本(三二秒八) 2弦木 3山口  
△尋五男三百米レース

△準決勝

Table with 4 columns: 函商1, 北中5, 北中2, フキギョウ. Rows show scores for 前半 and 後半.

△決勝戦  
第一位 辻 村(一中)順位點五點  
第二位 坂(札商)同 十二點  
第三位 池田(北中)同 十六點  
チーム得點は北中十四點で優勝

ス ポ ー ツ

1森合(五一秒六) 2平田 3福田  
1森下(四五秒) 2加藤 3佐々木  
△尋六男四百米レース  
1植田(五九秒二) 2堀内 3古山  
△高等科男五百米レース  
1南部(一分五秒六) 2黒田 3眞柳  
スピード終了後中央組對混合チームのアイス・ホッケー戦が行はれたが一對零で中央組勝つ

△五百米 1笹谷(樽中)六九秒五 2杉江(樽中)七〇秒四 3佐々木(樽商)七一  
△四百米 樽中十二點、樽商七點  
得點 樽中十二點、樽商七點  
△二千五百米 1佐々木(樽商)三分五四秒  
二、2杉江(樽中)四分二秒八  
得點 樽商七點、樽中五點  
△五千米 1佐々木(樽商)二分一二秒  
得點 樽商七點  
△總得點 樽商二一點、樽中十七點

△三百米 1江河(稻穂)四三秒二、2八田(稻穂)四五秒、3鶴田(稻穂)四六秒二、4屋嘉比(綠)四八秒、5佐藤(勇)(綠)四八秒

△準決勝

Table with 4 columns: 函商1, 北中5, 北中2, フキギョウ. Rows show scores for 前半 and 後半.

△準決勝  
第一位 辻 村(一中)順位點五點  
第二位 坂(札商)同 十二點  
第三位 池田(北中)同 十六點  
チーム得點は北中十四點で優勝

ス ポ ー ツ

得點 稻穂十六點、綠五點  
△五百米 1阿部(綠)一分一五秒 2菅野(綠)一分一六秒、3佐藤(綠)一分一八秒、4江河(稻穂)一分二〇秒、5鶴田(稻穂)一分二二秒二  
得點 綠十六點、稻穂五點  
△繼走(千六百米) 1綠校チーム(佐藤屋) 嘉比村田阿部)三分五二秒八、2稻穂校チーム

得點 綠十點、稻穂七點  
總得點 綠校三一點、札穂校二八點  
尙右大會終了後小樽スケート協會對札幌アイスホッケー試合を行ひ九ひ九對三にて札幌勝つ(レフエリー清水)

Table with 4 columns: 函商3, 北中4, 北中2, 札一中2. Rows show scores for 前半 and 後半.

△準決勝

Table with 4 columns: 函商1, 北中5, 北中2, フキギョウ. Rows show scores for 前半 and 後半.

の一點の差で札一中辛勝、戦績左の通り  
プールは二十五米  
第一日目  
△百米自由型 1佐々木(一中)一分十二秒九 2河原田(豫科差寸秒) 3笠松(一中) 4築城(豫科)  
△二百米自由型 1笠松(一中)一分三十三秒七 2佐久間(豫科) 差二十五米 3林(豫科) 4安孫子(一中)  
△二百米胸泳 1安孫子(一中) 2岐部(一中) 3北村(豫科) 4倉上(豫科)  
△二百米繼泳 1札一中(佐々木、松野、笠松二分九秒二) 豫科(金澤、鈴木、河原田、村上)  
第二日目  
△二百米自由型 1佐々木(一中)二分四十七秒二 村上(豫科) 差身長三釐(一中) 4佐久間(豫科)  
△五十米自由型 1笠松(一中)三十三秒二 鈴木(豫科) 3佐野(一中) 4濱崎(豫科)  
△百米背泳 1築城(豫科) 2北村(豫科) 3關(一中) 4横野(一中)  
△三百米メドレ繼泳 1豫科チーム(鈴木、林、河原田) 2札一中(笠松、安孫子、佐々木)  
豫科  
孫子、佐々木  
一中  
5.5 4.5  
6.6 4.4  
6.5 4.5  
5.3 4.5  
7.3 4.5  
3.3 3.3  
50 100 200 400  
泳泳泳泳  
泳泳泳泳  
34.5 33.5  
四四五

ス ポ ー ツ



**北大豫科對小樽高商第五回對抗水上競技大會** 昭和六年六月二十一日小樽市立中學プールにて開催、結局七十七點對七十二點で豫科軍勝つ、プール廿五米、水温十七度半、氣温二十三度半

△五十米突自由型  
1 本間(高商)タイム不明、2 河原田(豫)3 櫻井(高)4 金澤(豫)5 河邊(豫)6 鈴木(豫)

得點 高商十二點、豫科九點

△八百米突自由型  
1 澤田(豫)十三分二十九秒八、2 佐久間(豫)3 一谷(高)4 林(豫)5 伊藤6 荒木田

得點 高商七點、豫科十四點

△百米自由型  
1 河原田(豫)一分十一秒、2 村上(豫)3 高山(高)4 河邊(高)5 加藤(豫)6 名雲(高)

得點 高商八點、豫科十三點

△二百米平泳  
1 尾關(高)三分二十七秒、2 林(豫)3 石井(豫)4 久保(高)5 玄地(豫)

得點 高商九點、豫科十一點

△二百米自由型  
1 山形(高)二分五十秒八、2 村上(豫)3 高山(高)4 築城(豫)5 加藤(豫)6 櫻井(高)

得點 高商十一點、豫科十點

△百米背泳  
1 本間(高)一分二十二秒六(本大會新記録)2 名雲(高)3 鈴木(豫)4 阿部(高)5 橋本(豫)6 喜多村(豫)

△四百米自由型  
1 佐久間(豫)六分十八秒八2 澤田(豫)3 一谷(高)4 山形(高)5 築城(豫)伊藤(高)

得點 高商八點、豫科十三點

△四百米リレー  
1 高商(高山、山形、一谷、本間)四分五十五秒四  
2 豫科(村上、河原田、加藤、金澤)

得點 高商三點、豫科零

△總得點  
高商 9 14 13 11 10 7 13 0 77  
豫科 12 7 8 9 11 14 8 3 72

自由型 12 7 8 9 11 14 8 3 72  
同型 800 100 200 200 100 400 400 米  
平泳型 100 200 100 400 400 米  
背泳型 100 200 100 400 400 米

**札樽函三局對抗水泳大會** 昭和六年八月九日小樽市立中學プールに於て舉行、左の戦績で小樽電信課優勝した。

△四百米自由型 一着森(札)二着牧浦(小)

△百米自由型 一着瀧田(小)一分二十三秒、二着能倉(札)三着石原(札)四着須貝(小)

△二百米胸泳 一着瀧田(小)三分五三秒二、二着大島(小)三着長谷川(札)

△五十米背泳 一着瀧田(函)四三秒二、二着北島(小)、三着若林(札)四着兒島(小)

△二百米自由型 一着島本(札)三分三十三秒一、二着高橋(函)三着石原(札)四着林(小)

△二百米繼泳 一着、小樽チーム(太田、山田、須貝、瀧田)二分三四秒三

△二百米胸泳 一着、函館チーム

△胸泳百米 一着瀧田(小)一分四〇秒四、二着大角(小)三着長谷川(札)四着金子(札)

△五十米自由型 一着島本(札)三十五秒、二着瀧田(小)三着須貝(小)

△四百米繼泳 一着札樽チーム、(石原、能倉、若林、島本)五分五七秒三、二着小樽チーム

總得點 小樽四三點、札幌三十八點、函館九點

**全道小學生水泳大會** 小樽體育會主催第五回同大會は昭和六年八月三十日小樽市立中學プールに於て舉行、尋常科は余市大川校、高等科は函館湯川校優勝、五十米自由型

▽尋常科 1 莊司(余市大川)三八秒七

(大會新記録)2 鈴木(函館湯川)3 田口(大川)4 木村(湯川)

得點 大川六點、湯川四點

▽高等科 榊田(湯川)三四秒六2 熊倉(大川)3 小幡(湯川)4 上林(小樽第二)得點 湯川六點、大川三點、第二二點

二百米自由型  
▽尋常科 1 松浦(大川)三分二六秒二2 加藤(湯川)3 大關(大川)

得點 大川六點、湯川三點

▽高等科 1 水野(大川)三分一三秒八2 阿部(大川)3 川村(湯川)4 佐々木(湯川)

得點 大川七點、湯川三點

五十米背泳  
▽尋常科 1 木村(湯川)四九秒一(大會新記録)2 長濱(湯川)3 田口(大川)4 小笠原(小樽若竹)

得點 湯川七點、大川二點、若竹一點

▽高等科 1 上林(第二)四四秒六2 本間(湯川)3 水野(大川)4 川村(湯川)

得點 第二四點、湯川四點、大川二點

百米自由型  
▽尋常科 1 莊司(大川)一分二七秒(大會新記録)2 松浦(大川)3 加藤(湯川)4 長濱(湯川)

得點 大川七點、湯川三點

▽高等科 1 榊田(湯川)一分二〇秒六2 熊倉(大川)3 小幡(湯川)4 阿部(大川)

得點 湯川六點、大川四點

▽尋常科 1 梶浦(札幌西創成)一分四八秒九(大會新記録)2 鈴木(湯川)3 山本(大川)4 嘉藤田(若竹)

得點 西創成四點、湯川三點、大川二點、若竹一點

▽高等科 1 小山(大川)一分三八秒九2 佐々木(湯川)3 齋藤(湯川)4 中川(第二)

得點 湯川五點、大川四點、第二校一點

▽尋常科 1 大川校(松浦田口關川莊司)二分五一秒四2 湯川校(木村加藤長濱鈴木)3 若竹校(盛岡石川小笠原伴野)

得點 大川七點、湯川五點、若竹三點

▽高等科 1 大川校(水野唐澤阿部熊倉)二分三四秒二2 湯川校(小幡佐々木本間榊田)3 第二校(佐藤本間阿部上林)

得點 大川七點、湯川五點、第二校三點

▽總得點 尋常科大川廿點、湯川廿五點、若竹五點、西創成四點、高等科湯川二十九點、大川二十七點、第二校九點

**札樽對抗水上技競** 小樽體育協會主催の下に昭和六年八月三十日小樽市立中學プールに於て舉行、結局十八點の差で

札幌軍優勝、記録左の如し

二百米リレー  
1 小樽(茨木、長尾、佐藤、一谷)一分一秒五(新記録)2 札幌(本間、花田、甲谷、兒玉)

得點 小樽五札幌零

八百米自由型  
1 澤田(札)十三分十五秒一2 笹(札)3 神保(小)4 稻野(札)5 高橋(小)

得點 札十四點小六點

百米自由型  
1 茨木(小)一分八秒三2 兒玉(札)3 一谷(小)4 佐藤(小)5 笠松(札)6 甲谷(札)

得點 札十二、小樽九

二百米平泳  
1 梶浦(札)三分十二秒九2 安孫子(札)3 渡邊(小)4 田澤(小)5 谷黒(小)6 稻田(札)

得點 札幌十二、小樽十

二百米自由型  
1 佐々木(札)二分四七秒五2 茨木(小)3 花田(札)4 中澤(小)5 一谷(小)6 關(札)

得點 札幌十一小樽十

百米背泳  
1 本間(札)一分二一秒三2 福丸(小)3 田澤(小)4 林(小)5 直井(札)6 鈴木(札)

得點 小樽十二札幌九



四百米自由型  
 1 佐々木(札)六分十秒2 笹(札)3 居内(札)4 岩城(小)5 中澤(小)福丸(小)  
 得点 札幌十五、小樽六  
 五十米自由型  
 1 兒玉(札)三十秒2 伊谷(札)3 佐藤(小)4 長尾(小)5 河内(札)6 林(小)  
 得点 札幌十三、小樽八  
 八百米リレー  
 1 札幌(花田、澤田、笹、佐々木)十一分十八秒2 小樽(茨木、河、神保、一谷)  
 得点 札幌五小樽零  
 總得点 札幌八十七點、小樽十九點  
 北日本中等水上競技大會 東北學院  
 ウォーターマン俱樂部主催の下に昭和六年八月三十日仙臺に於て開催、本道より函館商業校出場し堂々優勝す。關係戦績左の如し  
 △八百米リレー 2 函館商業  
 △五百米自由型 5 函館商業藤井  
 △八百米自由型 1 函館商業原、2 函館商業佐野  
 △二百米平泳 1 函館商業河井(三分十秒三)大會東北新記録  
 △百米自由型 2 函館商業小澤  
 △百米背泳 1 函館青山一分二十一秒四  
 △四百米自由型 1 函館原五分三秒三、5 函館佐野  
 △百米自由型 4 函館小川

△二百米リレー 1 函館(藤井、佐野、原、小川)二分四秒八  
 かくて得点函館商業五十八、秋田商業五十六、盛岡中學二十九、仙臺一中十八、東北中學十七、角田十、育英七  
 神宮水上競技本道競選 小樽體育協會主催全日本選手権及び明治神宮本道競選兼本道水上競技選手権大會は昭和六年九月六日小樽市立中學プールに於て舉行、戦績左の如し  
 △百米自由型競選 A組1 茨木(樽中)一分九秒八、2 鈴木(札青)3 福島(綠泳會)B組1 小玉(八鏡)一分十秒2 山本(無)3 上前(水産)C組1 一谷(綠丘)一分十一秒2 佐藤(綠泳)3 竹内(水産)  
 △二百米自由型競選 A組1 神保(綠泳)二分五十六秒七、2 小玉(八鏡)3 笠松(一泳)B組1 居内(札商)二分五十四秒2 中津(綠泳)3 平佐(一泳)C組1 佐々木(一泳)二分四秒五、2 佐藤(綠泳)  
 △飛込 1 高岡(小青)三十點二六  
 △百米 メドリレー決勝 1 綠丘(本間、田澤、一谷)四分六秒2 綠泳會3 八鏡  
 △八百米自由型決勝 1 澤田(一泳)十三分七秒四、2 笹(同)3 稻野(同)  
 △五十米背泳決勝 1 本間(綠丘)三十六秒八、2 雲(同)3 川内(八鏡)  
 △百米平泳決勝 1 梶浦(札二中)一分廿六秒六、2 渡邊(綠泳)3 月澤(同)

△百米自由型 1 茨木(樽中)一分八秒五  
 2 一谷(綠丘)3 小玉(八鏡)  
 △四百米自由型決勝 1 佐々木(一泳)六分六秒七、2 澤田(同)3 鈴木(綠泳)  
 △百米背泳決勝 1 本間(綠丘)一分廿三秒、2 雲(同)3 笠松(一泳)  
 △二百米自由型決勝 1 佐々木(一泳)二分四七秒九、2 居内(札鐵)3 神保(綠泳)  
 △二百米決勝 1 梶浦(札二中)三分十七秒、2 白石(水産)  
 △八百米リレー決勝 1 綠泳(茨木、鈴木、佐藤、神保)一分廿八秒五、2 一谷(綠丘)3 綠丘  
 なお本社寄贈のメダルは三百メドリレーの綠丘チーム、八百自由型一着澤田君へ授與された。

漕艇

小樽漕艇協會オーブンレース 小樽漕艇協會主催オーブンレースは昭和六年六月七日小樽入舟川尻埋立地先に於て舉行記録左の如し(コース距離七百米)  
 △第一回  
 1 樽商B(岸コース)三分十七秒2 鐵道C(沖)艇差二分の一  
 △第二回  
 1 樽中A(沖)三分六秒二分の一、2 樽中B(岸)艇差二艇身  
 △第三回  
 1 鐵道B(岸)二分五十三秒二分の一、2

鐵道D(沖)艇差四艇身

△第四回  
 1 鐵道A(沖)二分五十二秒2 量徳青年團A(岸)艇差四艇身  
 △第五回  
 1 樽商A(沖)三分二十九秒2 綠漕クラブ(岸)艇差一艇身五分の四  
 △第六回  
 1 源俱樂部(岸)タイム無し2 手宮青年團(沖)艇差三艇身  
 △第七回  
 1 悠報クラブ(岸)三分十六秒2 北大水産科艇差二艇身(六百米)  
 △第八回  
 1 罐友俱樂部(岸)三分九秒二分の一、量徳青年團B(沖)艇差二艇身二分の一  
 △第九回  
 1 G、K俱樂部(岸)三〇十二秒2 O、K俱樂部(沖)艇差五艇身  
 △第十回  
 1 棧橋(沖)三分九秒2 轟クラブ(岸)艇差三艇身  
 △第十一回 (再レース) 1 鐵道クラブA(沖)二〇五二秒(四艇身)量徳青年團A兩艇能く頑張りしも半コース頃より鐵道のブレークロード能く利き漸次放して昨年優勝の貫祿を示した  
 第九回小樽漕艇大會 第四回全日本漕艇選手権北海道選々手権大會を兼ねた同大會は昭和六年八月二日小樽港内に

於て舉行、レース成績の如し

△青年團決勝 (八百米直線コース)  
 △一着量徳A三分二十二秒二分一、二着同艇差一艇身  
 △中等學校決勝 (千百米直線コース)  
 △一着樽中A四分四十秒、二着樽商差四分二分一  
 △一般決勝 (八百米直線コース)  
 △一着鐵道C(手宮)三分二十秒、二着小樽新聞差二艇身半  
 かくて量徳Aに市長杯を樽中Aに漕艇協會北海道支部長杯を鐵道C(手宮驛)に優勝旗をそれ、授與。また三年連勝の樽中には昨年までの優勝杯を同じく昨年三年連勝した、手宮青年團には新調製の三年連勝記念杯を贈つた。

武 道  
 第卅五回武徳祭大演武會出場本道選手  
 昭和六年五月上旬京都に於て催された大日本武徳會第卅五回武徳祭大演武會に本道より出場した勇士は四十数名といふ近年珍しい多数であつたが、いづれも全選抜の猛者と悪戦苦闘の結果左の成績をもたらしてそれ、歸道した。  
 (○は勝 ●負 ×は引分)  
 柔 道

留館	高田藤之助	留館	小野田六郎	留館	山田源右衛門	留館	庄司 謙三	留館	高橋惣五郎	留館	千葉官二郎	留館	高木 勇	留館	池田藤三郎	留館	小松 定之	留館	上山 幸七	留館	犬飼 元信	留館	原 秀 欽	留館	山下助太郎	留館	佐藤 篤	留館	關 留之介	留館	小島 林藏	留館	大澤藤四郎	留館	高橋善三郎	留館	阿蘇甚太郎																		
留館	高田桐彌七	留館	小林徳太郎	留館	安 保 茂吉	留館	梅津 末吉	留館	齋藤 順吉	留館	芝木 儀秀	留館	江刺家 薫	留館	鈴木宇佐巳	留館	江川定夫	留館	高田藤之助	留館	小野田六郎	留館	山田源右衛門	留館	庄司 謙三	留館	高橋惣五郎	留館	千葉官二郎	留館	高木 勇	留館	池田藤三郎	留館	小松 定之	留館	上山 幸七	留館	犬飼 元信	留館	原 秀 欽	留館	山下助太郎	留館	佐藤 篤	留館	關 留之介	留館	小島 林藏	留館	大澤藤四郎	留館	高橋善三郎	留館	阿蘇甚太郎



























# レオテストニュース

## 普選第三次總選舉

一月二十二日解散以來三旬に亘る政戦の収獲は二月二十日清算され朝野兩黨は完全に前有勢力を逆轉して與黨政友會は全國到る處膨脹し前古未曾有の大政黨に成り遂げた。本道もこの全國的潮流に支配されて十四對六といふ慘憺たる凋落ぶりを示した。元來本道に於ける政黨の分野は政民相半し、時の政府與黨が僅かに比較多數を占めてゐたに過ぎなかつたものだが、今回はこの計算を完全に覆して前代未聞の結果となつた。

## 本道衆議員總選舉勸定

(小樽新聞掲載より轉)

名簿確定數 五〇九、九八四  
 期日現在數 五〇五、〇八五  
 有效投票數 四一八、〇四一  
 政友得票 二四八、〇四一  
 民政得票 一六六、九七二  
 無効投票數 四、六三〇

種別	選舉當日ノ有権者數	投票者數	棄権者數	棄権率
小札	二九、二七二	二四、〇八六	五、八一〇	一割九八
樽幌	二八、一四一	二四、〇八六	四、〇五五	一割四八

棄権者數 八五、四四四  
 死亡失格 四、八九九

## 本道の開票結果

(北海タイムス掲載より轉)

### 第一區 (札幌市、小樽市、石狩)

當選 二〇、〇六七票 壽原英太郎(政)  
 同 一八、〇一四票 山本厚三(民)  
 同 一六、一八六票 丸山浪彌(政)  
 同 一三、五八九票 岡田伊太郎(政)  
 同 一三、〇五二票 澤田利吉(民)  
 次點 一三、〇五二票 澤田利吉(民)

### 第二區 (旭川市、上川、留萌)

當選 一九、九七一票 東武(政)  
 同 一九、五三八票 林路一(同)  
 同 一五、六二八票 田中喜代松(同)  
 同 一五、六八五票 坂東幸太郎(民)  
 同 一五、八五五票 淺川浩(同)  
 次點 一五、八五五票 淺川浩(同)

### 第三區 (函館市、渡島、檜山)

當選 一八、三三三票 佐々木平次郎(政)  
 同 一七、二二二票 林儀作(同)  
 同 一七、二二二票 大島寅吉(民)  
 同 一七、二二二票 渡邊泰邦(同)  
 次點 一七、二二二票 渡邊泰邦(同)

### 第四區 (室市、空知、釧路)

當選 一九、四〇九票 板谷順助(政)  
 同 一四、八八一票 松實喜代太(同)  
 同 一四、六八五票 山本孝三(中)  
 同 一四、九四三票 松尾隆吉(民)  
 同 一〇、六四五票 岡田春夫(民)  
 同 一〇、〇九〇票 南條徳男(政)  
 同 八、八一三票 神部爲藏(民)  
 同 八、四九三票 神部爲藏(民)

### 第五區 (釧路市、網走、河西、釧路)

當選 一九、〇四四票 三井徳寶(政)  
 同 一八、五五一票 尾崎天風(政)  
 同 一八、二六一票 木下成太郎(政)  
 同 一八、〇七〇票 小池仁郎(民)  
 同 一八、〇七〇票 吉野恒三郎(同)  
 同 一八、〇七〇票 遠山房吉(同)  
 次點 一八、〇七〇票 遠山房吉(同)

## 全道衆議院議員選舉 投票結果調査表

(小樽新聞より轉載)

區	後石	旭上留	函渡檜	室空騰	網河	釧路	計
有権者數	一三、二四三	九、一四一	八、一三三	一〇、一六一	一〇、一六一	一〇、一六一	五三、一〇一
投票者數	一三、二四三	九、一四一	八、一三三	一〇、一六一	一〇、一六一	一〇、一六一	五三、一〇一
棄権者數	一三、二四三	九、一四一	八、一三三	一〇、一六一	一〇、一六一	一〇、一六一	五三、一〇一
棄権率	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
得票	一三、二四三	九、一四一	八、一三三	一〇、一六一	一〇、一六一	一〇、一六一	五三、一〇一
得票率	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇

## 道廳部課廢合

佐上長官は赴任以來道廳の事務刷新に關し深く意を用ひ、種々研究中であつたが事務の根本的刷新にはまづもつて課の廢合をなして合理的統制をなし、事務の

レオテストニュース

處理を簡易敏捷ならしむるにありとなし、前者にあつては從來の三十五課を七課減じて二十八課となし、後者にあつては處理規程の根本的大改正を行つて從來の弊を一掃することとなり、これが改正處理規程を二月廿五日附今回新たに設け

られた廳達第一號を以て公示されたが、今回の改正は一般の待望久しかりし根本精神にふれたもので、まさに新時代を劃したものと云ふべきである。

## 部課廢合の内容

四六三



長官各房

(1) 秘書課 (2) 文書課 (統計課は内務部庶務課に合併)

内務部

(1) 庶務課 (新設) (2) 拓殖計畫課 (従来の調査課を改稱) (3) 地方課 (4) 會計課

學務部

(1) 學務課 (2) 社寺兵事課 (以上二課は従前の教育兵事課を分離獨立せしむ) (3) 社會課

土木部

(1) 總務課 (新設、従前の建築課、都市計畫課を併合す) (2) 河港課 (新設、従前の河川課、港灣課を併合す) (3) 土地改良課 (4) 道路課

拓務部

(1) 殖民課 (従来の土地整理課、開墾課を殖民課に合併す) (2) 林務課 (3) 地方林課

警察部

(1) 警察課 (従前の監察課を合併す) (2) 建築工場課 (従前の工場課を改稱す) (3) 高等警察課 (4) 特別高等課 (4) 外事課 (5) 保安課 (6) 高等課 (7) 衛生課 (8) 保険課

産業部

(1) 農産課 (新設、従前の農務課、畜産課、糖務課を合併す) (2) 商工課 (3) 水産課

昭和六年本道米實收高 (道廳統計課發表)

Table showing rice production statistics for various regions like 支廳名, 別町反, 收穫高, 増減, 石.

昭和六年主要農産物實收高 (道廳統計課發表)

Table showing major agricultural products like 大豆, 粟, 黍, 蕎麥, 甘藷, 甘藷切, 馬鈴薯, 計, 價額, 増減, 收穫高, 一反歩收, 單, 増減, 價.

昭和六年菜豆實收高 (道廳統計課發表)

Table showing green bean production statistics for 大福豆, 手福豆, 長福豆, 中福豆, 金時豆, 其計, 作付反別, 町反, 收穫高.

昭和六年度本道移輸入米高表 (農檢調査)

Table showing rice import/export statistics for 青森, 秋田, 山形, 岩手, 宮城, 福島, 新潟, 富山, 石川, 福井, 兵庫, 鳥取, 岡山, 京都, 山梨, 長野, 岐阜, 愛知, 三重, 滋賀, 奈良, 和歌山, 徳島, 香川, 高松, 愛媛, 高知, 福岡, 佐賀, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄, 計.

昭和五年本道雜穀需給状況 (道廳農務課調査單位俵)

Table showing grain supply and demand for 大麥, 小麥, 燕麥, 前年より持越, 生産高, 移輸入高, 移輸出高, 翌年へ持越, 道内消費高, 前年より持越, 生産高, 移輸入高, 移輸出高, 翌年へ持越, 道内消費高.



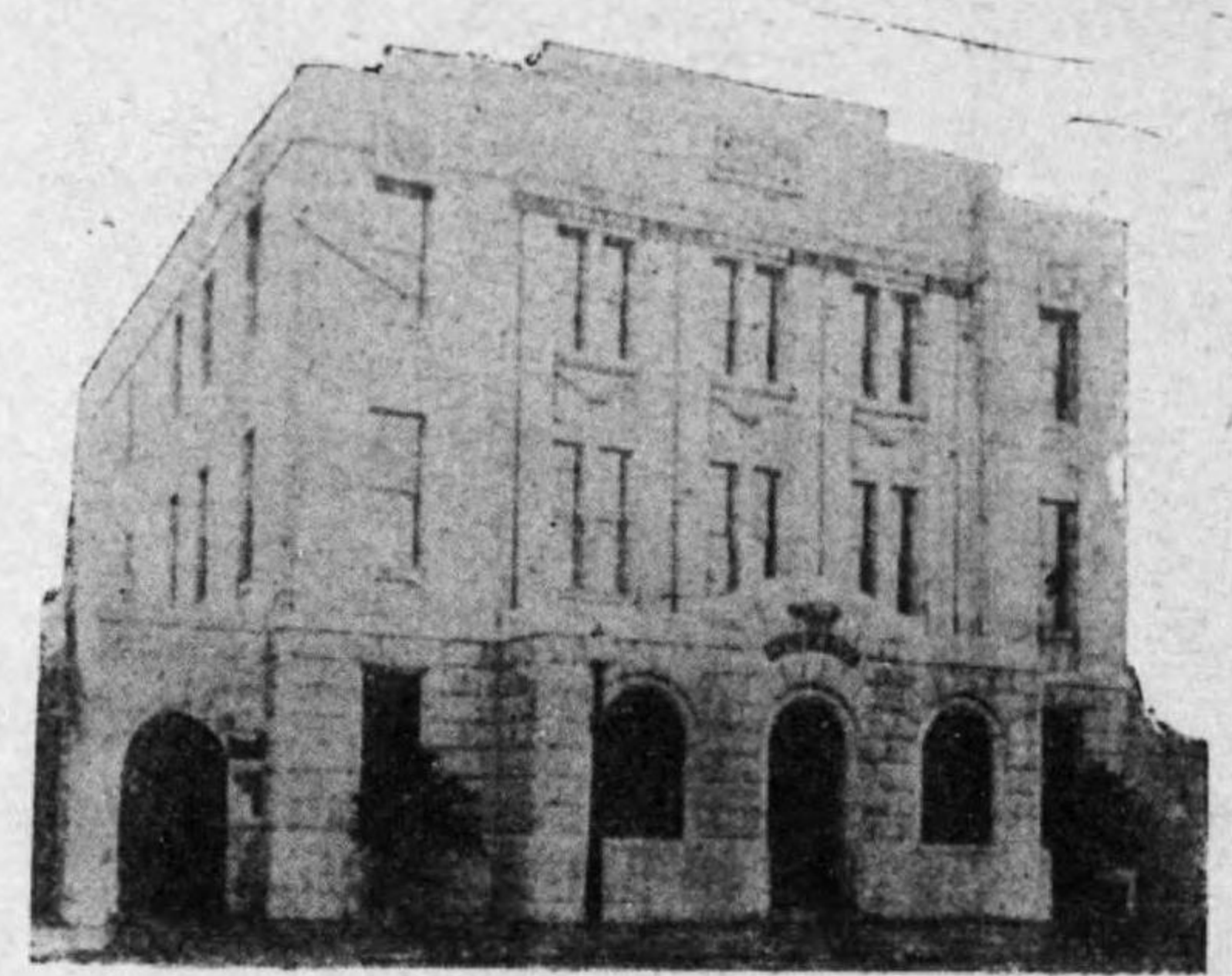




設立 大正十五年十月  
 資本金 參千壹百拾貳萬五千圓

北海電力株式會社

札幌市大通東一丁目二番地  
 電話代表二六四〇番



北門貯蓄銀行

員 役		所 業 營	
取 締 役	取 締 役	取 締 役	專 務 取 締 役
取 締 役	取 締 役	取 締 役	取 締 役 頭 取
岡 本 康 太 郎	岡 本 康 太 郎	岡 本 康 太 郎	岡 本 康 太 郎
宮 脩 治	宮 脩 治	宮 脩 治	宮 脩 治
板 谷 宮 吉	小 竹 文 次 郎	小 竹 文 次 郎	小 竹 文 次 郎
板 谷 宮 吉	笠 原 定 藏	笠 原 定 藏	笠 原 定 藏
板 谷 宮 吉	岡 本 康 太 郎	岡 本 康 太 郎	岡 本 康 太 郎
板 谷 宮 吉	宮 脩 治	宮 脩 治	宮 脩 治
本 店	札幌市南二條西四丁目	札幌市南二條西四丁目	札幌市南二條西四丁目
札幌支店	北七條西四丁目角	札幌市南二條西四丁目	札幌市南二條西四丁目
札幌支店	北三條東七丁目	札幌市南二條西四丁目	札幌市南二條西四丁目
札幌支店	南一條西十三丁目角	札幌市南二條西四丁目	札幌市南二條西四丁目
札幌支店	南七條西八丁目	札幌市南二條西四丁目	札幌市南二條西四丁目
函館支店	函館市鶴岡町一九	函館市南二條西四丁目	函館市南二條西四丁目
函館支店	小樽市稻穂町東七	函館市南二條西四丁目	函館市南二條西四丁目
函館支店	同 錦町四四	函館市南二條西四丁目	函館市南二條西四丁目
旭川支店	旭川市四條通八丁目	旭川市南二條西四丁目	旭川市南二條西四丁目
旭川支店	樺太豊原大通	旭川市南二條西四丁目	旭川市南二條西四丁目
旭川支店	室蘭・岩見澤・帶廣・余市北門銀行各地支店內	旭川市南二條西四丁目	旭川市南二條西四丁目
代理店		旭川市南二條西四丁目	旭川市南二條西四丁目





專賣特許

ボ  
ー  
ン  
・  
イ  
ン  
キ

發賣元

株式會社

文運堂

東京市神田區駿河臺北甲賀町  
支店・大阪・名古屋・門司

學界の最高權威

工學博士 井上仁吉先生

工學士 齋藤 毅先生

發明

インキとしての

最高標準を誇る

萬年筆用

定價

十錢・廿錢・卅錢

營業品目

瓦  
ス  
コ  
ー  
ル  
タ  
ー  
ク  
ス  
カ  
ー  
ボ  
ー  
ル  
瓦  
ス  
器  
具  
材  
料

北海道瓦斯株式會社

營業所

札幌營業所 電話一〇八・三八〇番

小樽營業所 電話九九四・一二二一番

函館營業所 電話四八一・四九三番



昭和七年四月一日印刷  
昭和七年四月十日發行

北海道年鑑奥付

定價 壹圓五拾錢

編纂者

北海道出版社編輯部

發行者

札幌市南二條西十二丁目  
石田 磊三

印刷所

東京市神田區今川小路一ノ三  
岩崎印刷所

發行所

北海道出版社

札幌市南二條西十二丁目(本店)

電話三五〇六番

振替小欄一二七〇七番

東京市神田區駿河臺聖橋通(支店)

電話神田(25)一七三〇番

振替東京三九三七七番

# 北方日本の代表



北海道タイムズ



炭表代  
 夕幌幾砂空輪  
 張内春  
 別川知  
 コー  
 ク  
 ス炭炭炭炭炭

◇年産四百萬噸、全國鐵道、工場、瓦斯船、船舶燃料用炭として廣く愛用推稱せらる。  
 ◇家庭用炭としては幌内炭、砂川炭、幾春別炭最も定評あり。  
 ◇出張所、駐在員の外に全道各都市町村に、特約店及取次販賣店の設けあり。



北海道炭礦汽船株式會社  
 北海道賣炭所

出張所  
 室蘭出張所  
 函館出張所  
 札幌出張所  
 旭川出張所  
 帶廣出張所

室蘭市海岸町 電話 二二二番  
 函館市真砂町 電話 一六五番  
 札幌市北六條 電話 三九九番  
 旭川市宮下通り 電話 一六五八番  
 帶廣町一條通り 電話 四九五番

小樽市色内町二丁目七〇番  
 電話代金口座小樽二二三〇番  
 振替貯金口座小樽二二三〇番

諸國御銘茶  
 和洋諸紙  
 高級文房具  
 小間紙  
 事務用品

小樽市色内町七丁目十三番地

越 早川商店

電話 三〇九四番  
 振替小樽 一〇〇番

稻穂賣店 小樽市稻穂町東八丁目 電話 一八八番  
 花園賣店 小樽市花園町公園通角 電話 一二二八番  
 仕入店 東京市日本橋區馬喰町四ノ一七番 電話 (浪花) 二五六六番  
 振替東京 七一六二番



サツポロビール

サツポロ黒ビール

リボンシントロン

ナポリリン



14.4  
773



終